

科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	3,415,053,989	30,459,928	0	2,093,923,073	1,290,670,988
1 項 商 工 費	3,415,053,989	30,459,928	0	2,093,923,073	1,290,670,988
1 目 商 工 総 務 費	248,976,772	0	0	50,000	248,926,772

1 産業プロモーション推進事業費 9,533,166 円（産業政策課）＜まちの魅力づくり＞

[総 括]

本市産業の認知度を高めるため、首都圏等において物産展を開催するとともに、本市の地域資源である手筒花火を旅行・観光事業者等を対象に吉田城址で放揚するイベントを開催した。また、本市の新たな地域資源創出のため B 級グルメの新規開発推進や普及促進の活動に対して助成した。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 9,533,166 円

(ア) 産業プロモーション推進活動費 7,533,166 円

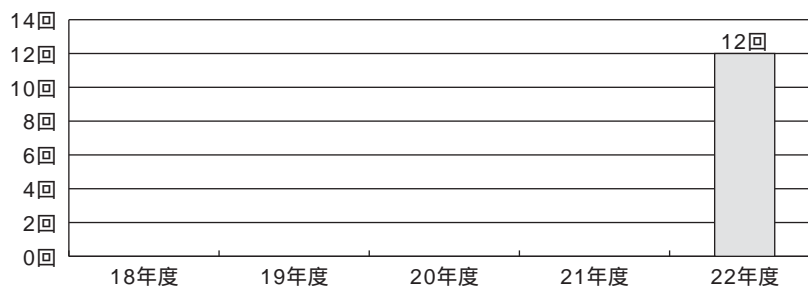
区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
内 容		物産展等開催業務 bjリーグプレイオフファイナル4 物産展出展業務 手筒花火展示会開催業務 東三河プロモーションマップ作成業務

(イ) B 級グルメ新規開発推進事業補助金 2,000,000 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
内 容		新規開発及び普及促進イベントの開催 B 級グルメの普及促進事業

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション活動回数
指 標 説 明：物産展、手筒花火展示会などのPR活動回数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 商業振興費	2,271,590,348	10,204,928	0	2,092,000,000	169,385,420

1 まちなかにぎわい創出事業費 25,219,000円(商業観光課) <魅力ある商業地の形成>

[総括]

商店街の活性化やにぎわいを創出するため、商業団体等が実施する各種イベントや施設整備事業に対して支援を行った。平成22年度は新たにアーケード緊急補修(商店街環境向上事業)、花園地区商業活性化事業(商店街リフレッシュ事業)及び豊橋駅南口駅前広場で行った旬彩 楽市(まちなかにぎわいプロモーション事業)に対して助成を行った。今後もまちのにぎわいを創出し、魅力ある商業地を形成するための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 954,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
		6団体	1,662,000円	5団体

(2) 商学連携促進事業補助金 270,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
		1団体	277,000円	1団体

(3) まちなかフェスティバル補助金 1,800,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
		1件	2,000,000円	1件

(4) イルミネーションフェスティバル補助金 1,486,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
		1件	1,633,000円	1件

(5) 商店街環境向上事業補助金 1,373,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
				5団体

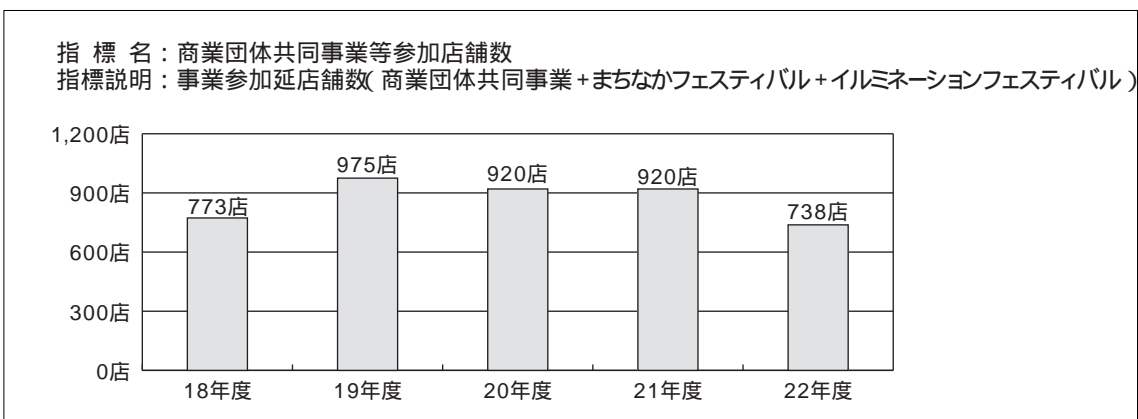
(6) 商店街リフレッシュ事業補助金 15,736,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
				1団体

(7) まちなかにぎわいプロモーション事業補助金 3,600,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
				1団体

[指 標]



2 TMO支援事業費 9,385,000 円 (商業観光課) < 魅力ある商業地の形成 >

[総 括]

中心市街地の活性化を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター (TMO) が実施する空き店舗活用事業や共通駐車券事業等への支援を行った。今後もまちなのにぎわいを創出し、魅力ある商業地を形成するための取り組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 504,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		3件	197,000円	2件

(2) 空き店舗活用事業補助金 6,340,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		9件	4,510,000円	10件

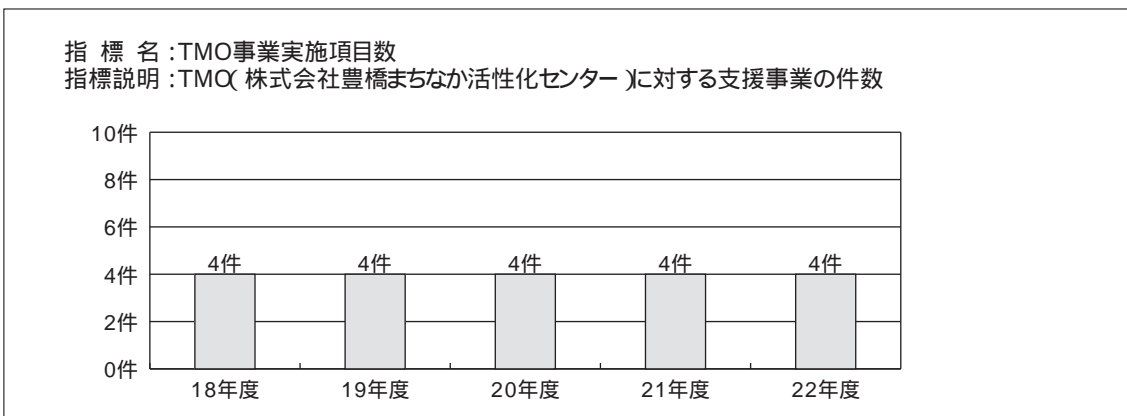
(3) 共通駐車券事業補助金 1,182,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		1件	1,233,000円	1件

(4) まちなか交流館事業補助金 1,359,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		2件	3,780,000円	1件

[指 標]



3 制度融資事業費

2,092,330,782 円（商業観光課）＜意欲ある事業者への支援＞

〔総括〕

小規模事業者に対する金融機関からの融資が停滞することを防ぎ、中小事業者の経営が安定し、経営基盤を強化できるように、小規模事業資金融資や経営安定資金融資などの融資制度の利用促進を図っていく。

〔実績及び成果〕

〔預託金合計（商工組合中央金庫預託金を除く）〕

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 額		2,806,000,000円	1,842,000,000円	34.4%
融 資 目 標 額		7,265,000,000円以上	6,030,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	1,662件	1,265件	23.9
	金額	7,693,240,000円	5,471,870,000円	28.9
融 資 実 績 率		105.9%	90.7%	15.2ポイント

平成 21 年度は商業近代化特別資金預託金を含む

(1) 小口事業資金預託金 500,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	
預 託 額		600,000,000円	500,000,000円	16.7%
融 資 目 標 額		1,800,000,000円以上	1,500,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	289件	293件	1.4
	金額	1,849,400,000円	1,956,360,000円	5.8
融 資 実 績 率		102.7%	130.4%	27.7ポイント

(2) 経営安定資金預託金 444,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	
預 託 額		1,110,000,000円	444,000,000円	60.0%
融 資 目 標 額		1,665,000,000円以上	1,332,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	296件	125件	57.8
	金額	2,449,200,000円	840,600,000円	65.7
融 資 実 績 率		147.1%	63.1%	84.0ポイント

(3) 商工業振興資金預託金 120,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか15金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか15金融機関	
預 託 額		125,000,000円	120,000,000円	4.0%
融 資 目 標 額		900,000,000円以上	864,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	51件	27件	47.1
	金額	345,970,000円	222,580,000円	35.7
融 資 実 績 率		38.4%	25.8%	12.6ポイント

(4) 中心市街地商業活性化資金預託金 13,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先			三菱東京UFJ銀行ほか12金融機関	
預 託 額			13,000,000円	
融 資 目 標 額			39,000,000円以上	
融 資 実 績	件 数		1件	
	金 額		17,000,000円	
融 資 実 績 率			43.6%	

(5) 創業支援資金預託金 20,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか5金融機関	豊橋信用金庫ほか5金融機関	
預 託 額		18,000,000円	20,000,000円	11.1%
融 資 目 標 額		54,000,000円以上	60,000,000円以上	
融 資 実 績	件 数	48件	56件	16.7
	金 額	164,320,000円	181,940,000円	10.7
融 資 実 績 率		304.3%	303.2%	1.1ポイント

(6) 中小企業団体共同事業資金預託金 45,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		十六銀行ほか 6 金融機関	十六銀行ほか 6 金融機関	
預 託 額		40,000,000円	45,000,000円	12.5%
融 資 目 標 額		120,000,000円以上	135,000,000円以上	
融 資 実 績	件 数	7件	9件	28.6
	金 額	57,700,000円	73,600,000円	27.6
融 資 実 績 率		48.1%	54.5%	6.4ポイント

(7) 小規模事業資金預託金 700,000,000 円

内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	
預 託 額		900,000,000円	700,000,000円	22.2%
融 資 目 標 額		2,700,000,000円以上	2,100,000,000円以上	
融 資 実 績	件 数	971件	754件	22.3
	金 額	2,826,650,000円	2,179,790,000円	22.9
融 資 実 績 率		104.7%	103.8%	0.9ポイント

(8) 商工組合中央金庫預託金 250,000,000 円

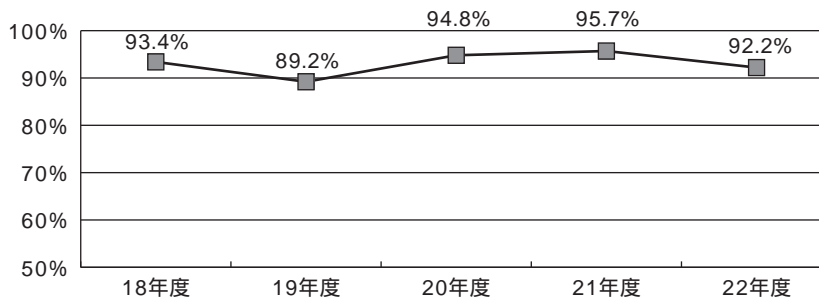
内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
預 託 先		商工組合中央金庫豊橋支店	商工組合中央金庫豊橋支店	
預 託 額		300,000,000円	250,000,000円	16.7%
融 資 目 標 額		制限なし	制限なし	
融 資 実 績	件 数	1,630件	1,596件	2.1
	金 額	61,824,280,000円	65,820,119,000円	6.5

(9) 愛知県信用保証協会損失補償金 330,782 円

補 償 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		2件 330,782円

[指 標]

指 標 名 : 融資実行率
指標説明 : 全制度融資の融資件数 / 融資申込件数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 工業振興費	736,142,040	0	0	1,870,500	734,271,540

1 中小企業振興対策事業費 190,828,400円(工業勤労課) <中小企業の振興>

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業においては、制度周知に努め、知的財産権取得事業への助成など経営強化の支援を行った。今後とも地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業等ISO規格認証取得推進事業費補助金 899,000円

補助金	平成21年度		平成22年度	
		6件	2,816,000円	3件

(2) 中小企業振興助成金 178,530,400円

助成金	平成21年度		平成22年度	
		277件	189,081,770円	251件

(3) ものづくり・夢づくり支援事業費 11,399,000円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 2,085,000円

補助金	平成21年度		平成22年度	
		16件	1,727,000円	16件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 2,204,000円

補助金	平成21年度		平成22年度	
		6件	2,480,000円	7件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 3,598,000円

補助金	平成21年度		平成22年度	
		32件	4,279,000円	32件

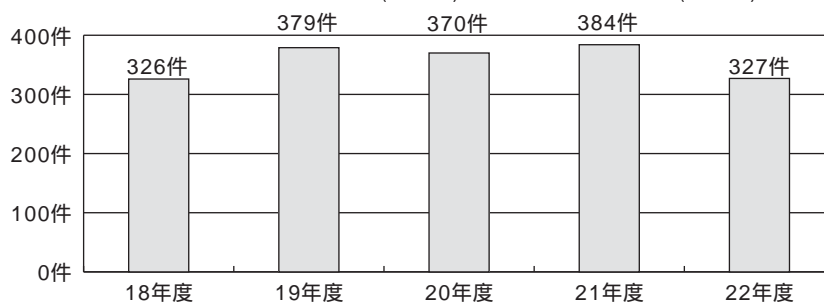
(エ) 創業者支援事業費補助金 3,512,000円

補助金	平成21年度		平成22年度	
		23件	5,082,000円	18件

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+ISO取得補助金件数(H15~)+知的財産取得補助金件数(H16~)
+産学共同研究補助金件数(H18~)+販路開拓補助金件数(H18~)+創業者支援補助金件数(H19~)



2 人材育成事業費

4,099,859 円（工業勤労課）＜中小企業の振興＞

[総括]

「とよはしの匠」顕彰事業においては、優れた技能者を顕彰し、小・中学生を対象とした体験講座「匠の技術を学ぼう」を開催した。また、「高校生技術アイデア賞」事業において応募作品の各種イベントでの活用を図ったほか、新たに地元工業高校生が自発的に取り組む環境をテーマとする技術研究活動に対して支援を行った。今後とも、次世代の技能人材の育成のため、地域の優れた技能者の活用を推進していく。

[実績及び成果]

- (1) 「とよはしの匠」顕彰事業費 1,017,160 円

被 顕 彰 者 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		2名

- (2) 「高校生技術アイデア賞」事業費 563,652 円

応 募 件 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		26件

- (3) 地域技能者活用事業費 320,000 円

参 加 者 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		21名

- (4) 高校生環境技術研究活動費補助金 2,199,047 円

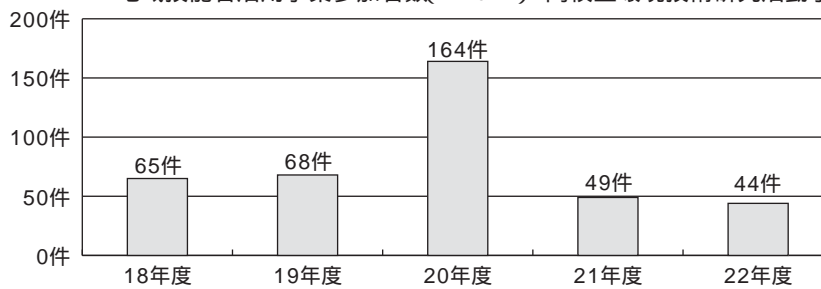
補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度

[指 標]

指 標 名：人材育成事業応募件数

指標説明：「とよはしの匠」応募者数+「高校生技術アイデア賞」応募件数(H16～)+

地域技能者活用事業参加者数(H20～)+高校生環境技術研究活動事業参加者数(H22～)



3 サイエンス・クリエイト21計画推進事業費 79,021,000円（工業勤労課）＜産業の高度化と新規産業の創出＞

[総括]

中小企業技術者研修事業においては、新たに「現場で実践できる省エネ・省資源講座」を開催するなど講座内容の見直しを図った。また、ものづくり技術の育成・創出を目的とした「ものづくりフェア2010 in 東三河」の開催、産業の高度化と新事業の創出を目的とした研究・調査・検討に対する助成などの支援を行った。今後とも地域産業育成に向け、時代のニーズに沿った事業を検討・推進していく。

[実績及び成果]

- (1) 中小企業技術者研修事業費 38,966,550円

区分	平成21年度	平成22年度
内容	環境管理者・技術者養成講座、溶接技術基礎講座、経営者養成特別講座始め17講座	現場で実践できる省エネ・省資源講座、溶接技術基礎講座、経営者養成特別講座始め17講座
受講者数	延237人	延179人

- (2) 新事業創出等支援事業費補助金 37,154,450円

補助金	平成21年度	平成22年度
	40,000,000円	37,154,450円

- (3) 地域産業活性化東三河協議会補助金 400,000円

補助金	平成21年度	平成22年度
	900,000円	400,000円

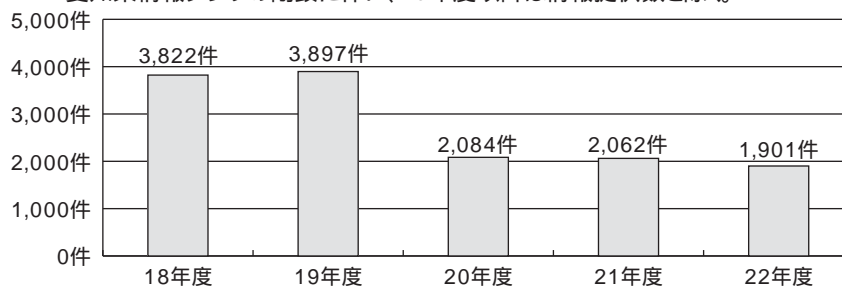
- (4) 「ものづくりフェア2010 in 東三河」開催費補助金 2,500,000円

補助金	平成21年度	平成22年度
		2,500,000円

[指標]

指標名：豊橋サイエンスコアの利用件数

指標説明：技術相談件数+情報提供数+貸オフィスの利用件数+中小企業技術者研修受講者数
愛知県情報プラザの閉鎖に伴い、20年度以降は情報提供数を除く。



4 企業誘致推進事業費

462,013,022 円（工業勤労課）＜円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進＞

[総 括]

関東、関西及び近隣都市の優良企業に対する誘致活動を強化するため、説明会の開催や立地企業との情報交換会を行うとともに、企業ニーズに即した奨励金制度に改正した。今後は、東三河5市の連携を深め、成果が得られるよう、一層の企業誘致活動を推進する必要がある。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 4,285,022 円

内 容	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
企 業 誘 致 説 明 会	開 催 日	21.7.3
	場 所	大阪
	出席企業数	49社

内 容	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
立 地 企 業 情 報 交 換 会	開 催 日	21.11.10
	場 所	ホテルアソシア豊橋
	出席企業数	8社

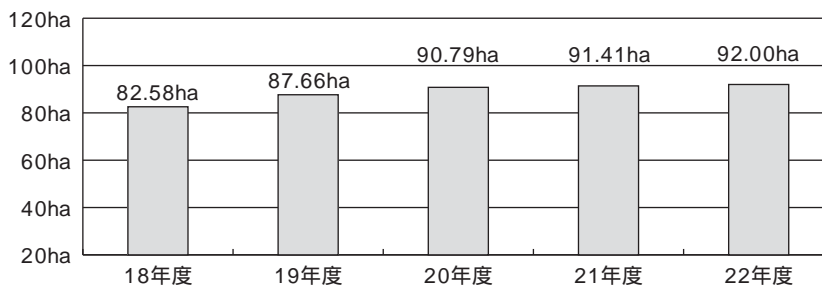
内 容	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
東三河5市企業誘致 推進連絡会議	産業展への出展 21.11.4～6	産業展への出展 22.6.16～18
	東京ビッグサイト メッセナゴヤ出展 21.11.11～14	東京ビッグサイト メッセナゴヤ出展 22.10.27～30
事 業 実 績	ポートメッセ名古屋	ポートメッセ名古屋 ものづくりフェア出展 22.11.26、27 豊橋市総合体育館

(2) 企業立地促進奨励金 457,728,000 円

奨 励 金	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
	44件 319,273,000円	63件 457,728,000円

[指 標]

指 標 名：分譲済面積
 指標説明：市内5か所の事業所用地の分譲済面積



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 観 光 費	158,344,829	20,255,000	0	2,573	138,087,256

1 観光宣伝事業費 34,309,826 円 (商業観光課) <まちの魅力づくり>

[総括]

本市の魅力ある観光資源・施設への集客を促すため、雑誌・新聞などによる情報発信や情報プラザを利用したPR活動を行った。平成22年度は情報プラザのリフレッシュ工事をを行い、来訪者への利便性向上を図った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

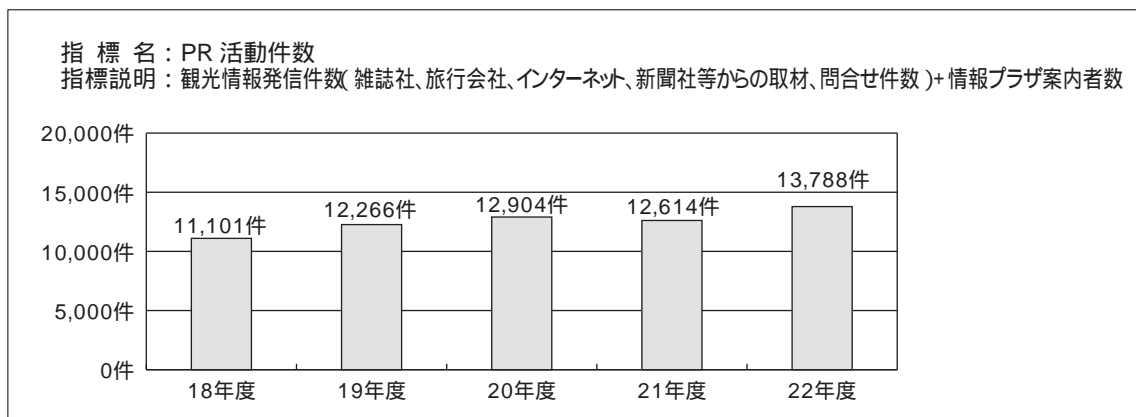
(1) 観光PR活動推進事業費 24,749,683 円

豊橋市への来訪者数	平成21年度	平成22年度
		2,768,327人

(2) 情報プラザ運営事業費 9,560,143 円

案内者数	平成21年度	平成22年度
		12,525人

[指標]



2 まつり・イベント支援事業費 68,511,727 円 (商業観光課) <イベント・コンベンションの充実>

[総括]

多くの人々を集めるとともに、交流人口の拡大によって観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりなどの各種まつり・イベントの開催を支援した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 7,224,385 円

行 事 内 容		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	
春まつり	さくらまつり	期 間	21.4.1～4.8 22.3.25～3.31 (15日間)	22.4.1～4.8 23.3.24～3.31 (16日間)
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約46,500人	約46,000人
	つつじまつり	期 間	21.4.20～5.7 (18日間)	22.4.19～5.7 (19日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	22.1.23～3.7 (44日間)	23.1.22～3.6 (44日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約35,000人	約40,000人
		補 助 金	7,000,000円	3,524,385円
花しょうぶまつり	期 間	21.5.27～6.17 (22日間)	22.5.26～6.16 (22日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約195,000人	約195,000人	
	補 助 金	4,100,000円	3,700,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 45,000,000 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
開 催 日	21.10.17～18	22.10.16～17
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 11会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 11会場
行 事 数	26行事	28行事
総 人 出 数	約490,000人	約540,000人
総 参 加 団 体 数	約520団体	約520団体
補 助 金	50,000,000円	45,000,000円

(3) 炎の祭典開催費補助金 15,000,000 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
開 催 日	21.9.12	22.9.11
場 所	豊橋球場及びその周辺	豊橋球場及びその周辺
来 場 者 数	約37,000人	約55,000人
補 助 金	15,000,000円	15,000,000円

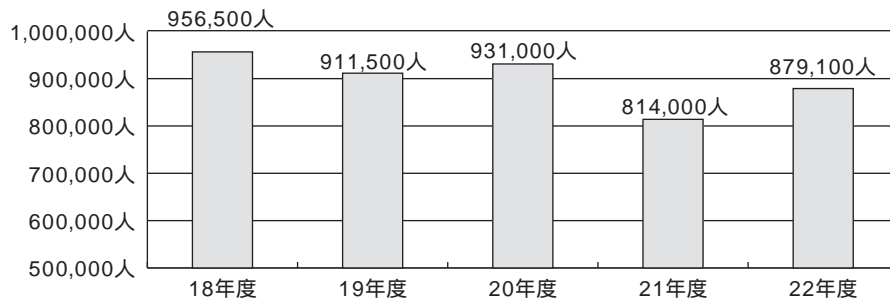
(4) エコカーチャンピオンシップ事業補助金 1,287,342 円

補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	2,700,000円	1,287,342円

[指 標]

指 標 名 : まつり・イベント観客数

指標説明 : 春まつり、花しょうぶまつり、豊橋まつり、炎の祭典、エコカーチャンピオンシップの観客数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,864,060,525	1,191,837,839	1,722,500,000	706,528,761	11,243,193,925
1 項 道 路 橋 梁 費	3,379,120,434	316,102,273	369,600,000	253,086,322	2,440,331,839
1 目 道 路 橋 梁 総 務 費	1,090,197,906	8,346,450	0	253,086,322	828,765,134

1 自由連絡通路等管理事業費 179,603,805 円(土木管理課) <生活道路の整備>

[総 括]

豊橋駅・二川駅及びその駅周辺施設の利用者が安全・快適に利用できるよう、東西自由連絡通路・南北自由連絡通路等を維持管理した。また、利便性の向上及び電力の省力化を図るため、東西自由連絡通路等の案内表示サインの一部をLED方式に更新した。今後も施設の適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

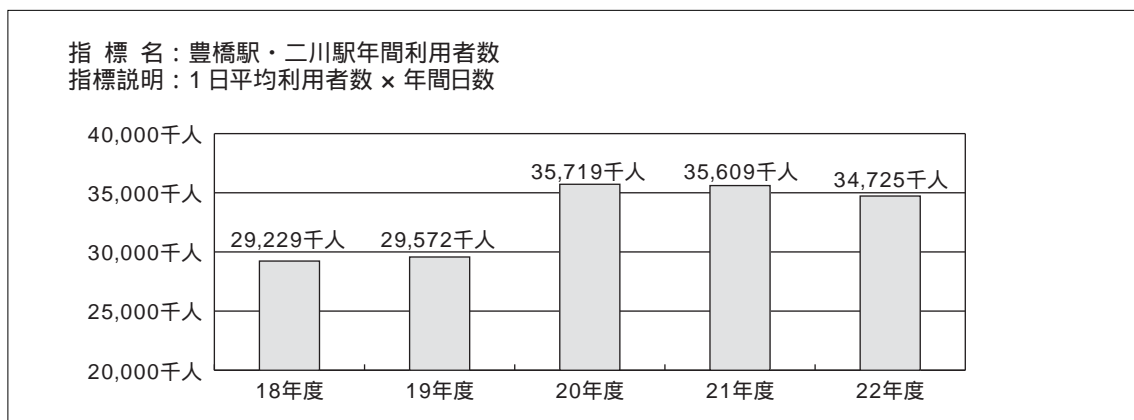
(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 162,183,264 円

年 間 利 用 者 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
		33,895,000人	32,949,000人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 17,420,541 円

年 間 利 用 者 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
		1,714,000人	1,776,000人

[指 標]



2 自転車等駐車場管理運営事業費 94,586,899 円(土木管理課) <自転車のまちづくりの推進>

[総 括]

豊橋駅及び二川駅周辺において、安心して自転車等を預けられる施設として自転車等駐車場を指定管理者制度を活用し運営及び維持管理をした。今後も施設の適正な維持管理を行い、安心して利用できる施設をめざす。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 4,200台 63,061,750円

区 分		平成21年度	平成22年度	比 較
1日平均利用台数		2,730台	2,774台	1.6%
自 転 車	定期	2,144	2,183	1.8
	一時	305	313	2.6
ミニバイク	定期	227	224	1.3
	一時	54	54	0.0

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300台 21,406,600円

区 分		平成21年度	平成22年度	比 較
1日平均利用台数		991台	999台	0.8%
自 転 車	定期	749	751	0.3
	一時	158	160	1.3
ミニバイク	定期	71	74	4.2
	一時	13	14	7.7

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 10,118,549円

(ア) 自転車・ミニバイク 収容台数 370台

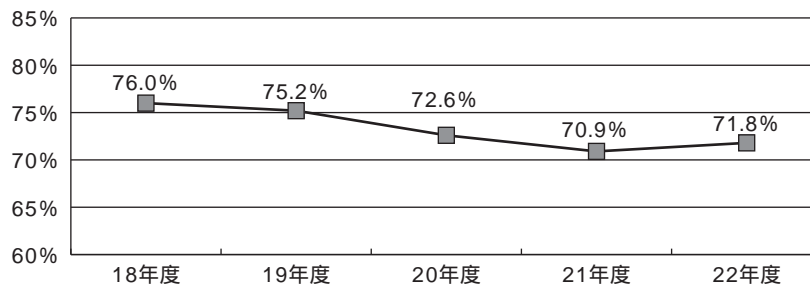
区 分		平成21年度	平成22年度	比 較
1日平均利用台数		441台	440台	0.2%
自 転 車	定期	309	305	1.3
	一時	70	74	5.7
ミニバイク	定期	44	45	2.3
	一時	18	16	11.1

(イ) 自動車 収容台数 10台

区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
1日平均利用台数	12台	12台	0.0%

[指標]

指標名：自転車等駐車場稼働率
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数 / 収容台数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 道 路 費	759,230,332	67,396,805	0	0	691,833,527

1 道路施設等維持管理事業費 388,631,399 円(道路維持課) <生活道路の整備>

[総 括]

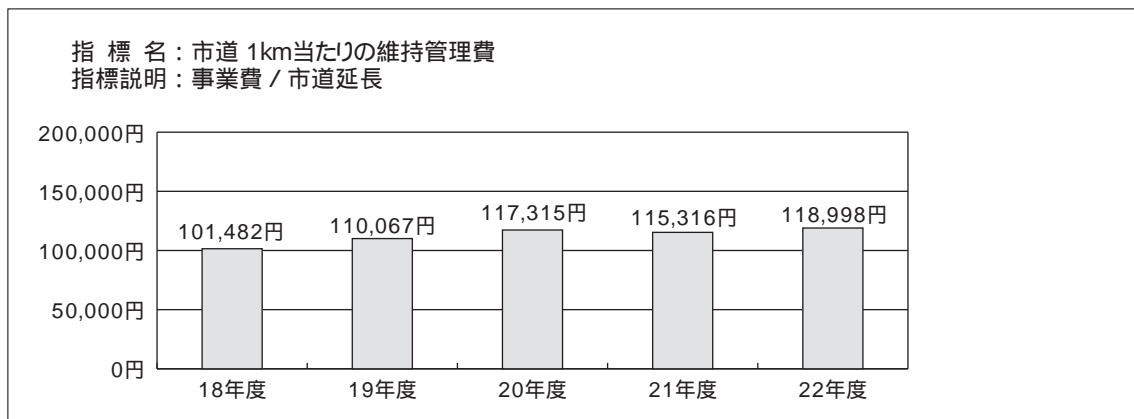
道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行い、生活道路を通行に支障のない状態に保った。今後も迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 388,631,399 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道 路 清 掃	139路線 延長 1,684.4km	139路線 延長 1,358.5km
道 路 側 溝 清 掃	94か所 " 13,956m	115か所 " 12,460m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
用 地 取 得		面積 11.96㎡

[指 標]



2 道路等維持改良事業費 303,202,128 円(道路維持課) <生活道路の整備>

[総 括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行や地域住民の利便性を確保した。今後も地域住民の要望を把握し公共性・必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

(1) 路面排水整備工事費 266,622,346 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
路 面 排 水	市内一円 延長 11,197m	市内一円 延長 8,569m
	市街地 " 387 雨水浸透型側溝等設置	市街地 " 330 雨水浸透型側溝等設置

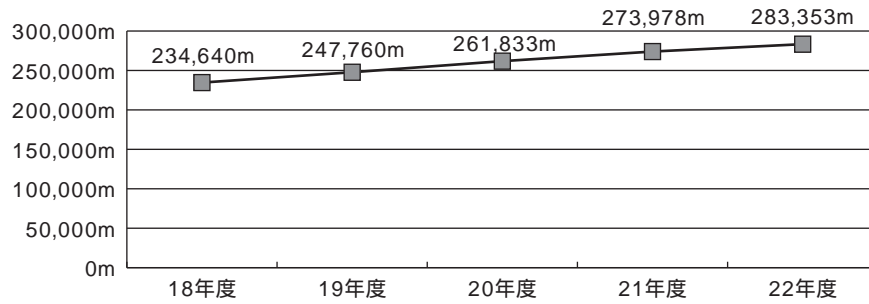
(2) 道路維持改良工事費

36,579,782 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道 路 維 持 改 良	3 件 延長 561m	3 件 延長 476m
用 地 取 得		面積 87.4m ²

[指 標]

指 標 名 : 路面排水整備 + 道路維持改良工事完了総延長
指 標 説 明 : "



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 舗 装 事 業 費	713,491,600	104,913,900	226,700,000	0	381,877,700

1 道路舗装事業費 713,491,600円(道路維持課) <生活道路の整備>

[総括]

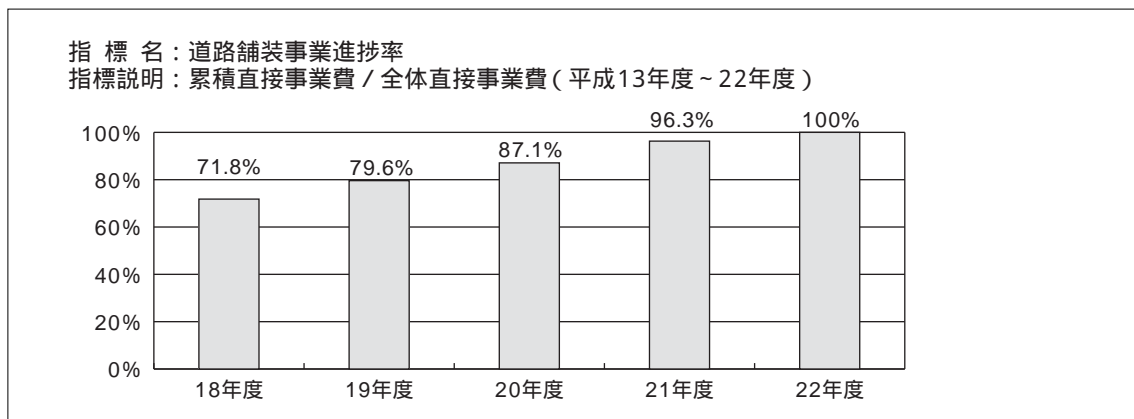
未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕に努めた。なお、平成22年度までの計画については、予定通り事業が進捗できた。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 713,491,600円

内 容	平成21年度				平成22年度			
	延長	面積	延長	面積	延長	面積	延長	面積
舗 装 新 設	4,791m	11,581㎡	1,308m	3,878㎡				
舗 装 改 良	11,237	64,810	12,830	75,884				
舗 装 修 繕		29,071		28,707				

[指標]



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目	交通安全施設等整備事業費	412,990,616	1,200,000	38,300,000	0	373,490,616

1 交通安全施設整備事業費 96,414,783 円(道路建設課) <交通安全施設などの整備>

[総括]

自転車道等設置事業については、牟呂水神町1号線で事業が完了したが、横須賀町9号線では引き続き整備を行うなど、適切な道路の安全確保に努めた。また、単独交通安全施設整備事業については、平成22年度までの計画については予定通り事業が進捗できた。今後も道路状況や地元要望等を検討し、事業推進に向けて国庫補助金等の財源確保を図る。

[実績及び成果]

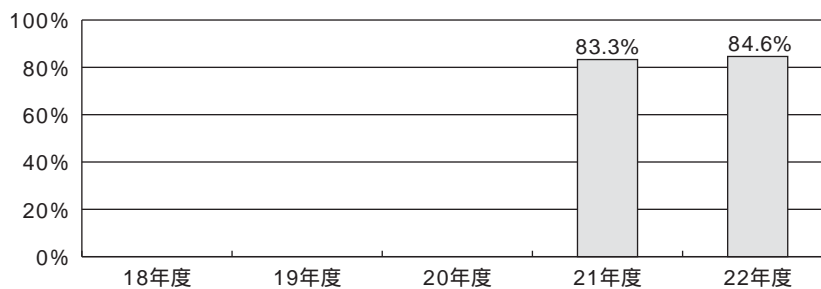
(1) 事故危険箇所対策事業費 3,633,000 円

(国庫補助事業 3,633,000 円)

内 容	平成21年度	平成22年度
交差点カラー標示等	11か所	1か所

[指標]

指標名：事故危険箇所対策事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成21年度～23年度)



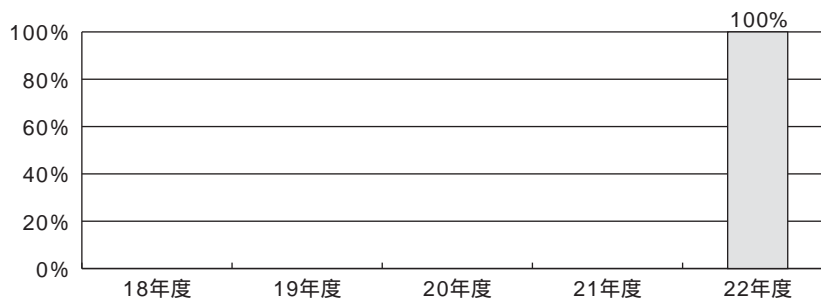
(2) 牟呂水神町1号線自転車道等設置事業費 2,746,800 円

(国庫補助事業 2,746,800 円)

内 容	平成21年度	平成22年度
自転車道等設置		延長 210m

[指標]

指標名：牟呂水神町1号線自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成22年度)



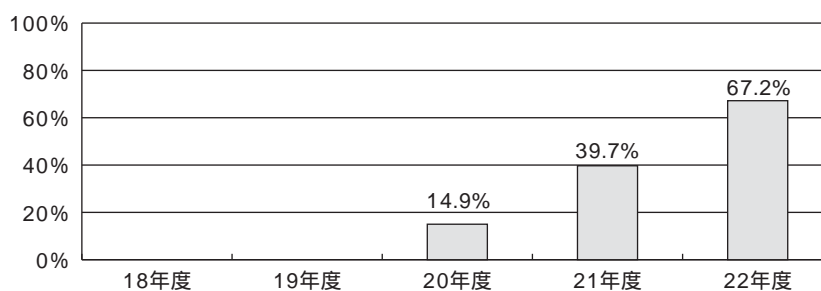
(3) 横須賀町9号線自転車道等設置事業費 37,936,545 円

(地方特定道路整備事業 37,852,545 円 市単独事業 84,000 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
自転車道等設置	用地 549.00㎡ 補償 建物等	延長 263m 用地 182.01㎡ 補償 立木等

[指 標]

指 標 名：横須賀町9号線自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成20年度～23年度)



(4) 単独交通安全施設整備事業費 52,098,438 円

(ア) 測量調査費

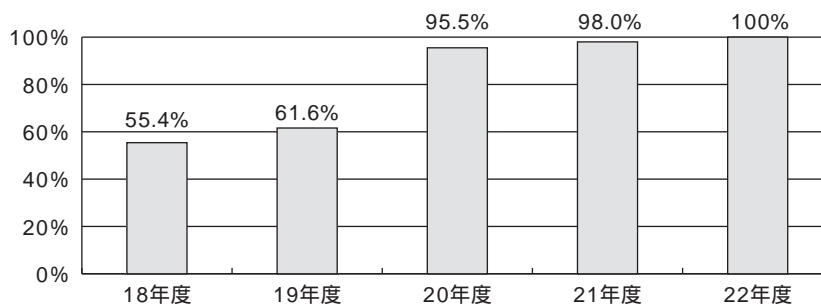
内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	測量調査 飯村町・大岩町80号線	

(イ) 工 事 費

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
歩 道 設 置 交 差 点 改 良	延長 293m 1 か所	延長 345m

[指 標]

指 標 名：単独交通安全施設整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成13年度～22年度)



2 交通安全施設維持改良事業費 316,575,833 円（道路維持課）＜交通安全施設などの整備＞

[総 括]

交通安全施設の維持改良については、道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 交通安全施設改良事業費 173,028,450 円

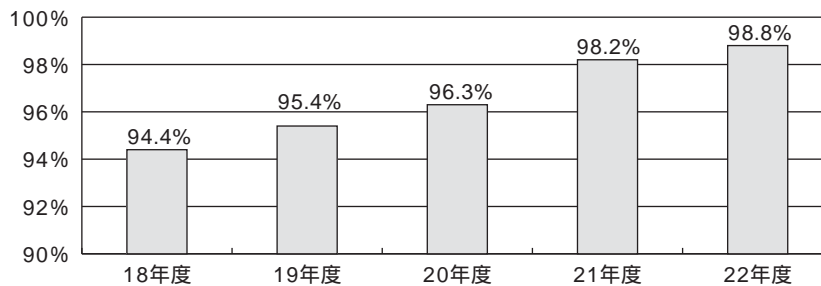
内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道路照明灯設置	40～180W 353基 LED 30	40～180W 180基
交差点等安全カラー標示	17か所	24か所
交差点等安全対策	20	30
防護柵設置	延長 1,201m	延長 1,140m
道路反射鏡設置	385基	185基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 43,550m	延長 77,198m

(2) 交通安全施設維持事業費 143,547,383 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道路照明灯塗装修繕	105基	35基

[指 標]

指 標 名：交通安全施設(道路照明灯)の整備率
 指標説明：設置済基数 / 計画基数



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目	市 町 村 道 整 備 事 業 費	257,313,362	107,250,000	104,600,000	0	45,463,362

1 幹線市道整備事業費 257,313,362 円 (道路建設課) < 幹線道路網の整備 >

[総 括]

西幸町・高田町10号線の道路改良や、大岩町・小松原町55号線の整備を進めるなど道路交通の円滑化や交通安全確保のため、国庫補助事業等を活用して幹線道路の整備を進めた。今後も事業推進に向けて国庫補助金等の財源確保を図っていく。

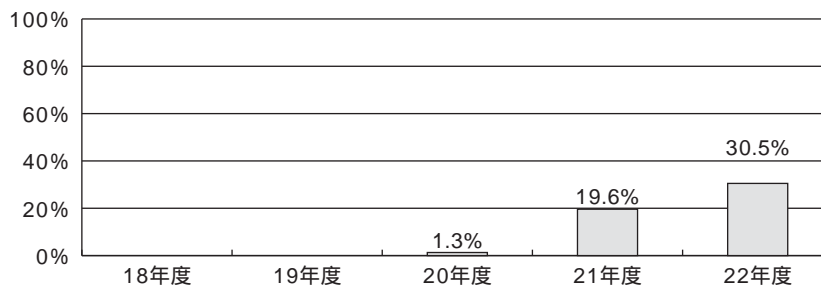
[実績及び成果]

- (1) 西幸町・高田町 10 号線整備事業費 120,510,964 円
(国庫補助事業 113,948,000 円 市単独事業 6,562,964 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道 路 改 良 (第 2 工 区)	調査設計等 用 地 3,676.42m ² 補 償 建物等	用 地 1,197.98m ² 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名 : 西幸町・高田町10号線整備事業進捗率(第2工区)
指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成20年度 ~ 25年度)

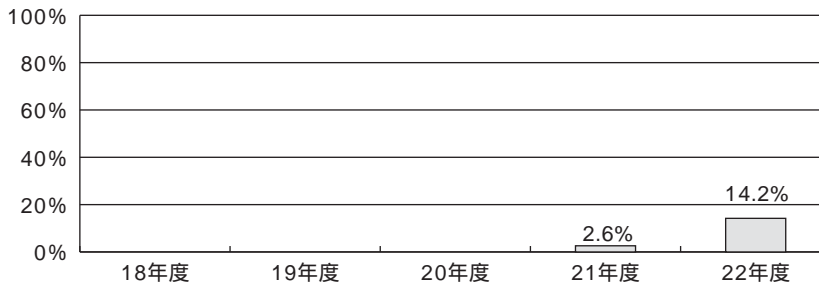


- (2) 大岩町・小松原町 55 号線整備事業費 97,911,756 円
(国庫補助事業 77,419,000 円 市単独事業 20,492,756 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道 路 改 良 (第 2 工 区)	路線測量調査設計等	路線測量調査設計等 用 地 2,121.14m ² 補 償 建物等

[指 標]

指 標 名 : 大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第2工区)
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成21年度～26年度)



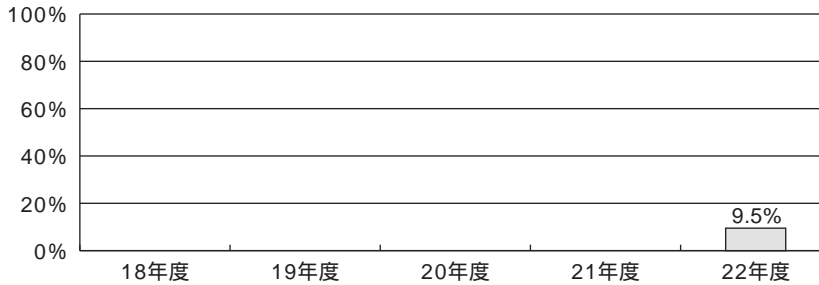
(3) 明海町・老津町21号線整備事業費 38,890,642 円

(地方特定道路整備事業 38,890,642 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道 路 改 良		測量調査 用地 863.90m ²

[指 標]

指 標 名 : 明海町・老津町21号線整備事業進捗率
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成22年度～24年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 橋 梁 費	122,191,818	26,995,118	0	0	95,196,700

1 橋梁整備事業費 122,191,818 円(道路建設課) <生活道路の整備>

[総 括]

平成 13・14 年度に実施した耐震調査に基づき、跨線橋・跨道橋及び 1・2 級市道などに架かる長大橋のうち 6 橋の耐震補強工事を実施するとともに、高欄などの部分的に老朽化した箇所の修繕を行った。また、21 年度から行っていた大道橋の改築工事は完了し、単独橋梁整備事業は 22 年度までの計画について、予定通り事業が進捗できた。今後も事業推進に向けて国庫補助金等の財源確保を図るとともに、23 年度に策定する長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕・改築を行っていく。

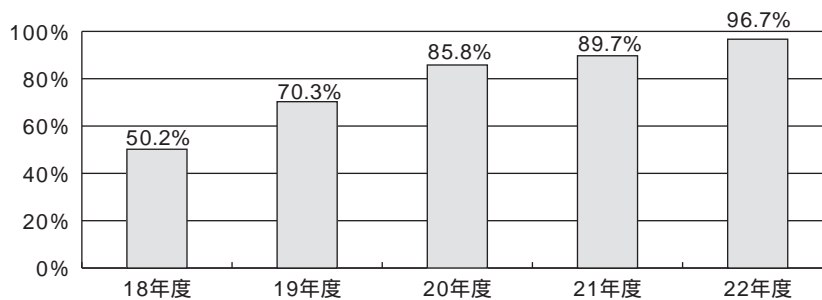
[実績及び成果]

- (1) 橋梁耐震補強事業費 64,525,650 円
(県費補助事業 40,060,650 円 市単独事業 24,465,000 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
耐 震 補 強	橋脚補強工 6 橋	橋脚補強工 6 橋

[指 標]

指 標 名：橋梁耐震補強事業進捗率
指 標 説 明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成 17 年度～23 年度)



- (2) 単独橋梁整備事業費 46,663,050 円

(ア) 点検調査費

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
橋 梁 点 検 調 査 等	大岩橋始め118橋	水神橋始め182橋

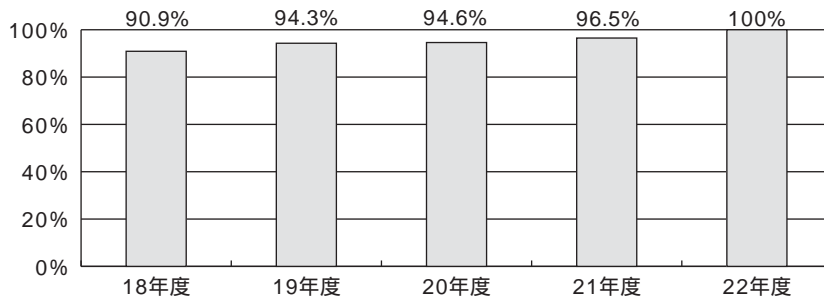
(イ) 工 事 費

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
修 繕	高欄修繕、塗装工等	高欄修繕、塗装工等

[指 標]

指 標 名：単独橋梁整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成13年度～22年度)



(3) 大道橋改築事業費 11,003,118 円

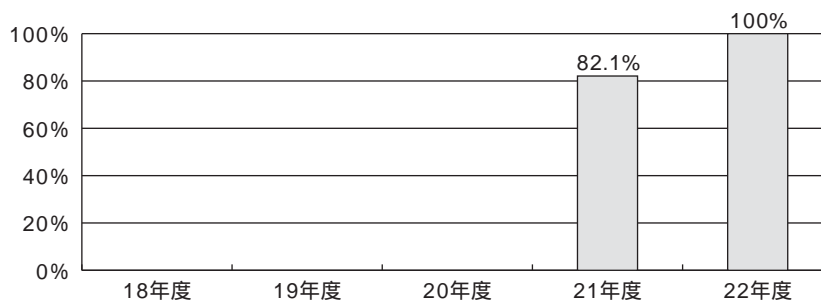
(国庫補助事業 11,003,118 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
改 築	旧橋撤去、橋台設置、上部工架設 補 償 工作物等	橋梁付属物工、橋面工、取付道路工 補 償 工作物

[指 標]

指 標 名：大道橋改築事業進捗率

指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成21年度～22年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 道路環境整備費	23,704,800	0	0	0	23,704,800

1 道路等維持改良事業費 12,583,200 円 (道路維持課) <生活道路の整備>

[総 括]

市民生活に密着した生活主要道路の整備として実施してきた「くらしのみちづくり」事業は、平成22年度で完了した。

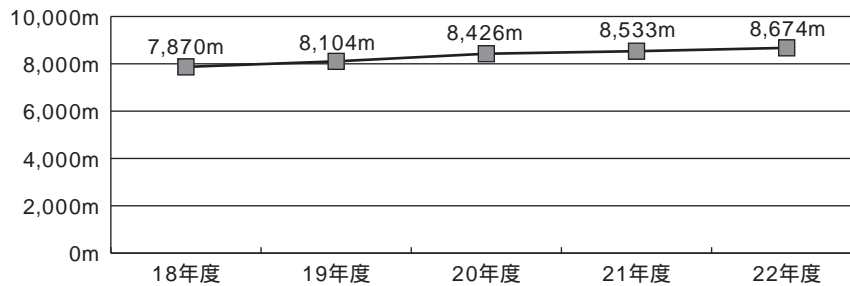
[実績及び成果]

(1) くらしのみちづくり事業費 12,583,200 円

内 容	平成21年度	平成22年度
		延長 107m

[指 標]

指 標 名 : くらしのみちづくり事業工事完了総延長
 指標説明 : //



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	894,491,228	107,334,850	13,600,000	54,350,175	719,206,203
1目 河 川 総 務 費	160,485,736	0	0	8,406,375	152,079,361

1 土砂災害対策事業費 121,454 円(河川課) <土砂災害対策の推進>

[総 括]

土石流・がけ崩れなどの土砂災害から市民の生命と財産を守るため、県が行う急傾斜地崩壊防止工事等に対し負担金を支出した。なお、平成22年度までの計画については工事を中断した箇所があったことから事業進捗があまり図れなかった。今後は、県の採択枠が限られているなか、地元住民の要望に基づき、更なる県への働きかけをし、事業の進捗を図る。

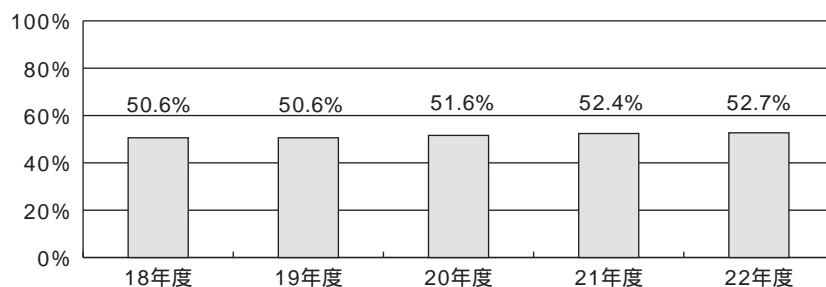
[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 121,454 円

事業主体	区 分	平成21年度	平成22年度
愛 知 県	地 区 名	杉山町屋敷	杉山町屋敷
	事 業 費	2,766,000円	1,214,540円
	市 負 担 分	276,600	121,454

[指 標]

指 標 名：急傾斜地崩壊対策事業負担金進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度～22年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 河 川 費	601,074,432	40,351,030	0	45,943,800	514,779,602

1 河川水路等改良事業費 281,322,171円(河川課) <河川、水路、海岸の整備>

[総 括]

河川・水路等の流下能力を高め、氾濫による被害の防止を図り、市民の生命・財産を保全するため、河川・水路等の改良を行った。また、県補助事業を活用し、境松川の改良工事や用地取得を行ったほか、田原市と共同で切畑川の工事を行うなど安全で住みよいまちづくりをめざして整備を進めた。なお、平成22年度までの計画については、水路改良事業は計画した事業量に比べ事業進捗が図れなかったが、河川改良事業については順調に事業進捗が図れた。今後も県補助金等の確保により、事業の早期完了を図る。

[実績及び成果]

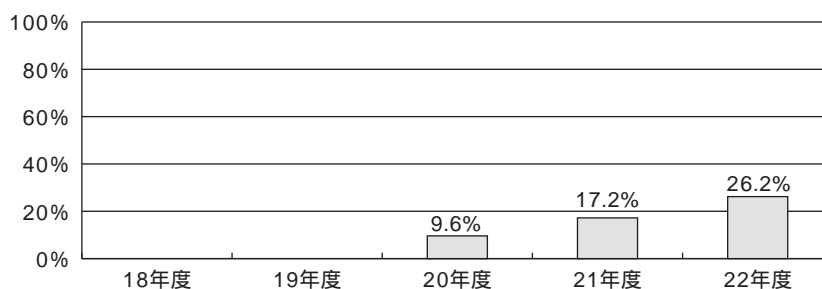
(1) 境松川改良事業費 45,000,000円

(県費補助事業 45,000,000円)

内 容	平成21年度	平成22年度
河 川 改 良	用地取得 面積 1,852.09㎡	工 事 延長 52m 用地取得 面積 1,036.80㎡

[指 標]

指 標 名：境松川改良事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成20年度～25年度)

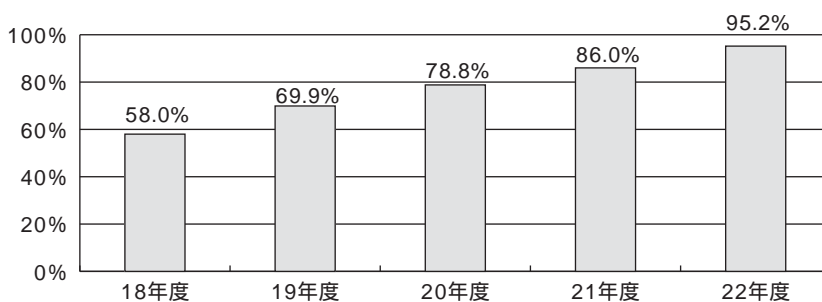


(2) 河川改良事業費 156,335,810円

内 容	平成21年度	平成22年度
河 川 改 良	工 事 延長 409m	工 事 延長 599m

[指 標]

指 標 名：河川改良事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度～22年度)

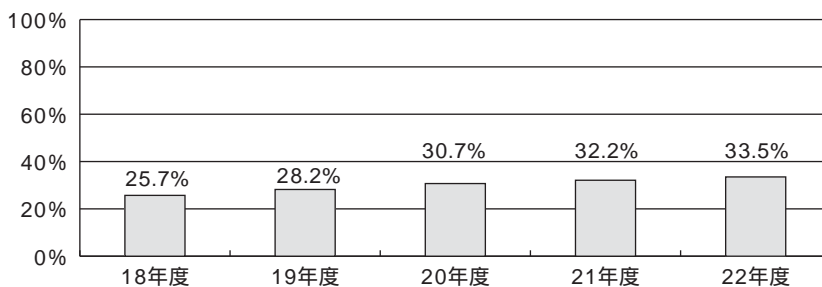


(3) 水路改良事業費 75,557,580 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
水 路 改 良	工 事 延長 482m 補 償 水道管等	工 事 延長 1,021m
樋 管 改 良	工 事 1 か所	

[指 標]

指 標 名：水路改良事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度～22年度)



(4) 水路改良受託事業費 4,428,781 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
用 地 取 得		面 積 180.71㎡

科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 河川環境整備費	132,931,060	66,983,820	13,600,000	0	52,347,240

1 大雨浸水対策事業費 105,720,310 円(河川課) <河川、水路、海岸の整備>

[総括]

都市化の進展に伴う流域環境の変化による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。なお、平成22年度までの計画については二級河川の改修状況に影響されるなど、あまり事業進捗が図れなかった。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

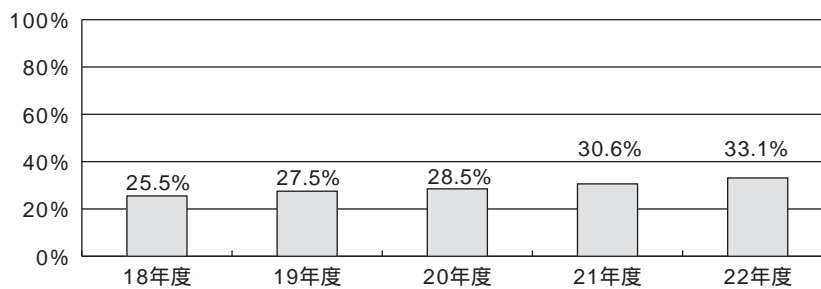
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 105,720,310 円

内 容	平成21年度	平成22年度
水路改良	工事延長 962m 補償 水道管	工事延長 899m 補償 水道管

[指標]

指標名：大雨浸水対策事業進捗率
指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度～22年度)



2 流域貯留浸透事業費 22,853,250 円(河川課) <河川、水路、海岸の整備>

[総括]

集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、国庫補助事業を活用して、向山大池及び上庄池の余水吐を改良するなど雨水流出抑制対策に着手した。今後も、国庫補助金の確保により事業の進捗を図る。

[実績及び成果]

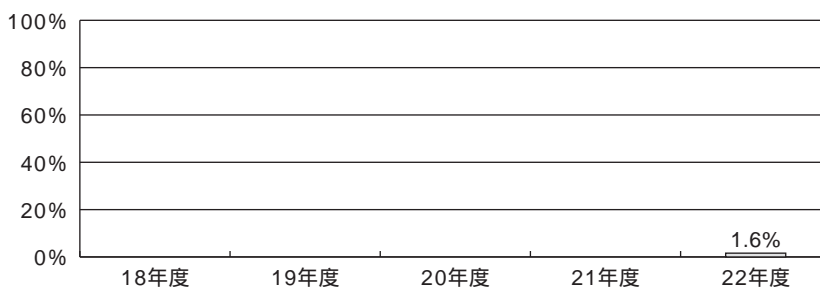
(1) 流域貯留浸透事業費 22,853,250 円

(国庫補助事業 22,800,000 円 市単独事業 53,250 円)

内 容	平成21年度	平成22年度
貯留施設整備		貯留施設工 2か所 調査測量設計 3か所

[指 標]

指 標 名：流域貯留浸透事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成22年度～27年度)



3 憩の川水辺環境整備事業費 4,357,500 円 (河川課) < 水辺環境の保全と再生 >

[総 括]

河川を市民の憩う場とし、自然豊かな水辺の環境を創造するため、親水施設の整備や自然環境の保全を図った。親水整備は平成22年度で完了したため、今後は地元住民の参加による維持管理に努めていく。

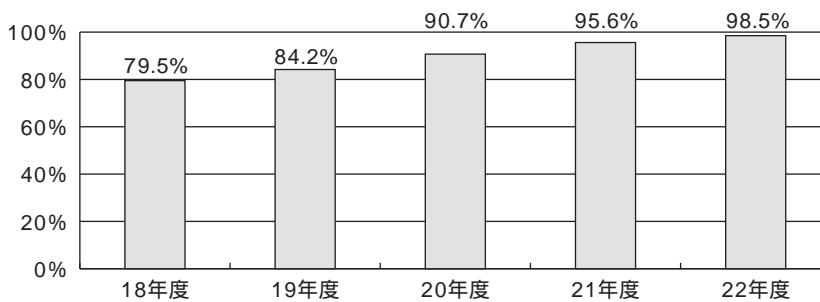
[実績及び成果]

(1) 水辺リフレッシュ事業費 4,357,500 円

内 容	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	親水整備工	1件	親水整備工	1件

[指 標]

指 標 名：水辺リフレッシュ事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度～22年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,340,459,216	284,486,490	361,700,000	328,319,874	365,952,852
1目 建 築 総 務 費	295,645,476	8,862,350	0	20,666,380	266,116,746

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 897,808円(建築指導課) <誰もが暮らしやすいまちづくりの推進>

[総括]

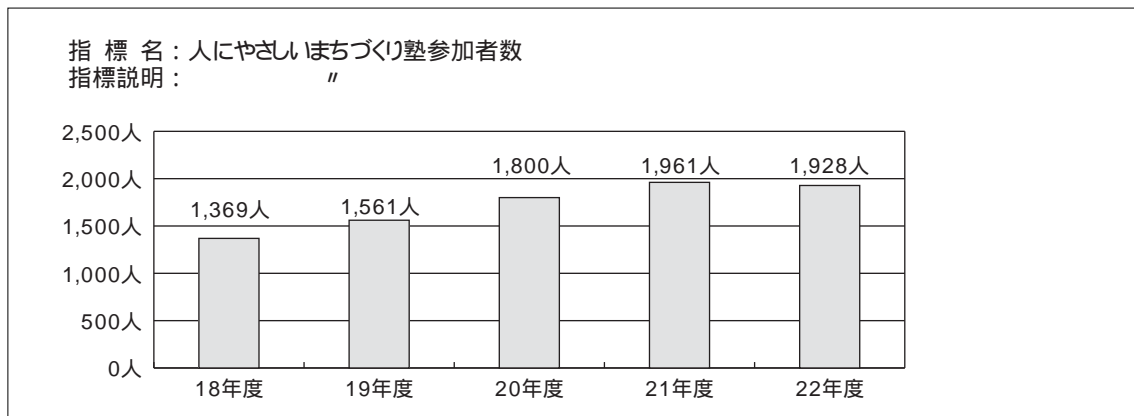
人にやさしいまちづくりを推進するため、アドバイザーグループの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小中学校等で開催した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、バリアフリーの必要性等の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 897,808円

区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
啓 発 事 業 開 催 回 数	31回	30回	3.2%

[指 標]



2 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 8,866,000円(住宅課) <多様な住宅ニーズへの対応>

[総括]

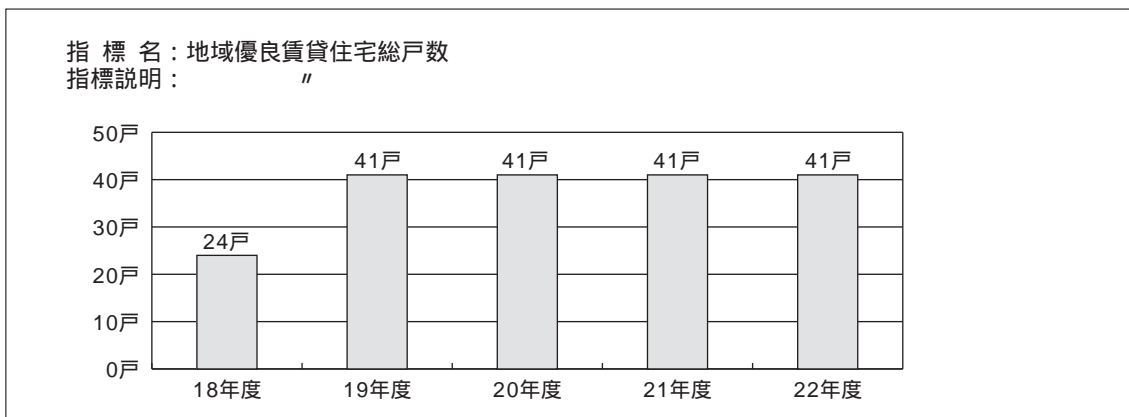
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅(高齢者型)整備の補助を行った事業者に対して、家賃補助及び整備事業費の利子補給を実施した。今後もこの制度を活用した民間事業者による地域優良賃貸住宅の拡充を進める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 8,866,000円

内 容	平成21年度	平成22年度
家 賃 対 策 補 助 金	7,066,000円	7,070,000円
利 子 補 給 補 助 金	3,797,000	1,796,000

[指 標]



3 住宅マスタープラン策定事業費 6,583,875 円（住宅課）＜多様な住宅ニーズへの対応＞

[総 括]

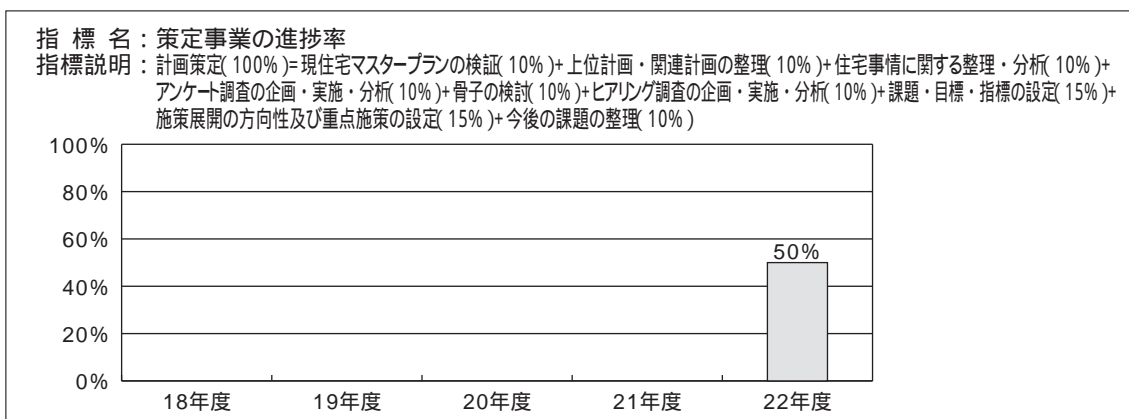
平成 22 年度は、24 年度からの施行を予定する「豊橋市住宅マスタープラン」の策定に向けて、住宅事情に関する基礎調査を実施するとともに、アンケートやヒアリングにより市民、事業者団体の意向の把握に努め、基本目標等の検討を行った。23 年度は基本目標や施策、指標の設定を行う。

[実績及び成果]

(1) 住宅マスタープラン策定事業費 6,583,875 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度

[指 標]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 建築指導費	6,068,023	0	0	1,178,000	4,890,023

1 共通事務費 6,068,023円(建築指導課)<土地、建物に関する許可等>

[総括]

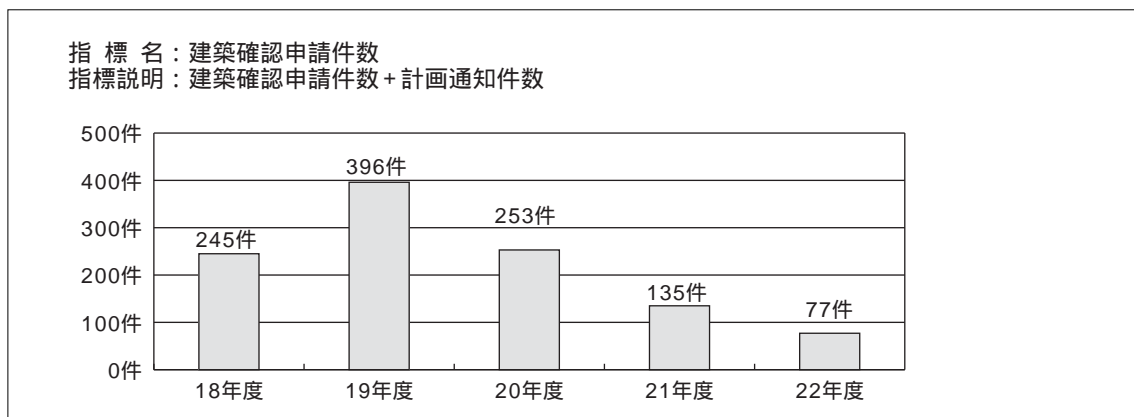
建築基準法による「確認申請」は、社会経済情勢の変化等に伴い減少した。また、都市計画法による「建築許可申請」は、増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備及び都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 共通事務費 6,068,023円

種 別	区 分	受 付 件 数		比 較
		平成21年度	平成22年度	
建築確認申請等	確認申請	110件	56件	49.1%
	計画通知	25	21	16.0
建築基準法による許可申請等	建築許可申請	10	36	3.6倍
	仮使用承認申請	5	8	60.0%
都市計画法による許可申請等	開発許可申請	20	21	5.0
	建築許可申請	270	282	4.4

[指標]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 住宅管理費	478,731,235	83,821,140	32,100,000	306,475,494	56,334,601

1 住宅維持管理事業費 354,235,297円(住宅課) < 公営住宅の整備充実 >

[総 括]

市営住宅の効率かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。今後も修繕コストの縮減に努めながら住宅の環境整備を進める。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 69,985,393円

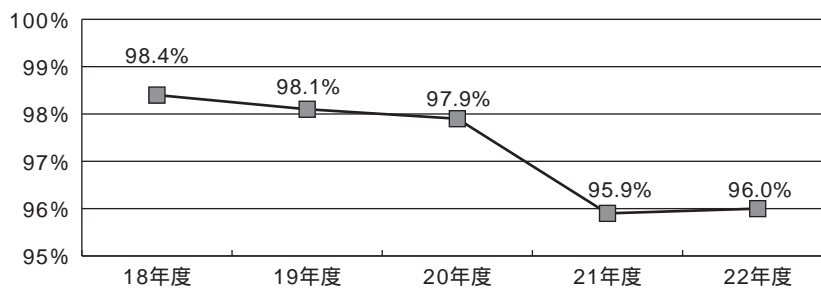
内 容	平成21年度	平成22年度
住宅管理戸数	4,164戸	4,164戸

(2) 住宅維持補修事業費 284,249,904円

工 事 内 容	平成21年度	平成22年度
屋 上 防 水	オノ神	富本RC始め2住宅
水 道 メ ー タ ー	柳原始め7住宅	西口始め7住宅
手 す り 改 修	岩屋	柳原
受 水 槽 改 修	岩屋	柳原
エレベーターカメラ	オノ神始め3住宅	東山始め2住宅
火 災 復 旧	城山	

[指 標]

指 標 名 : 市営住宅入居率
 指標説明 : 延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公営住宅建設費	560,014,482	191,803,000	329,600,000	0	38,611,482

1 公営住宅建設事業費 532,194,544 円(住宅課) < 公営住宅の整備充実 >

[総 括]

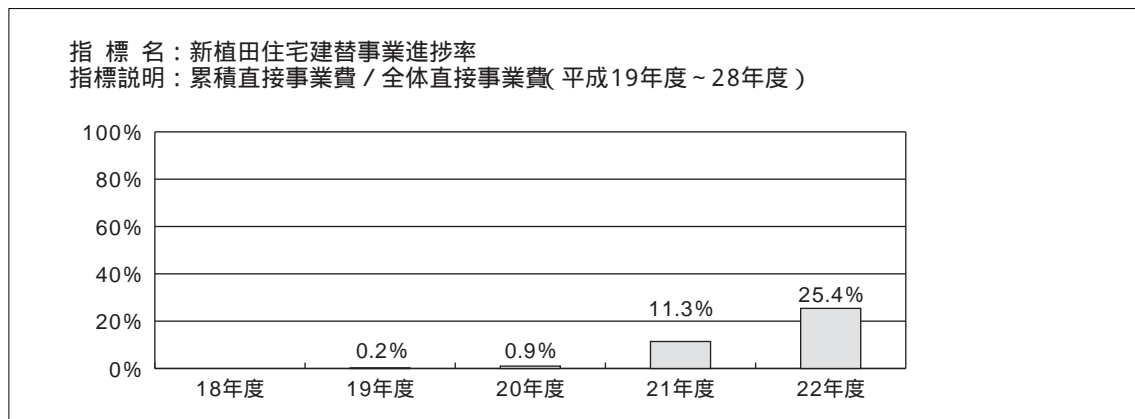
平成22年度は、23年3月に新植田住宅建替工事(第1期)をしゅん工した。また、24年3月のしゅん工をめざして南栄住宅建替工事(第1期)に着手した。今後も建替事業の円滑な実施をめざす。

[実績及び成果]

(1) 新植田住宅建替事業費 289,207,804 円

棟 数	構 造 等	摘 要
1 棟	中層耐火構造 4階建 延床面積 2,295.43 m ²	建設年度 平成21~22年度 建設戸数 40戸(2DK 32戸、3DK 8戸)

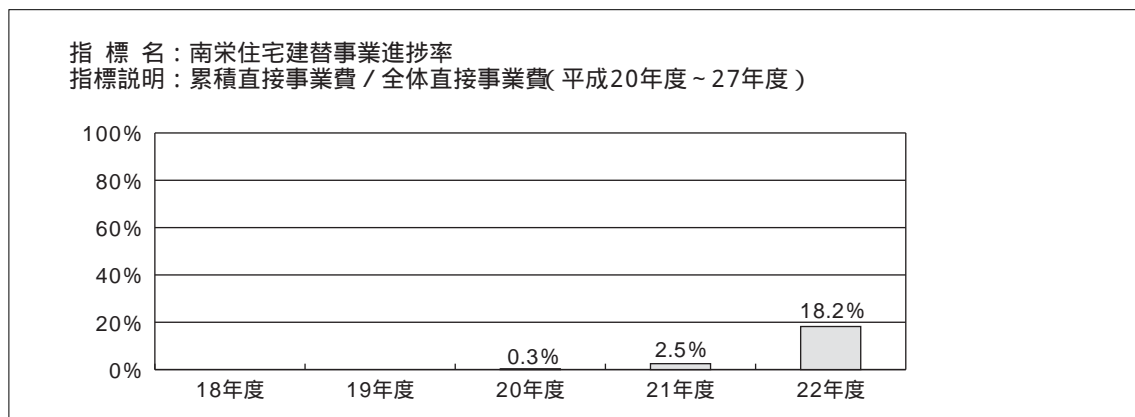
[指 標]



(2) 南栄住宅建替事業費 242,986,740 円

棟 数	構 造 等	摘 要
1 棟	中層耐火構造 5階建 延床面積 4,136.53m ²	建設年度 平成22~23年度 建設戸数 70戸(2DK 60戸、3DK 10戸)

[指 標]



科目	決算額等 決算額（円）	財 源 内 訳 （円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	123,952,500	1,194,915	0	877,688	121,879,897
2目 港湾費	34,494,799	1,194,915	0	851,258	32,448,626

1 港湾関連対策事業費 13,914,630 円（港湾活性課）＜国際的な総合物流機能の充実＞

[総 括]

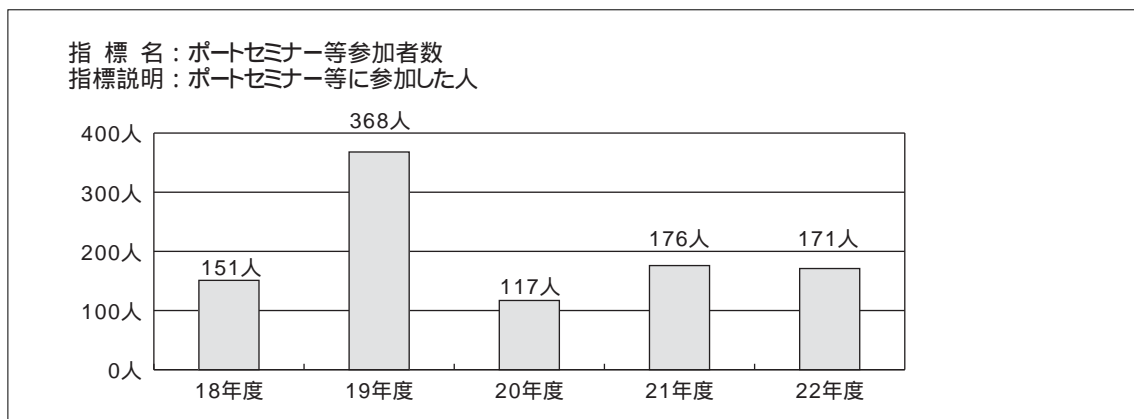
三河港の国際拠点港湾（特定重要港湾）への昇格をめざすため、三河港振興会が主体となり、インフラ整備及びコンテナターミナル利用の促進活動を行うとともに、海外ポートセールス・ポートセミナーの開催などにより三河港の情報を全国に向け発信した。取扱貨物量が落ち込む中、利用者に対しての助成金制度の実施や積極的なポートセールスを展開し、コンテナ貨物量の維持・増加を図った。また、平成 22 年度には全国に 103 ある重要港湾の中から国による新規直轄港湾整備の対象となる 43 の重点港湾の一つに選定され、今後も国際的な総合物流港湾として発展するために、物流基盤の整備促進活動と集荷活動を積極的にやっていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,814,630 円
- (2) 三河港振興会負担金 8,100,000 円
- ア) コンテナ委員会負担金 7,500,000 円

負 担 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		7,500,000 円

[指 標]



2 国際自動車コンプレックス計画推進事業費 50,529 円（港湾活性課）＜国際的な総合物流機能の充実＞

[総 括]

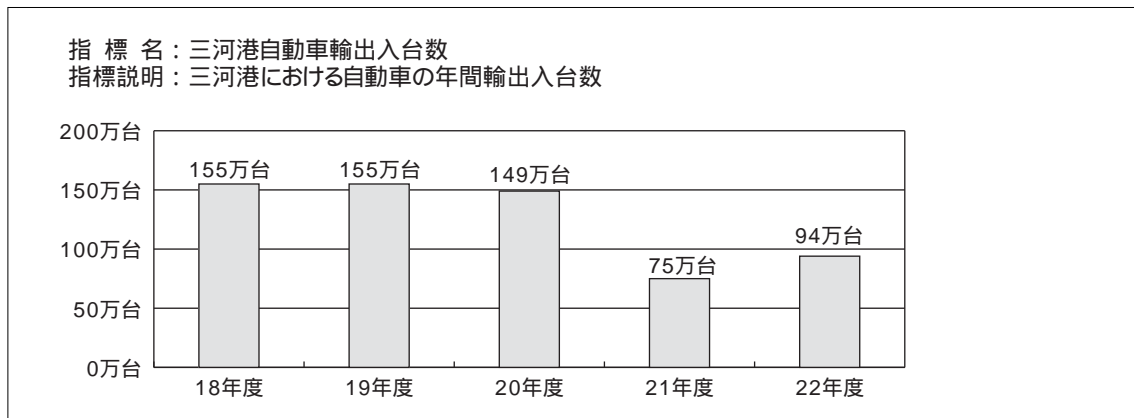
日本を代表する自動車港湾である三河港を核とする自動車港湾ネットワークの構築をめざすため、自動車関連企業の集積や物流機能を活かした中古自動車・自動リサイクルなど新たなビジネスの可能性や自動車流通に関する調査研究を行い、また、自動車関連中小企業の技術力向上や独自技術の獲得のため、豊橋技術科学大学と企業との産学連携による自動車技術開発研究を行うなど、一定の成果が得られた。

[実績及び成果]

- (1) 国際自動車コンプレックス推進事務費 50,529 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
企業等調査件数	17件	11件

[指 標]



3 ポートインフォメーションセンター管理運営費 15,348,103 円（港湾活性課）＜親しみのあるみなとの形成＞

[総 括]

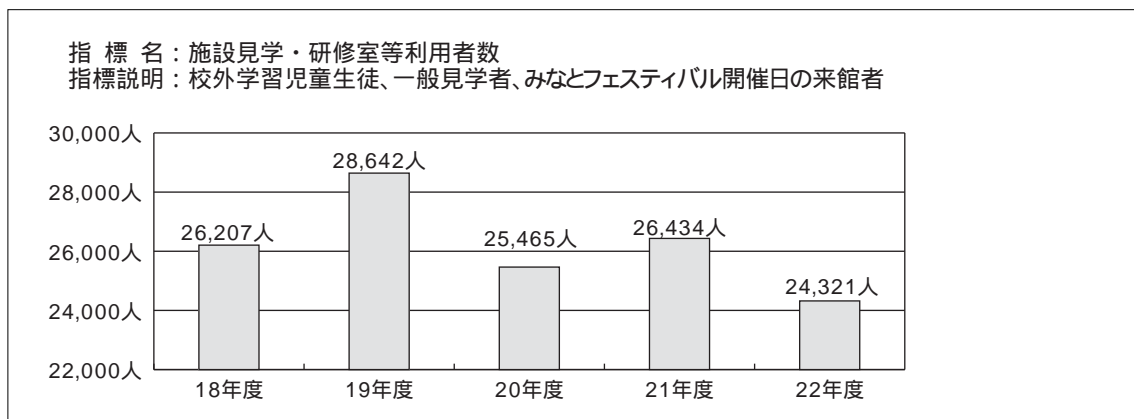
みなとを気軽に訪れ、この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらい、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努め運営した。今後も適切なサービスの提供により、来館者に親しまれる施設にしていく。

[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 15,348,103 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数	357日	358日	0.3%
総 入 館 者 数	26,434人	24,321人	8.0

[指 標]



4 港イベント事業費 4,500,000 円（港湾活性課）＜親しみのあるみなとの形成＞

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港湾周辺でフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。地域住民に対してみなとへの理解を深めてもらうために、港湾関係団体が一体となって行うイベント開催を支援し、親しまれるみなとづくりを推進する。

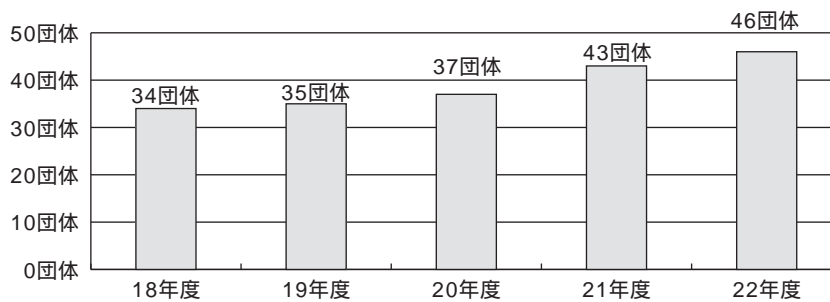
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 4,500,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	5,000,000円	4,500,000円

[指 標]

指 標 名：イベント参加団体数
 指標説明：みなとフェスティバルに参加した団体数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	3,274,955,668	385,184,311	166,800,000	18,515,520	2,704,455,837
1目 都市計画総務費	419,178,058	594,557	0	13,701,417	404,882,084

1 都市計画推進事業費 4,202,829 円(都市計画課) <コンパクトな市街地の形成>

[総 括]

将来の都市像を展望し、都市計画の基本的な方針を定めるため、平成 21・22 年度の 2 か年で都市計画マスタープランを策定した。また、区域区分の変更や愛知県が行う都市計画区域の再編に伴い、都市計画の変更を行った。今後は都市計画マスタープランに基づき、本市の特性を活かしたまとまりのある市街地の形成をめざす。

[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 3,733,957 円

内 容	平成 21 年度	平成 22 年度
	都市計画基礎調査委託 都市計画マスタープラン策定委託	

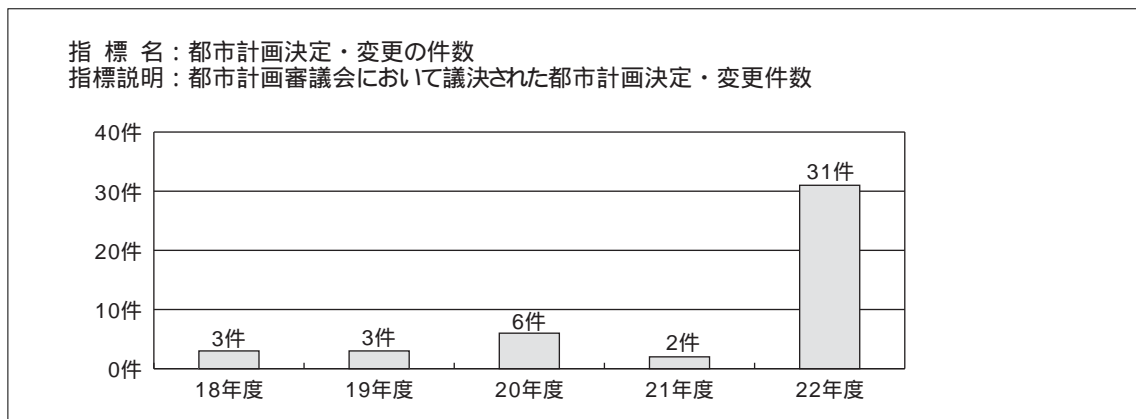
(2) 地域整備推進事業費 17,372 円

内 容	平成 21 年度	平成 22 年度
会 議 開 催 回 数	9回	9回

(3) 都市計画基本図作成費 451,500 円

内 容	平成 21 年度	平成 22 年度
	都市計画基本図等印刷	

[指 標]



2 まちづくり景観推進事業費 5,823,410 円(都市計画課) <個性的なまち並みの形成>

[総 括]

歴史の薫る美しいまち並み景観形成を図るため、二川宿景観形成地区の区域を拡大し、住民団体へ助成を行い景観形成の基準づくりを開始した。また、景観形成地区内の良好な建築行為に対し助成を行った。今後も継続して調和のとれたまち並み景観形成をめざす。

[実績及び成果]

- (1) 都市景観推進事業費 470,132 円

助 成 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		1 件	300,000円	1 件

- (2) まちづくり景観形成助成金 3,820,000 円

- (ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 3,820,000 円

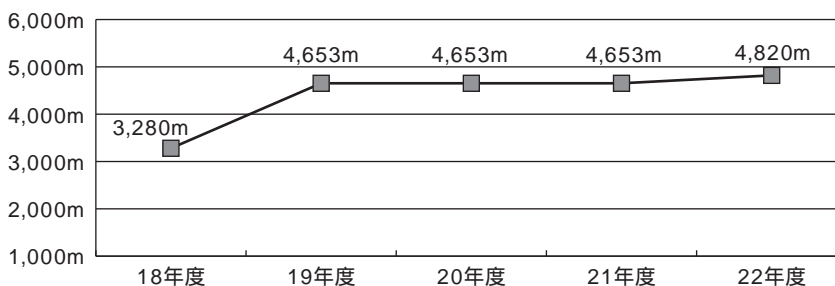
助 成 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		5 件	4,078,000円	4 件

- (3) 屋外広告物対策事業費 1,533,278 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
許 可 件 数	445件	541件
違反広告物撤去件数	538	374

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長
 指標説明：各景観形成地区の道路延長の合計



- 3 都市交通計画推進事業費 286,585 円（都市計画課）＜公共交通機関の利用促進＞

[総 括]

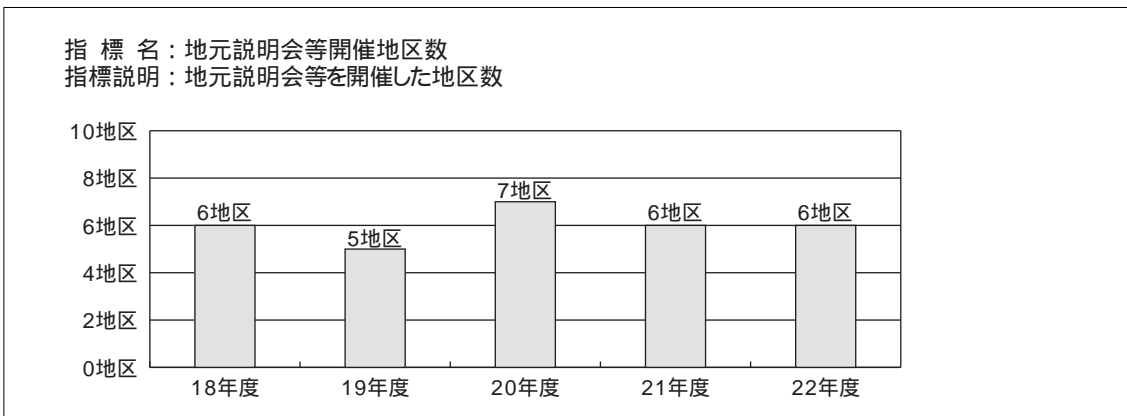
都市交通ビジョンの基本理念でもある「過度に自動車交通に依存しない都市交通体系の構築」をめざすため、コミュニケーションアンケートや地元説明会等を実施した。今後も市民の交通に対する意識変革に努め、公共交通の利用促進を図る。

[実績及び成果]

- (1) 都市交通計画推進事業費 286,585 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
地 元 説 明 会 等	6 地区 45回	6 地区 75回

[指 標]



4 路線バス対策事業費

50,995,000 円（都市計画課）＜公共交通機関の利用促進＞

[総 括]

バス路線の維持を図るため赤字路線に対して助成を行い、住民の交通手段を確保した。しかし、バス利用者は減少傾向にあるため、今後も交通事業者とともに、利用促進を図るための啓発活動に取り組む必要がある。

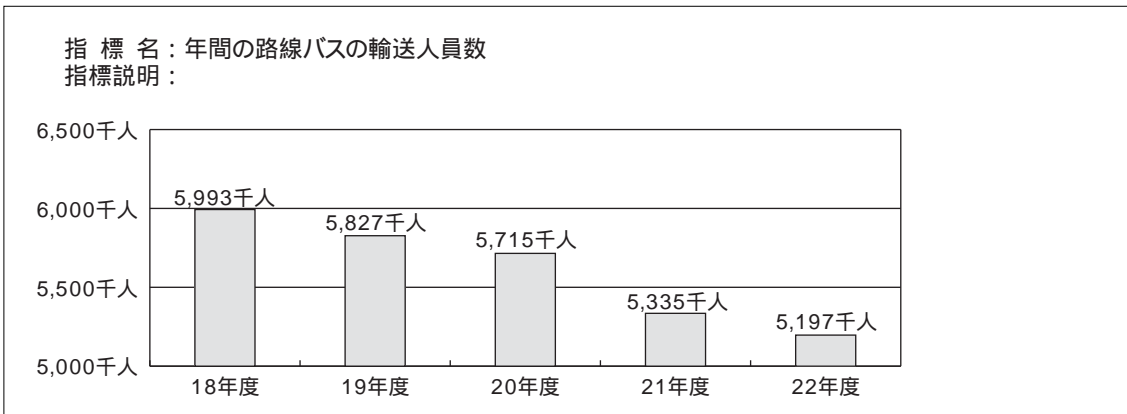
[実績及び成果]

(1) バス運行対策費補助金

50,995,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	19,587,000円	50,995,000円

[指 標]



5 地域公共交通活性化推進事業費 14,240,171 円（都市計画課）＜公共交通機関の利用促進＞

[総 括]

公共交通空白地域において、地域住民が主体となり日常の移動手段を確保するため、東部地区に加え平成 22 年 10 月からは新たに北部地区においても「地域生活」バス・タクシーの実証運行を行った。今後も地域住民とともに、「地域生活」バス・タクシー運行事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 地域公共交通利用促進事業費 14,240,171 円

(ア) 「地域生活」バス・タクシー実証運行事業等 12,649,578 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	東部地区	東部地区

(イ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 890,593 円

補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	178,803円	890,593円

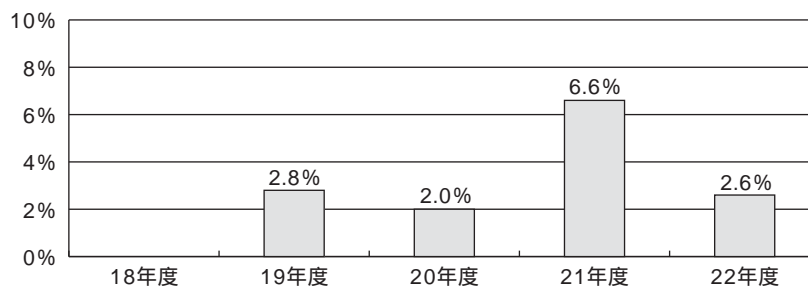
(ウ) バスの日イベント開催負担金 700,000 円

負 担 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	1,000,000円	700,000円

[指 標]

指 標 名：バス等利用者数減少率

指標説明：(前年度利用者数 - 当年度利用者数) / 前年度利用者数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 街路事業費	51,387,460	18,700,000	0	0	32,687,460

1 都市計画道路整備事業費 50,931,299 円 (道路建設課) < 幹線道路網の整備 >

[総 括]

都市における交通環境の向上と景観形成や防災効果向上のため、都市計画道路網の整備を推進している。平成 22 年度は、弥生町線の用地買収を進めるとともに、街路築造工事を行った。今後は未買収用地の取得に努め、関係機関との協議や調整を図りながら事業の完了をめざしていく。

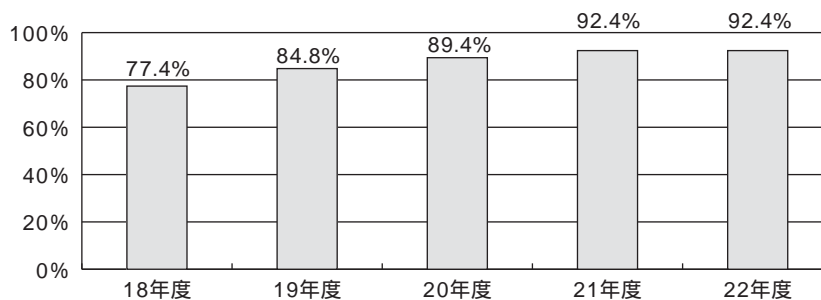
[実績及び成果]

(1) 弥生町線整備事業費 50,931,299 円
(国庫補助事業 34,000,000 円 市単独事業 16,931,299 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
道 路 改 良	延 長 130m 用 地 227.48㎡ 補 償 建物等	延 長 113m 用 地 127.98㎡ 補 償 工作物等

[指 標]

指 標 名 : 弥生町線整備事業進捗率
指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成4年度～25年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑 化 事 業 費	319,130,363	37,116,010	0	340,000	281,674,353

1 緑化維持管理事業費 264,170,410円(公園緑地課)<都市緑化の推進>

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も薬剤の使用を控えるなど、環境に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 169,656,760円

内 容	平成21年度	平成22年度
	菰口町・旭町1号線始め272路線 街路樹 16,117本	菰口町・旭町1号線始め274路線 街路樹 16,031本

(2) 公園樹等維持管理事業費 91,081,200円

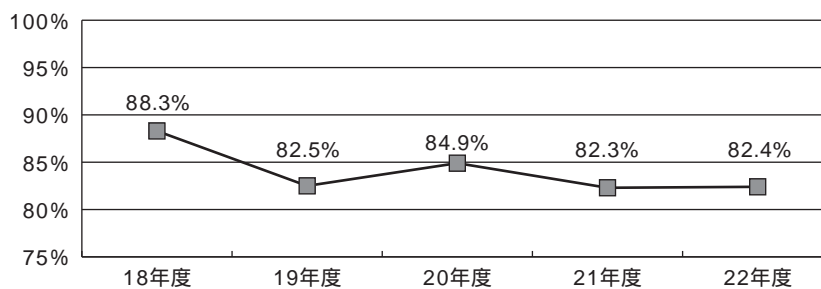
内 容	平成21年度	平成22年度
	牛川遊歩公園ほか 公園樹 1,570本	牛川遊歩公園ほか 公園樹 1,685本

(3) 街路樹支柱補修等事業費 3,432,450円

路 線 名	平成21年度	平成22年度
	西岩田・飯村町1号線ほか	富士見台8号線ほか

[指標]

指標名：街路樹、公園樹の維持管理率
 指標説明：維持管理実績本数 / 街路樹・公園樹の高木本数



2 緑化推進事業費 53,485,156円(公園緑地課)<都市緑化の推進>

[総括]

緑豊かなまちづくりの基本的な方針を定めるため、平成22・23年度の2年間で「豊橋市緑の基本計画」を策定する。また、市民参加型の緑化活動を推進するため公園ガーデニング事業や花交流フェアを開催するとともに、新たに都市景観の向上を図るため優良な民有地緑化に対し助成を開始した。今後も市民・事業者と行政が一体となった都市緑化を推進する。

[実績及び成果]

- (1) 街路樹等緑化推進事業費 38,508,750 円
 (国庫補助事業 7,123,200 円 県費補助事業 21,093,050 円 市単独事業 10,292,500 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	飯村町・多米中町 5 号線ほか 高木植栽 クロガネモチほか 192本 中低木植栽 ヒラドツツジほか 1,061本	

- (2) 公園樹等緑化推進事業費 3,868,680 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
植栽及び更新工事	七面公園ほか 高木植栽 シダレザクラほか 11本 中低木植栽 ヒラドツツジほか 191本	向山緑地ほか 高木植栽 ウメ 5本 中低木植栽 ウメほか 4本

- (3) 苗ほ管理事業費 1,150,800 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
苗 ほ 管 理 委 託	三ツ口池苗ほ、東細谷苗ほ 11,410㎡	三ツ口池苗ほ、東細谷苗ほ 11,410㎡

- (4) 公園ガーデニング事業費 455,100 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	若宮公園始め 3 公園	宮下公園

- (5) 花交流フェア開催事業費 483,466 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
花壇等出展者数	82個人・団体	69個人・団体
来 場 者 数	16,000人	17,000人

- (6) 緑の基本計画策定事業費 6,059,360 円

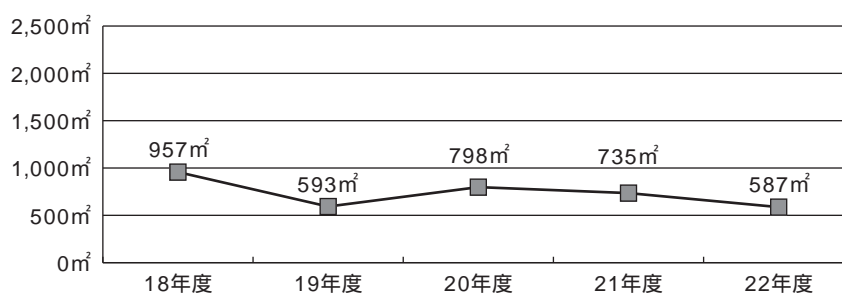
内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		緑の基本計画策定委託

- (7) 民有地緑化推進事業補助金 2,959,000 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		2 件 443.72㎡

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被面積
 指標説明：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公園管理費	1,962,386,525	76,851,684	0	3,389,723	1,882,145,118

1 公園施設維持管理事業費 728,122,354 円(公園緑地課) <都市緑化の推進>

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創造するため、市内 529 箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に執行することによりコストの低減を図るとともに、市民参加による維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 535,561,211 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		除草清掃・施設管理委託等 高師緑地始め527箇所

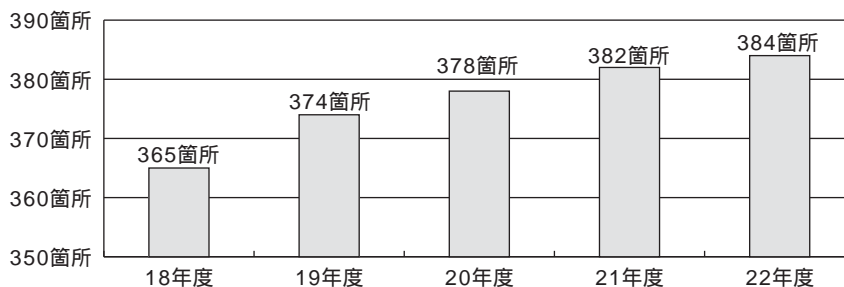
(2) 公園修繕事業費 192,561,143 円

(国庫補助事業 57,091,450 円 市単独事業 135,469,693 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
照 明 灯 修 繕	岩田運動公園ほか	逆鉾遊園ほか
遊 具 補 修	万場緑地ほか	万場緑地ほか
諸施設及び塗装修繕等	高師緑地ほか	竜ヶ池公園ほか
外 柵 修 繕	天伯第三公園ほか	葉師公園ほか
照 明 灯 更 新		岩田運動公園ほか
遊 具 更 新		飯村公園ほか
公園噴水ポンプ等修繕		向山緑地ほか
ガ ス 灯 修 繕		幸公園
井 戸 改 修	向山緑地	
ト イ レ 改 良	豊橋総合スポーツ公園	

[指標]

指標名：都市公園開設箇所数
指標説明：開設箇所数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 公園整備費	320,201,895	116,797,060	166,800,000	0	36,604,835

1 公園緑地整備事業費 274,361,459円(公園緑地課) <公園・緑地の充実>

[総括]

潤いのある安全で快適な都市空間を提供するため、牟呂大塚公園等を整備した。また、土地区画整理事業による牛川公園、坂津公園及び汐田公園の公共施設管理者負担金を負担した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

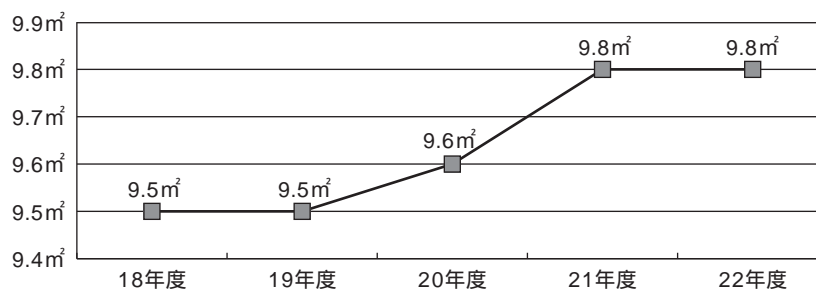
[実績及び成果]

(1) 街区公園整備事業費 53,874,996円
(国庫補助事業 19,200,000円 県費補助事業 28,557,060円 市単独事業 6,117,936円)

公園名	平成21年度	平成22年度
牟呂大塚公園	給水設備、遊具等	園路、広場、池等
吉田方公園		照明灯、園路等
岩屋緑地		倉庫等
火打坂南公園	広場、照明灯、遊具等	
岩崎広場	休憩所、作業小屋、トイレ等	
大口公園	広場、フェンス、照明灯等	

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
指標説明：都市公園面積 / 人口

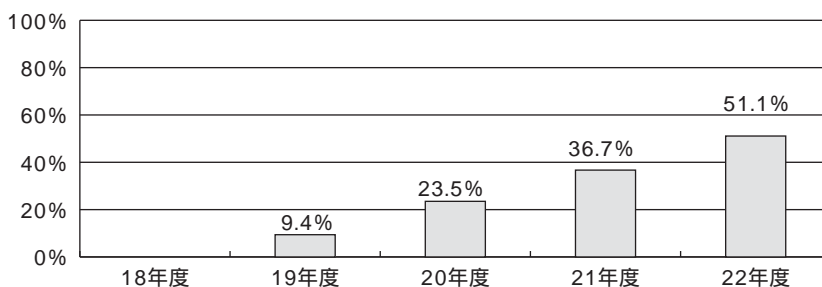


(2) 公共施設管理者負担金 220,486,463円
(国庫補助事業 219,000,000円 市単独事業 1,486,463円)

公園名	平成21年度	平成22年度
牛川公園	用地 2,349.73m²	用地 1,205.13m²
坂津公園	用地 537.30m²	用地 603.79m²
汐田公園		用地 1,321.96m²

[指 標]

指 標 名：公共施設管理者負担金進捗率
 指標説明：累積負担金 / 全体負担金(平成19年度～26年度)



2 総合スポーツ公園整備事業費 45,113,745 円 (公園緑地課) <公園・緑地の充実>

[総 括]

潤いのある安全で快適な都市空間を提供するため、基幹的な運動公園として豊橋総合スポーツ公園の整備を行うとともに、市民参加による森づくりを行った。今後も災害時の広域防災活動拠点としての機能とスポーツ施設の充実に努める。

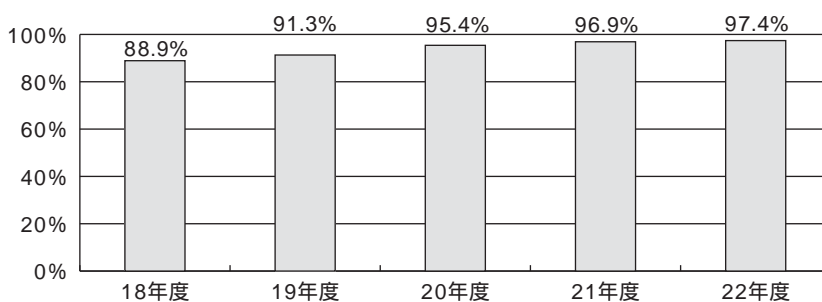
[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 45,113,745 円
 (国庫補助事業 38,000,000 円 県費補助事業 1,600,000 円 市単独事業 5,513,745 円)

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	照明灯 駐車場 防災倉庫 植栽 市民の森づくり	造成 駐車場 植栽 市民の森づくり

[指 標]

指 標 名：総合スポーツ公園整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成10年度～25年度)



平成 22 年度の全体事業費にて、18 年度から再算定

科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目	都心活性化推進費	189,565,243	135,125,000	0	477,269	53,962,974

1 都心文化イベント活動等推進事業費 1,800,000円(都心活性課)<新たな文化・交流拠点の形成>

[総括]

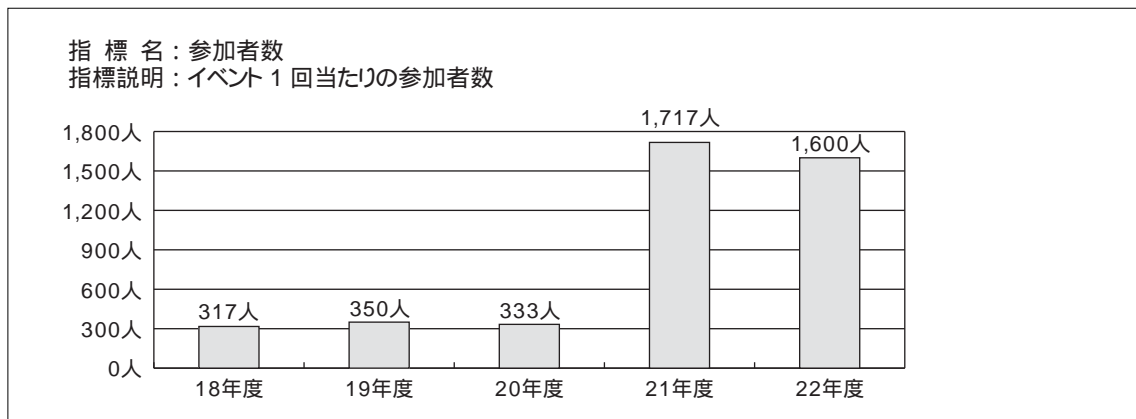
平成22年度は官民協働で中心市街地の活性化を推進する、まちなか活性化推進協議会に対し助成を行うとともに、豊橋駅南口駅前広場やサークルプラザなどを交流拠点とした音楽イベントを開催し、にぎわいの創出を図った。今後中心市街地におけるにぎわいと楽しさ、都心文化の創出を推進していく。

[実績及び成果]

(1) まちなか活性化推進協議会負担金 1,800,000円

内 容	平成21年度		平成22年度	
		延6回	参加者数 10,300人	延2回

[指標]



2 市街地再開発事業等補助金 178,200,000円(都心活性課)<都心居住の推進>

[総括]

都心居住の推進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、広小路三丁目B-2地区優良建築物等整備事業に対して助成を行い、平成23年3月に事業完了した。

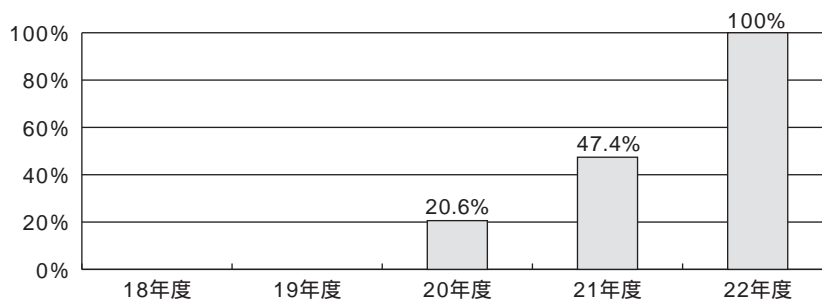
[実績及び成果]

(1) 広小路三丁目B-2地区優良建築物等整備事業補助金 178,200,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
		102,000,000円		178,200,000円

[指 標]

指 標 名 : 広小路三丁目 B-2 地区優良建築物等整備事業進捗率
指 標 説 明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成20年度 ~ 22年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 東口駅南地区都市 拠点開発事業費	13,106,124	0	0	607,111	12,499,013

1 東口駅南地区都市拠点開発事業費 13,106,124 円(都心活性課) <新たな文化・交流拠点の形成>

[総 括]

平成 22 年度は東口駅南地区土地区画整理の換地処分や清算業務等を行った。これにより、16 年度から進めてきた豊橋鉄道渥美線の移設、南口駅前広場の整備等を行った土地区画整理事業をはじめ、ペDESTリアンデッキ、南口自由連絡通路等を整備した都市拠点開発事業が完了した。

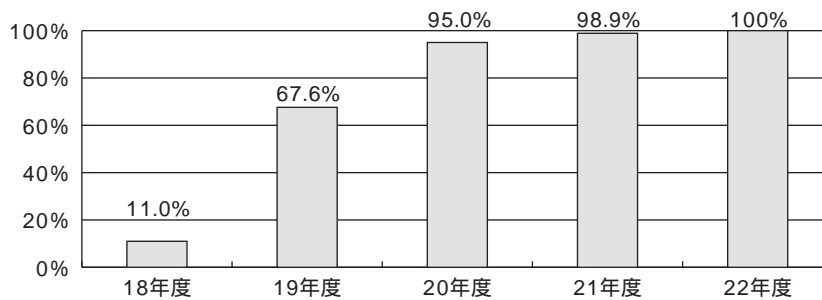
[実績及び成果]

(1) 東口駅南土地区画整理事業費 13,106,124 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	道路改良工事 延長 334m	

[指 標]

指 標 名 : 東口駅南土地区画整理事業進捗率
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成16年度~22年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,986,519,373	97,535,000	810,800,000	51,379,182	1,026,805,191
1目 区画整理総務費	1,451,462,355	37,360,000	620,300,000	44,600	793,757,755

1 組合土地区画整理推進事業費 1,245,063,000円(区画整理課) <コンパクトな市街地の形成>

[総 括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督をするとともに、助成を行った。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を、柳生川南部土地区画整理組合が行った事業に対し貸付金を支出した。今後も各組合に対する指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 541,850,000円

(ア) 土地区画整理事業補助金 496,850,000円

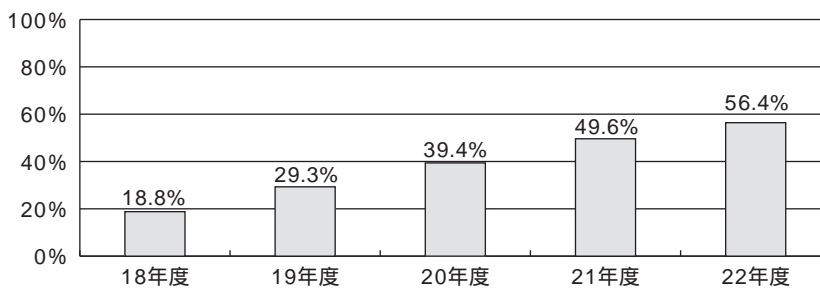
補 助 金	平成21年度	平成22年度
		574,000,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 45,000,000円

負 担 金	平成21年度	平成22年度
		150,750,000円

[指 標]

指 標 名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費 / 全体事業費(平成7年度～30年度)



平成22年度の全体事業費にて、18年度から再算定

(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 703,213,000円

(ア) 土地区画整理事業補助金 459,213,000円

補 助 金	平成21年度	平成22年度
		485,700,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 144,000,000円

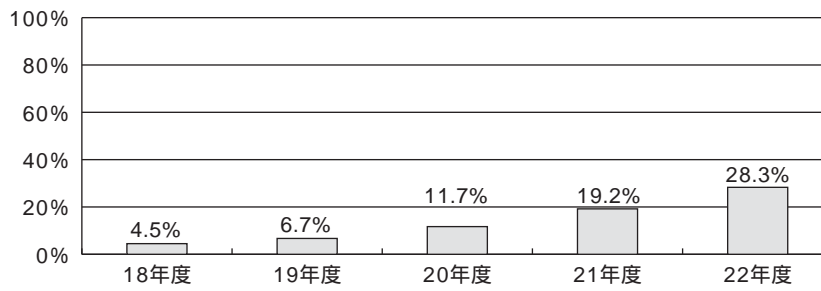
負 担 金	平成21年度	平成22年度
		72,000,000円

(7) 土地区画整理事業貸付金 100,000,000 円

貸付金	平成21年度	平成22年度
	100,000,000円	100,000,000円

[指標]

指標名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積事業費 / 全体事業費(平成14年度～28年度)



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目	牟呂坂津土地 区画整理事業費	535,057,018	60,175,000	190,500,000	51,334,582	233,047,436

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 535,057,018円(区画整理課) <コンパクトな市街地の形成>

[総 括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 535,057,018円
(国庫補助事業 333,675,457円 市単独事業 201,381,561円)

(ア) 道路築造費 33,760,650円

内 容	平成21年度	平成22年度
	延長	588m

(イ) 宅地造成費 5,710,950円

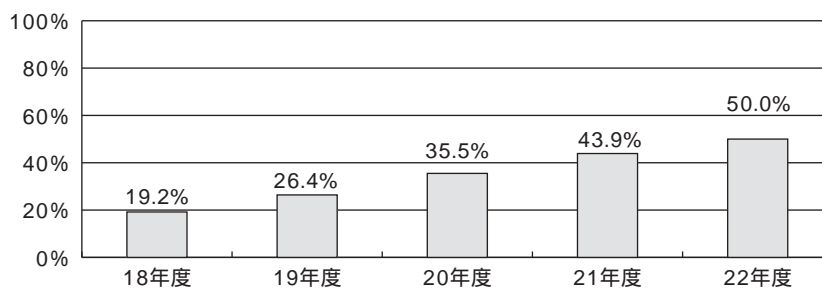
内 容	平成21年度	平成22年度
	面積	8,500㎡

(ウ) 補償費 403,835,070円

内 容	平成21年度	平成22年度
	建物 22戸 工作物、電柱 水道管移設 433m	

[指 標]

指 標 名 : 牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指 標 説 明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度~27年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,447,899,363	26,518,806	173,000,000	61,543,862	3,186,836,695
1 項 消 防 費	3,447,899,363	26,518,806	173,000,000	61,543,862	3,186,836,695
1 目 常 備 消 防 費	3,261,259,324	25,018,806	156,000,000	41,893,931	3,038,346,587

1 通信指令事業費 80,927,739 円 (消防救急課) <消防体制の充実>

[総 括]

携帯電話や一般電話からの 119 番通報を受信して、救急や火災等の各種災害への迅速かつ的確な出動指令を行った。また、消防通信指令システムにおいては、発信地表示装置の改修など機器の計画的な更新整備を行い、さらには、豊橋市、豊川市及び新城市消防通信指令事務協議会に蒲郡市が加入し、共同運用による広域的な対応により消防サービスの高度化が図られた。今後も引き続き職員の聞き取り技術等の向上を図るとともに、消防救急無線デジタル化の検討を進めなければならない。

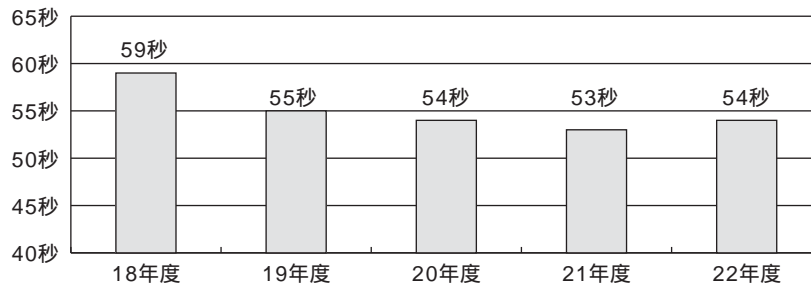
[実績及び成果]

(1) 通信指令事業費 80,927,739 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
119 番 受 信 件 数	19,012件	19,544件	2.8%

[指 標]

指 標 名 : 119 番通報の受信から出動指令発令までの所要時間の短縮
 指標説明 : 災害種別確認 + 場所確認 + 出動隊確定 + 指令時間 = 各時間の合計



2 警防活動費 801,193 円 (消防救急課) <消防体制の充実>

[総 括]

消防組織法に基づき、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するため、消防隊員の能力・技術向上に努めた。今後も複雑多様化する災害への対応及びより迅速・的確な消防活動の確立を図る。

[実績及び成果]

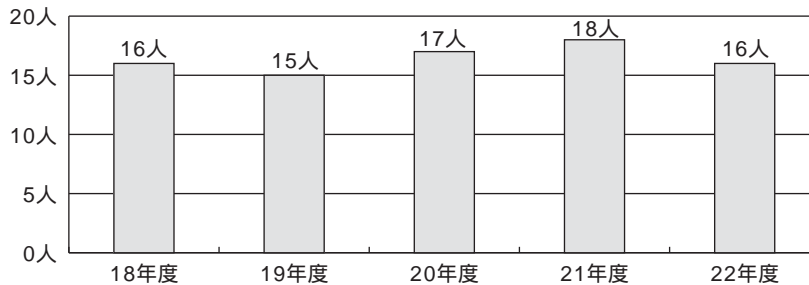
(1) 警防活動費 801,193 円

[火災発生状況]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
出 火 件 数	147件	137件	6.8%
り 災 棟 数	111棟	72棟	35.1
り 災 世 帯	59世帯	42世帯	28.8
り 災 人 員	150人	106人	29.3
焼 損 面 積 (建 物)	2,108㎡	1,452㎡	31.1
損 害 額	139,972千円	99,408千円	29.0

[指 標]

指 標 名 : 火災 1 件当たりの出動人員
 指標説明 : 火災出動人員 / 火災件数



3 救急事業費 66,726,461 円 (消防救急課) < 救助救急体制の整備 >

[総 括]

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や技術の向上に努めるとともに、市民に対して応急手当の普及啓発に努めた。今後も更なる救命率向上のため、救急救命士をはじめとする救急隊員の行う応急処置の質の向上や救急救命士の処置範囲の拡大への対応を図るとともに、市民や事業所との協働による応急手当の普及啓発を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 61,862,511 円

(ア) 研修派遣内訳

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
救 急 救 命 士 派 遣	2人	1人	50.0%
救急標準課程資格取得	9	9	0.0
除細動プロトコール	4	4	0.0
気 管 挿 管 研 修	1		皆減
薬 剤 投 与 講 習	7	7	0.0%

(イ) 車両購入内訳

平成 2 1 年度			平成 2 2 年度		
品 名	数 量	配置場所	品 名	数 量	配置場所
高規格救急自動車	1台	石巻出張所	高規格救急自動車	2台	二川出張所 大清水出張所

(2) 応急手当普及啓発事業費 1,517,060 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
普通救命講習修了証交付	3,766人	3,476人	7.7%
学校訪問授業(中学校)	13校 2,080	11校 1,907	8.3

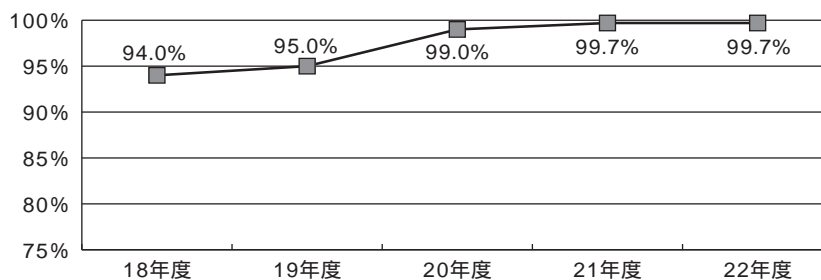
(3) 救急活動費 3,346,890 円

[救急状況]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
急 病	7,755件	8,376件	8.0%
交 通 事 故	1,536	1,515	1.4
労 働 災 害	135	138	2.2
運 動 競 技	88	104	18.2
加 害	68	70	2.9
そ の 他	3,141	3,160	0.6
計	12,723	13,363	5.0

[指 標]

指 標 名：心肺停止患者への救急救命士の対応率
 指標説明：高規格救急自動車出動件数(救急救命士)/心肺停止患者数



4 救助事業費 2,180,055 円 (消防救急課) <救助救急体制の整備>

[総 括]

消防組織法に基づき、国民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、救助隊員の能力・技術向上に努めた。今後も都市型救助など複雑多様化する災害への対応及びより迅速・的確な救助活動の確立を図る。

[実績及び成果]

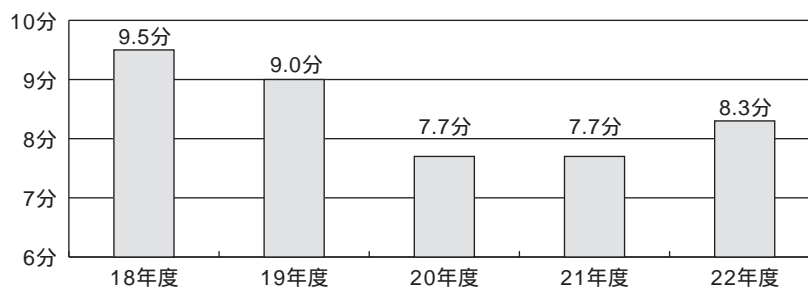
(1) 救助事業費 2,180,055 円

[救助状況]

区 分		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
火 災	建 物 火 災	55件	35件	36.4%
	建 物 火 災 以 外	16	12	25.0
火 災 以 外 の 事 故	交 通 事 故	73	76	4.1
	水 難 事 故	9	8	11.1
	自 然 災 害 事 故	3	1	66.7
	機 械 に よ る 事 故	8	4	50.0
	建 物 等 に よ る 事 故	8	18	2.3倍
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	5	5	0.0%
	そ の 他 の 事 故	74	62	16.2
計		251	221	12.0

[指 標]

指 標 名：救助平均現場到着時間
 指標説明：災害覚知から現場到着までの平均所要時間



5 西分署施設整備事業費 168,399,620 円 ((消 総務課) <消防体制の充実>

[総 括]

昭和 50 年 11 月に建設された西分署は、敷地が狭く庁舎も手狭で老朽化が著しく、これを解消するために旧西部窓口センター跡地を確保し平成 21 年度から 2 か年継続事業で新庁舎建設工事に着手、23 年 2 月に竣工し事業を完了した。

[実績及び成果]

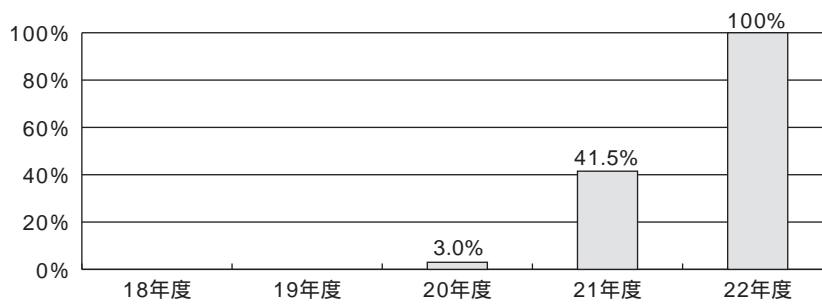
(1) 西分署施設整備事業費 168,399,620 円

2 か年継続事業 総事業費 252,854,361 円

構 造	鉄筋コンクリート造 3 階建 太陽光発電システム設置
内 容	車庫、救急消毒室、仮眠室、事務室、会議室、訓練室等
延 床 面 積	1,037㎡

[指 標]

指 標 名：西分署施設整備事業の実施設計から建設完了までの進捗率
指標説明：実施設計等3%、施設建設97%



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 非常備消防費	185,036,912	1,500,000	17,000,000	19,642,431	146,894,481

1 消防団活動事業費 140,474,205 円 ((消)総務課) <消防体制の充実>

[総括]

平成19年度に設置された消防団組織等改善協議会からの意見の内容を踏まえ、女性消防団員の増員及び活動を充実させるとともに、部の統廃合を実施するなどの組織整理を行った。今後も引き続き組織の充実を進め、消防力の向上をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 131,726,005 円

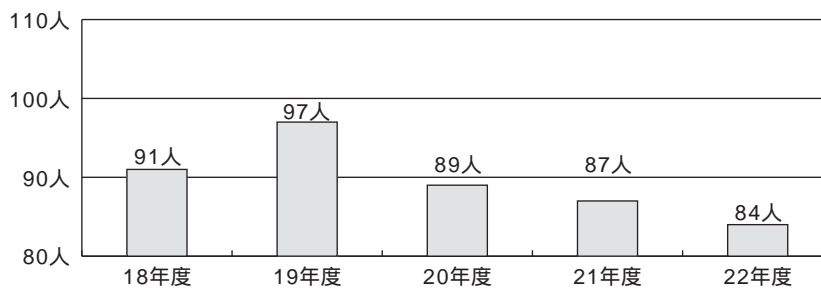
区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
災 害 ・ 公 務 出 動	19,018人	16,590人	12.8%

(2) 消防団交付金 8,748,200 円

区 分	平成21年度	平成22年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	7,016,000	6,960,200
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,804,200	8,748,200

[指 標]

指 標 名：活動1件当たりの出動団員数
 指標説明：出動人員 / 災害、火災、公務活動件数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	10,290,324,799	597,724,444	134,300,000	1,818,892,435	7,739,407,920
1項 教育総務費	1,168,579,801	31,114,983	0	12,858,478	1,124,606,340
3目 教育指導費	406,828,361	3,237,000	0	914,356	402,677,005

1 教育相談事業費 139,627,776 円(学校教育課) < 自主性、自立性を尊重した教育の推進 >
[総 括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導など、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒にかかわる教育上の問題について、教育相談員や臨床心理士による教育相談、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、適応指導教室の運営や不登校対策推進協議会の活動を通して不登校傾向にある児童生徒の学校復帰に向けた支援を行った。特に平成 22 年度は不登校児童への早期対応のため、中学校へ配置していた非常勤講師を小学校にも新たに配置した。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 69,142,233 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
各 種 委 員 会 等	指導検討委員会、担任研修会、 進路説明会、情報交換会、 教材の作成等	指導検討委員会、担任研修会、 進路説明会、情報交換会、 教材の作成等

(2) 教育相談活動事業費 35,416,246 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
教育相談員による相談 (学校訪問、にじの子相談等)	4,238件	3,866件
心理カウンセラー相談	1,137	973
心 理 判 定 員 相 談	748	522
メンタルフレンド派遣	5月～3月 75回	5月～3月 71回

(3) 適応指導教室活動事業費 18,858,091 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
適応指導教室(2 か所)	185日 延3,178人	182日 延3,261人

(4) 不登校対策支援事業費 16,119,824 円

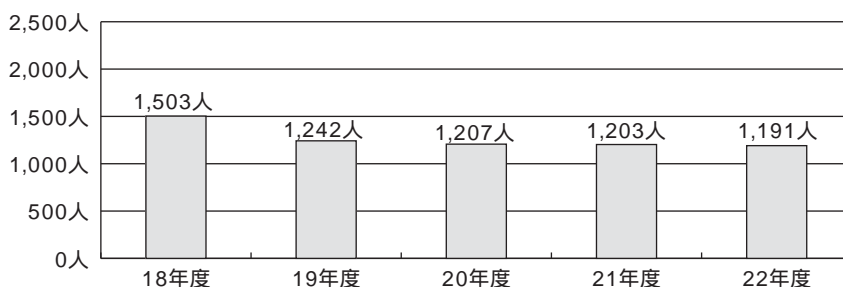
内 容	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		非常勤講師	10人	非常勤講師

(5) 不登校対策推進協議会補助金 91,382 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
自 然 体 験 教 室	8月 1回	
不登校児童生徒担当者学習会	8月・10月・1月 3	8月・11月 2回
補 助 金	247,507円	91,382円

[指 標]

指 標 名：教育相談員1人当たりの児童生徒数
 指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



2 生徒指導対策事業費 6,929,595 円（学校教育課） < 自主性、自立性を尊重した教育の推進 >

[総 括]

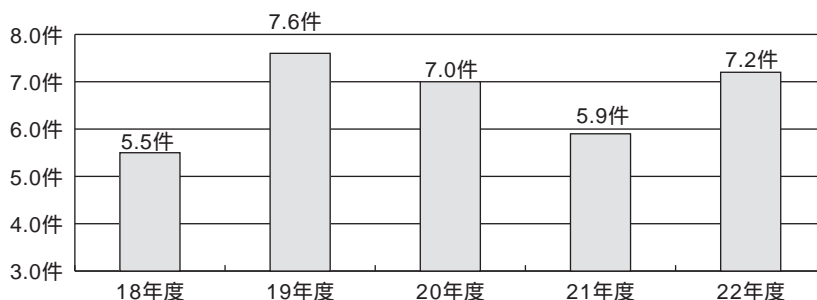
生徒指導、進路指導、部活動指導を通して、いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動への対応を図った。さらに、魅力ある学校づくりを推進するため、児童生徒の健全育成や教師の資質と指導力の向上を図るとともに、生徒が目標を持って最適の進路選択ができるように支援を行った。今後も児童生徒が楽しく安心して学校生活を送ることができるよう魅力ある学校づくりを推進する。

[実績及び成果]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
(1) 生徒指導費補助金	4,097,927円	2,618,249円
(2) 進路指導費補助金	3,064,674	2,451,346
(3) 体育・文化活動支援事業費	2,016,000	1,860,000
(ア) 中学校体育的部活動報償金	1,620,000	1,480,000
(イ) 中学校生産文化的部活動報償金	396,000	380,000
計	9,178,601	6,929,595

[指 標]

指 標 名：1校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数
 指標説明：いじめ、暴力行為の発生件数 / 小中学校数(74 校)



3 教育諸活動支援事業費 112,805,822 円（学校教育課）＜自主性、自立性を尊重した教育の推進＞

[総括]

児童生徒の健全な育成と豊かな人間性を培うため、学校生活を支援する活動、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、平和教育を推進する活動、体力・競技力の向上を図る活動など教育活動の活性化を図った。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるような教育活動を提供するため、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 新入学児童学級対応等支援事業費 74,926,650 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	支 援 員 46人	支 援 員 48人

(2) 障害のある児童生徒特別支援事業費 4,153,100 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	介 助 者 4人	介 助 者 3人

(3) いきいきパスポート活用事業費 54,600 円

利 用 者 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	延 42,533人	延 39,807人

(4) 子ども造形パラダイス補助金 6,179,525 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
開 催 日	21.10.17 ~ 18	22.10.16 ~ 17
補 助 金	7,180,000円	6,179,525円

(5) 小学生のコンサート補助金 1,835,940 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
開 催 日	21.8.1	22.7.31
補 助 金	2,040,000円	1,835,940円

(6) 母なる豊川活用事業費 9,485 円

参 加 校	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	33校	29校

(7) 子どものための平和展開催費補助金 64,940 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
開 催 日	21.8.1 ~ 2	22.7.31 ~ 8.1
補 助 金	79,803円	64,940円

(8) 特色ある学校づくり推進事業費補助金 4,465,054 円

補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	74校 24,479,854円	74校 4,465,054円

(9) 学校体育連盟補助金 13,664,205 円

補 助 金	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	1団体 14,210,542円	1団体 13,664,205円

(10) 中学校東海・全国大会出場補助金 2,929,809 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	15校 (105人)	2,261,840円	15校 (129人)	2,929,809円

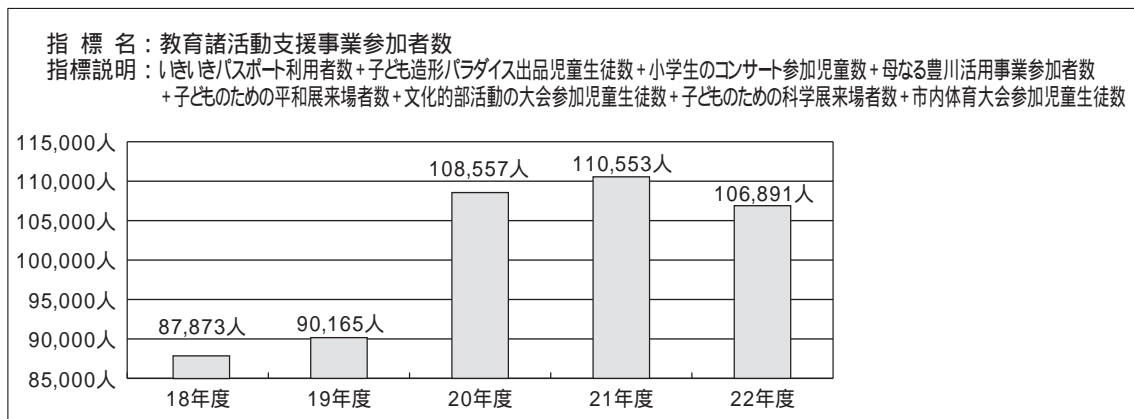
(11) 文化的部活動補助金 3,347,590 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	21校	3,146,193円	24校	3,347,590円

(12) 子どものための科学展開催費補助金 1,174,924 円

区 分		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
開 催 期 間		21.10.17～18	22.10.16～17
入 場 者 数		4,479人	4,758人
補 助 金	科 学 展	1,220,369円	696,250円
	小 柴 記 念 賞	670,000	478,674

[指 標]



4 国際理解教育推進事業費 108,448,808 円 (学校教育課) < 自主性、自立性を尊重した教育の推進 >

[総 括]

小学校英語活動では、学級担任と小学校英語スクールアシスタントや外国人英語指導員による、英語に親しむ活動を中心とした「英会話」の授業を各クラス年間 20 時間行うことで、児童は英語への関心や意欲を高めることができた。中学校英語学習では、英語科教員と外国人英語指導員による「英会話」の授業を各クラス年間 35 時間行った。また、平成 22 年度から直接雇用にした外国人英語指導員を活用し、小学校 5・6 年生を対象として夏休み小学生英語活動「ここにこ de 英語っこ」を開催した。今後も小・中学校の連携をすすめ、英語教育の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 英語科教員等海外研修事業費補助金 1,000,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	3人	1,500,000円	2人	1,000,000円

(2) 英会話のできる豊橋っ子育成事業費 107,448,808 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費 97,514,827 円

内 容	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	74校	24人	74校	23人

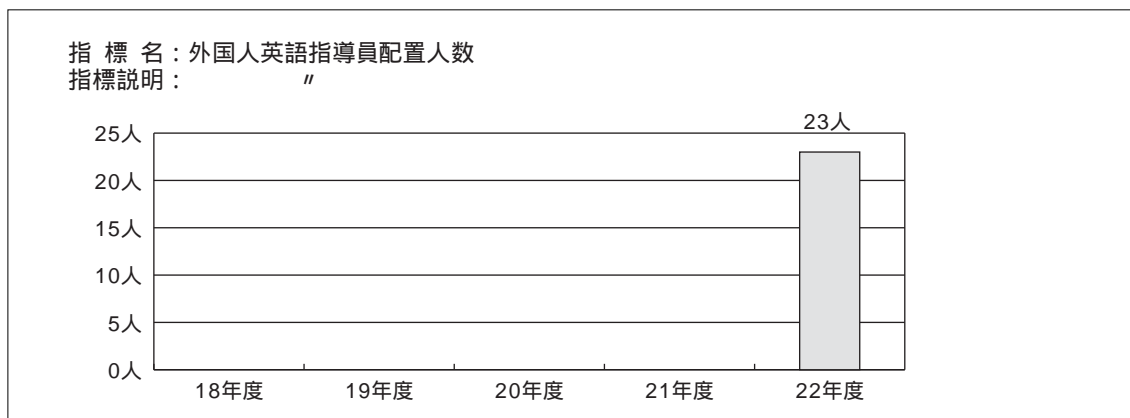
(イ) 小学校英語スクールアシスタント 9,905,880 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	52校 延4,947時間	52校 延4,893時間

(ウ) 夏休み小学生英語活動費 28,101 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		5日間

[指 標]



指標の見直しにより、22年度以降から掲載

5 学校図書館活動振興事業費 22,266,193 円（学校教育課）＜自主性、自立性を尊重した教育の推進＞

[総 括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、平成 18 年度から 3 年間にわたり「学校図書館支援センター」を中心とした体制づくりについての調査・研究を行った。21 年度からは機能充実を図るとともに、授業の質的向上をめざして、「学校図書館支援センター」に代わり、「授業・学習支援センター」を設置した。22 年度は、子どもの調べ学習や教員の授業づくりを支援する体制の整備をすすめた。今後も教員のニーズを把握し、有効に利用できるように努め、児童生徒の豊かな学習環境の実現をめざす。

[実績及び成果]

(1) 学校図書館活動推進事業費 18,654,240 円

司 書 配 置	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	22校（各中学校 1 名）に配置 全小学校（52校）へ巡回指導	22校（各中学校 1 名）に配置 全小学校（52校）へ巡回指導

(2) 小・中学校読書活動推進事業費 314,356 円

図 書 購 入	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	126冊	49冊

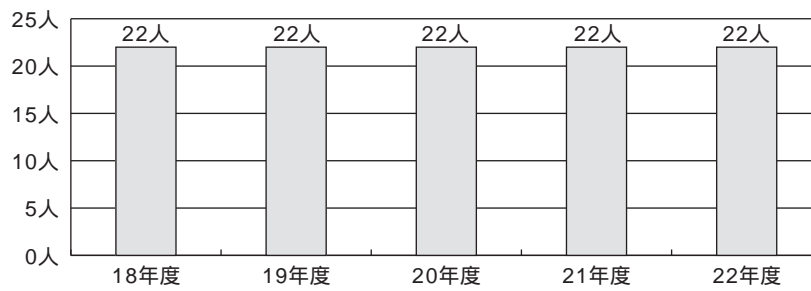
(3) 授業・学習支援センター推進事業費 3,297,597 円

学 校 貸 出 冊 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	14,014冊	12,592冊

[指 標]

指 標 名：学校図書館司書配置人数

指標説明：市立小中学校への学校図書館司書配置人数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 学習施設管理費	116,014,631	4,013,100	0	120,659	111,880,872

1 野外教育センター管理運営事業費 12,738,617円(生涯学習課) <小中学校の学習環境の充実>

[総括]

自然体験活動の場である野外教育施設の管理運営を行い、児童生徒が自然に親しみながら集団生活や体験学習をするための機会の提供に努めた。今後は主な利用者である小中学生のニーズを把握するとともに、老朽化した施設の改修等を行い、魅力的な施設にしていくことが必要である。

[実績及び成果]

(1) 野外教育センター管理運営事業費 12,738,617円

[利用状況]

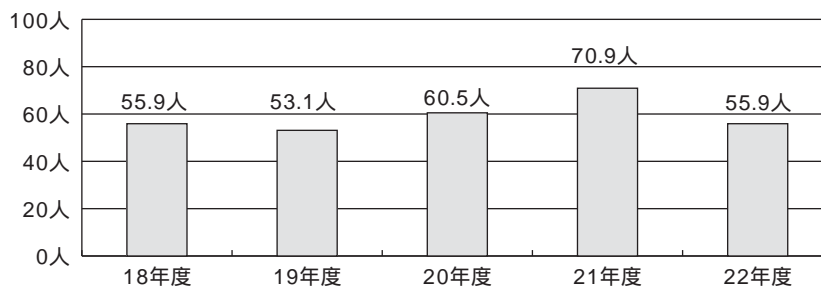
区 分		平成21年度	平成22年度	比 較
施設利用日数		63日	70日	11.1%
野外活動学習参加者数	小学校	2,606人	2,684人	3.0
	中学校	502	512	2.0
一般施設利用者数		1,361	718	47.2
計		4,469	3,914	12.4

[施設整備]

内 容	平成21年度	平成22年度
		本館サッシ窓枠改修工事等

[指標]

指標名：野外教育センター利用日1日当たりの利用者数
 指標説明：センター利用者数 / センター利用日数



2 教育会館管理運営事業費 23,621,839 円（学校教育課）＜自主性、自立性を尊重した教育の推進＞

[総 括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応している。利用者は、平成 21 年度と比較すると増加しているが、今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 18,405,301 円

[利用状況]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数	359日	359日	0.0%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	21,980人	22,108人	0.6
一 般 施 設 利 用 者 数	10,751	14,441	34.3
計	32,731	36,549	11.7

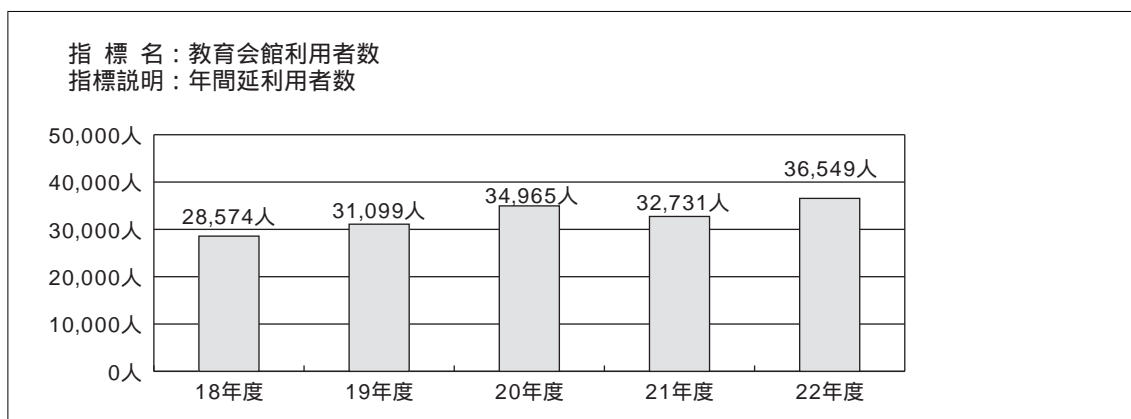
[各種活動]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
コ ン プ ュ ー タ 研 修	129時間 参加人員 727人	140時間 参加人員 645人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 546本	映像教材貸出 524本

(2) 教職員研修事業費 5,216,538 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
基 本 研 修	117回 参加人員3,452人	107回 参加人員2,589人
職 務 研 修	59 " 1,963	60 " 2,092
課 題 ・ 専 門 研 修	62 " 3,662	65 " 2,404
社 会 体 験 研 修 等	13か所 " 19	18か所 " 22

[指 標]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 自然史博物館費	242,795,419	23,864,883	0	11,409,923	207,520,613

1 自然史博物館運営事業費 87,133,669 円(自然史博物館) <教育文化施設の充実>

[総括]

自然に親しみ、自然についての正しい知識を深め自然を大切にすることを目的に、自然史科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組み、教育普及活動として、大型映像「ディノプラネット」と「ダイナソーDX」の上映、自然史講座、学習教室、収蔵資料紹介展等を開催した。さらに、特別企画展「キラキラ水晶展」、豊橋・東三河COP10サポート事業「ケナガマンモスの全身骨格特別展示」及び「第6回自然史博物館自由研究展」を開催した。今後も市民ニーズに応えるため、来館者サービスの向上につながる行事の実施及び老朽化した設備・展示物等の更新を図る必要がある。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 57,553,115 円

区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
開 館 日 数	309日	310日	0.3%
総 入 館 者 数	532,044人	524,370人	1.4
常設展示室の展示物(古生代、中生代、新生代、郷土の自然)	3,726点	3,726点	0.0

(2) 教育普及活動事業費 18,510,485 円

区 分	平成21年度	平成22年度
学 習 教 室	8回 参加人員 233人	9回 参加人員 249人
自 然 史 講 座	8 " 274	7 " 237
自然史教室(出前授業)	21時限 " 723	33時限 " 1,703
大 型 映 像	797回 観覧者数 31,430	627回 観覧者数 26,999
展 示 解 説 会	14 参加人員 474	20 参加人員 613
シ ン ポ ジ ウ ム	第132回化石研究会例会シンポジウム 「古生物の復元」 21.11.21 参加人員 61人	

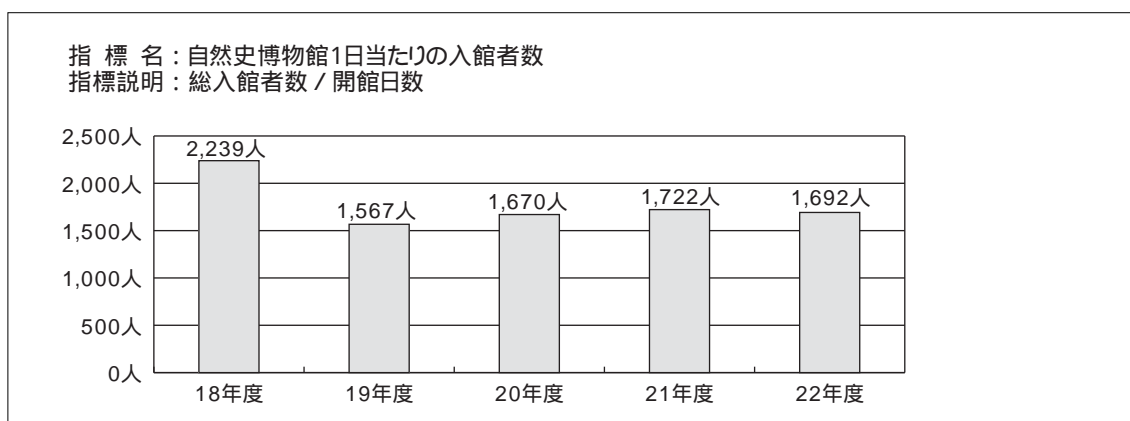
(3) 資料収集・調査研究活動事業費 2,785,669 円

区 分	平成21年度	平成22年度
展 示 物 製 作 委 託	鳥類・哺乳類・八虫類の剥製製作等 5点	哺乳類の骨格標本製作(スナメリ) 1点
博 物 館 資 料 等 の 購 入	メソヒップス頭骨、イヌ頭骨 5	ホホジロザメ顎骨(レプリカ) 1
研 究 発 表 (調 査 研 究)	45件	46件
博 物 館 資 料 数 (標 本)	29,514点 (総数 411,019点)	18,601点 (総数 429,620点)
図 書 資 料 数	1,404冊 (総数 32,356冊)	1,629冊 (総数 33,985冊)

(4) 特別企画展開催事業費 8,284,400 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
特 別 企 画 展	「大むしむし博」	「キラキラ水晶展」
	21.7.17～9.6(45日間)	22.7.16～9.12(51日間)
	展示数3,876点 観覧者数27,051人	展示数530点 観覧者数14,572人
関 連 行 事		1. 科博コラボミュージアムin豊橋「キラキラ水晶展」 講演会「水晶が面白い」 22.7.17 参加人員 81人 フィールドツアー「設楽の水晶を見に行こう」 22.7.18 参加人員 25人 2. 記念講演「山梨の水晶-山から町へ-」 22.7.25 参加人員 160人

[指 標]



2 石巻自然科学資料館運営事業費 575,459 円 (自然史博物館) <教育文化施設の充実>

[総 括]

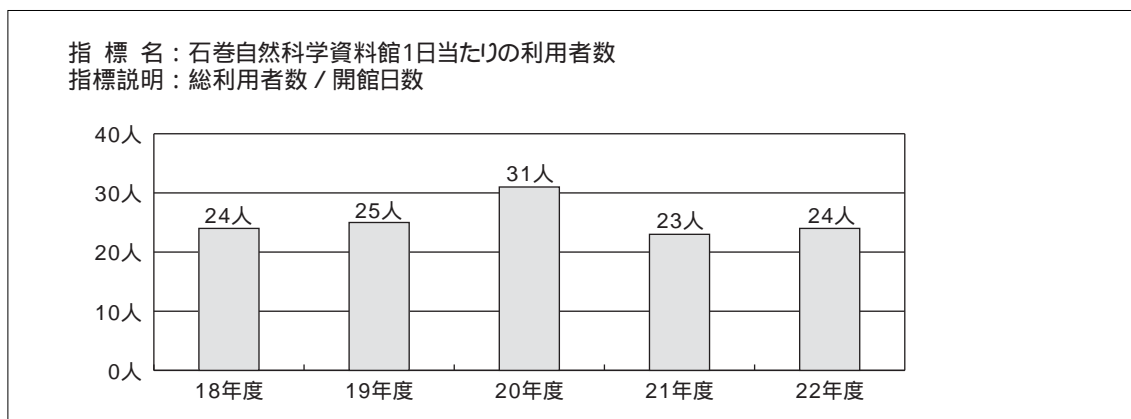
石巻山周辺のハイキングや自然を観察するためのビジターセンターとしての機能を果たしており、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を用意し、利用者の利便性を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動をする必要がある。

[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 575,459 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数	313日	313日	0.0%
総 利 用 者 数	7,170人	7,629人	6.4

[指 標]



3 視聴覚教育センター運営事業費 30,927,189 円（自然史博物館）＜教育文化施設の充実＞

[総 括]

視聴覚教育センターの適正な管理運営に努めるとともに、わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習や展示学習による児童の科学能力の向上、さらに市民への科学情報等の提供に努めた。平成 22 年度には天文と科学実験のクラブを新たにスタートさせ、学習教室（ワークショップ、星空観望会など）の充実に努めた。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、施設利用者の増加を図る必要がある。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター運営事業費 30,927,189 円

〔 利用状況 〕

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数	307日	308日	0.3%
総 入 館 者 数	76,439人	71,930人	5.9

〔 施設整備 〕

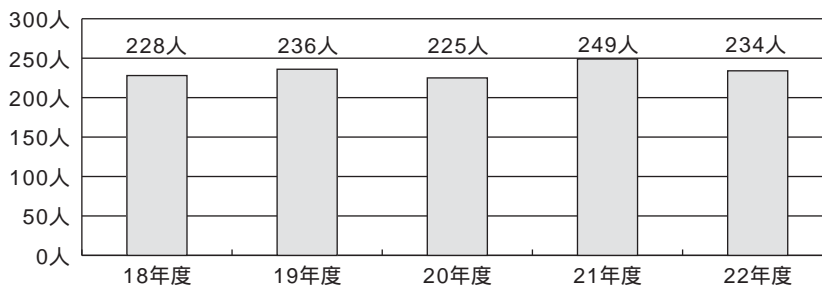
内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	玄関外壁等防水工事 天体望遠鏡購入	

〔 各種活動 〕

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～9月	参加人員 3,277人	5月～10月	参加人員 3,614人
プラネタリウム投映	624回	観覧者数30,043	612回	観覧者数24,400
学 習 教 室	5月～2月(27回)	参加人員 939	5月～2月(24回)	参加人員 1,218
映 画 会	9月～3月(4)	" 719	7月 (2)	" 40
星 空 観 望 会	5月～1月(7)	" 1,124	4月～2月(5)	" 506

[指 標]

指 標 名：視聴覚教育センター1日当たりの入館者数
 指標説明：総入館者数 / 開館日数



4 地下資源館運営事業費 14,716,444 円（自然史博物館）＜教育文化施設の充実＞

[総 括]

地下資源・エネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、開館 30 周年記念展「もったいない 地上の地下資源とエネルギー」や企画展「実験ショー パラダイス 2010」などを開催した。これらの展示をはじめ、科学実験ができる学習教室（ワークショップ、実験ショーなど）の充実に努めた。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら子どもから大人まで興味もてる参加体験型の行事を中心に実施する必要がある。

[実績及び成果]

(1) 地下資源館運営事業費 14,716,444 円

[利用状況]

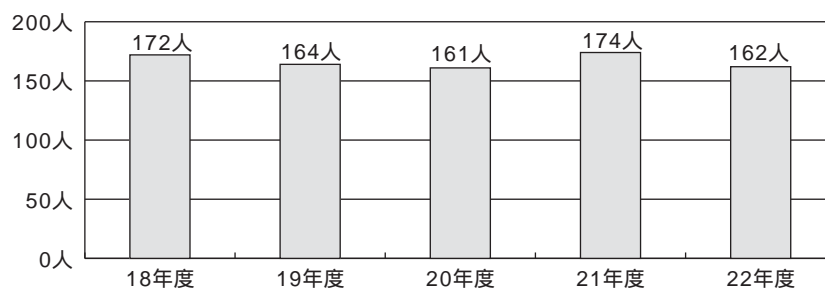
区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数	307日	308日	0.3%
総 入 館 者 数	53,430人	49,833人	6.7

[各種活動]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～9月 参加人員2,234人	5月～9月 参加人員2,236人
学 習 教 室	4月～3月(188回) " 8,697	4月～3月(227回) " 9,524
映 画 会	4月～3月(25) " 566	8月～12月(14) " 476
資源をくらしに生かす 創 意 工 夫 展	21.10.10～11.8 応募点数2,252点 入場者数7,517人	22.10.9～11.28 応募点数1,956点 入場者数12,662人
展示会(創意工夫展を除く)	3回 " 30,562	3回 " 30,982
自然史教室(出前授業)	7月・10月(2時限)参加人員 105人	

[指 標]

指 標 名 : 地下資源館1日当たりの入館者数
指標説明 : 総入館者数 / 開館日数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育諸費	45,446,680	0	0	413,540	45,033,140

1 私学振興事業費 44,224,200円(教育政策課) <教育機関の充実>

[総括]

運営費補助金等により、私立学校の教育環境の向上並びに私立学校に在籍する児童及び生徒に係る就学上の経済的負担の軽減を図るとともに、私立学校の経営の健全性を高めた。平成22年度から伯人学校イーエーエス豊橋についても私学振興を図るため新たに運営費の一部を補助することとした。今後もこれらの施策実施においては、私立学校の教育的意義などを考慮するとともに、就学支援金等をはじめとした国、県の動向を踏まえた対応をとる必要がある。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,434,300円

区 分	平成21年度		平成22年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,380人	6,211,000円	3,292人	6,127,400円
外国人学校(3校)	171	2,153,900	341	3,306,900
計	3,551	8,364,900	3,633	9,434,300

外国人学校(平成21年度・2校)

(2) 私立高等学校授業料補助金 33,880,750円

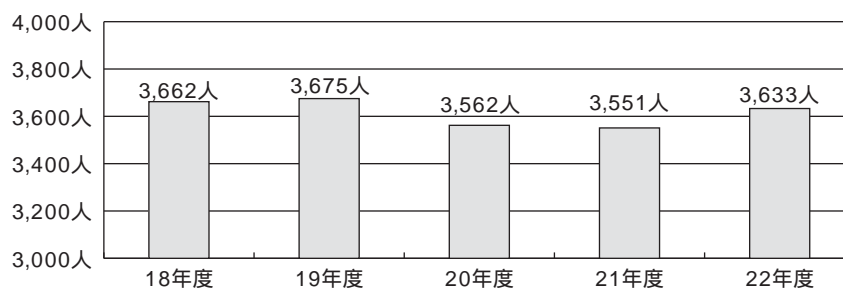
内 容	平成21年度		平成22年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,055人	41,747,900円	2,279人	33,880,750円

(3) 私立専修学校授業料補助金 909,150円

内 容	平成21年度		平成22年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	120人	1,833,600円	146人	909,150円

[指標]

指標名：在籍者数
 指標説明：私立高等学校、外国人学校在籍者数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	1,589,207,377	91,020,584	16,200,000	11,197,835	1,470,788,958
1目 学 校 管 理 費	1,159,630,609	27,277,394	0	768,835	1,131,584,380

1 小学校管理事業費 292,997,532円(教育政策課) <小中学校の学習環境の充実>

[総 括]

小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の整備を図った。今後とも、各学校の実情に合わせた運用に向け学校配当予算に導入している総額裁量制予算等の基準の見直しを含め、限られた予算の有効活用に努める必要がある。

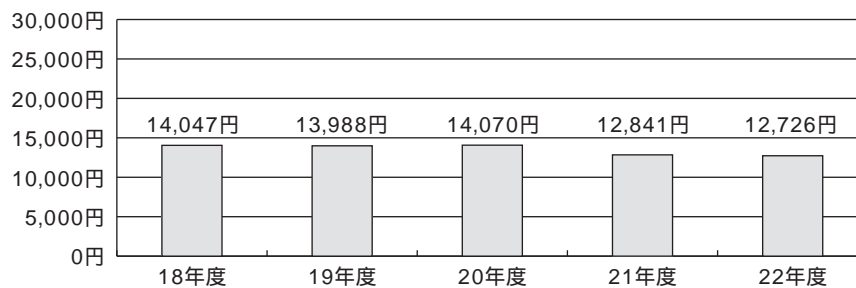
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 292,997,532円 (5月1日現在)

区 分	平成21年度	平成22年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	848学級	847学級
児 童 数	23,431人	23,023人

[指 標]

指 標 名 : 児童1人当たりの管理費
 指標説明 : 管理費 / 児童数(年間数値)



2 小学校教育推進事業費

480,031,424 円（教育政策課）＜小中学校の学習環境の充実＞

[総 括]

開かれた学校づくりを推進するため、学校から地域社会への情報（教育目標、活動内容、行事日程など）発信を積極的に進めるとともに教育環境向上に向け、デジタルテレビ、電子黒板をより有効活用するためにデジタル教科書を試験的に導入した。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全小学校 52 校で緑のカーテンを設置するとともに、6 年生児童に木の机・椅子の計画的な導入を開始した。今後もさらなる教育環境の向上、授業の円滑化に対応していく必要がある。

[実績及び成果]

(1) 情報教育推進事業費 179,913,762 円

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
学習用コンピュータ費	2,000台	132,633,564円	2,000台	132,633,564円
コンピュータネットワークシステム費		22,648,212		22,453,530
学校図書館管理用コンピュータ費	52	16,999,164	52	11,561,892
教材提示用コンピュータ費	112	13,264,776	112	13,264,776

(2) 教育活動事業費 275,594,918 円

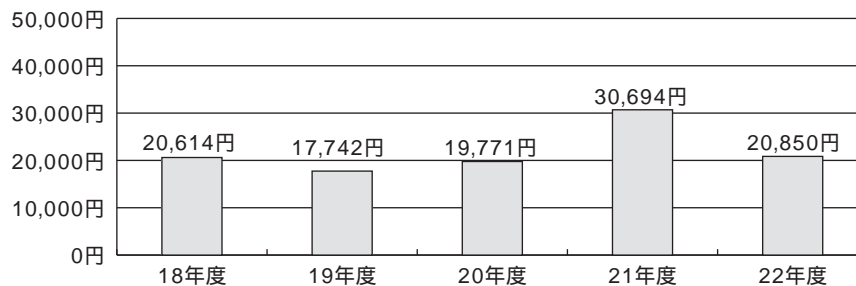
区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
学校図書館蔵書数		380,792冊		385,577冊
学校新聞発行部数	年2回（全世帯配布）257,017部		年2回（全世帯配布）257,480部	
学校評議員数		395人		410人
緑のカーテン設置数		22校		52校
木の机・椅子購入数		360セット		900セット
デジタル教科書購入数				20

(3) 情報管理システム管理運営事業費 24,522,744 円

校務用コンピュータ費	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	1,261台	24,515,156円	1,261台	24,522,744円

[指 標]

指 標 名：児童1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費 / 児童数(年間数値)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 学校営繕費	308,674,413	61,453,250	16,200,000	10,408,000	220,613,163

1 小学校校舎等増改築事業費 24,561,285 円 (教育政策課) <小中学校の学習環境の充実>

[総 括]

吉田方小学校は、児童数の増加にともない特別教室が不足していたため、平成 21 年度に校舎増築工事を行った。その中で職員室、玄関等を移設したため、正門の移設をはじめ周辺整備を行った。

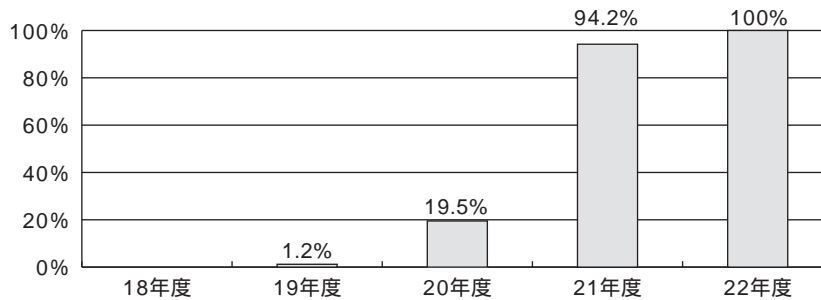
[実績及び成果]

(1) 吉田方小学校校舎増築事業費 24,561,285 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	校舎増築工事	

[指 標]

指 標 名 : 吉田方小学校校舎増築事業進捗率
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成19年度～22年度)



2 小学校環境整備事業費

283,536,998 円（教育政策課）＜小中学校の学習環境の充実＞

〔総括〕

豊小学校始め 31 校に転落防止のため、手すり設置工事を行った。また、トイレの洋式化工事を岩田小学校始め 29 校の一部のトイレに行った。さらに、環境教育の生きた教材として、前芝小学校で芝生の整備を行った。今後も、各学校施設の経年劣化や不良箇所の補修を計画的に行い、学校施設の維持保全に努める。

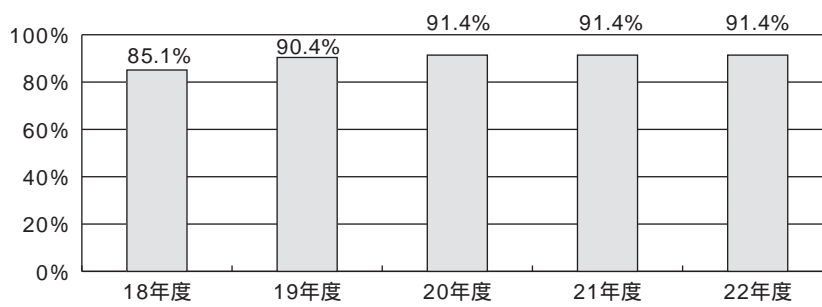
〔実績及び成果〕

区 分	平成21年度	平成 22 年 度	
		規模等	学 校 名
校舎等改修事業費	50校	34校	
下水道切替工事		1	二川
アスベスト除去工事		2	鷹丘、二川
防犯カメラ設置	1	2	福岡、汐田
防火シャッター改修工事等	50	25	岩田始め 25 校
特別教室等改修工事		1	野依
法面保護等工事		1	天伯
消火栓配管取替工事		3	岩田、東田、鷹丘
冷暖房機取替	1	5	小沢、天伯、嵩山、津田、大崎
屋上防水工事	1	1	石巻
体育館屋根塗装工事	4	2	高師、二川
防火扉改修工事		1	石巻
体育館雨樋改修工事		1	嵩山
保健室移設工事		1	牛川
運動場等整備事業費	5	4	
芝生整備工事		1	前芝
集水桝設置工事		1	高師
排水路整備工事		1	高師
門扉・フェンス設置工事等	5	2	牛川、玉川
プール施設整備事業費	2	2	牟呂、松山
一般補修事業費	52	52	
トイレ洋式化工事		29	岩田始め 29 校
転落防止手すり設置工事		31	豊始め 31 校
開閉器取替工事等	52	52	全校

[指 標]

指 標 名 : 小学校施設整備事業進捗率

指標説明 : (耐震化進捗率 + 強化ガラス化整備率 + 校内LAN整備率 + トイレ改造整備率) / 4



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	862,787,181	25,826,907	6,500,000	4,202,759	826,257,515
1目 学 校 管 理 費	613,049,673	8,332,492	0	392,136	604,325,045

1 中学校管理事業費 206,123,986円(教育政策課) <小中学校の学習環境の充実>

[総 括]

中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の整備を図った。今後とも、各学校の実情に合わせた運用に向け学校配当予算に導入している総額裁量制予算等の基準の見直しを含め、限られた予算の有効活用に努める必要がある。

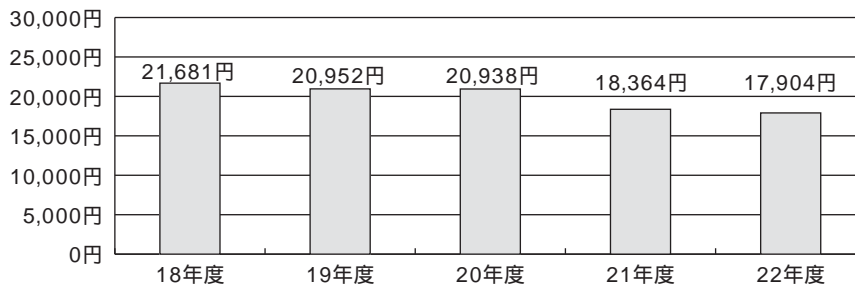
[実績及び成果]

(1) 管理事業費 206,123,986円 (5月1日現在)

区 分	平成21年度	平成22年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	366学級	366学級
生 徒 数	11,466人	11,513人

[指 標]

指 標 名：生徒1人当たりの管理費
 指標説明：管理費 / 生徒数(年間数値)



2 中学校教育推進事業費

248,500,664 円（教育政策課）＜小中学校の学習環境の充実＞

[総 括]

開かれた学校づくりを推進するため、学校から地域社会への情報（教育目標、活動内容、行事日程など）発信を積極的に進めている。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全中学校 22 校で緑のカーテンを設置した。今後ともさらなる教育環境の向上、授業の円滑化に対応していく必要がある。

[実績及び成果]

(1) 情報教育推進事業費 73,999,583 円

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
学習用コンピュータ費	924台	94,824,751円	924台	55,006,257円
コンピュータネットワークシステム費		9,110,880		9,020,106
学校図書館管理用コンピュータ費	22	4,349,616	22	3,944,120
教材提示用コンピュータ費	45	6,029,100	45	6,029,100

(2) 教育活動事業費 160,510,413 円

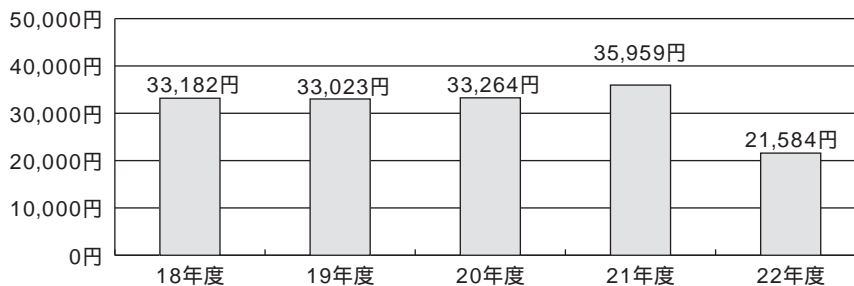
区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
学校図書館蔵書数	281,466冊	288,947冊
学校新聞発行部数	年2回（全世帯配布）235,060部	年2回（全世帯配布）242,300部
学校評議員数	150人	158人
緑のカーテン設置数	3校	22校

(3) 情報管理システム管理運営事業費 13,990,668 円

校務用コンピュータ費	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
	715台	13,888,216円	715台	13,990,668円

[指 標]

指 標 名：生徒1人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費 / 生徒数(年間数値)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 学校営繕費	136,160,991	15,807,170	6,500,000	3,810,623	110,043,198

1 中学校環境整備事業費 135,565,333 円(教育政策課) <小中学校の学習環境の充実>

[総括]

中部中学校始め10校に転落防止のため、手すり設置工事を行った。また、トイレの洋式化工事を豊岡中学校始め13校の一部のトイレに行った。今後も、各学校施設の経年劣化や不良箇所の補修を計画的に行い、学校施設の維持保全に努める。

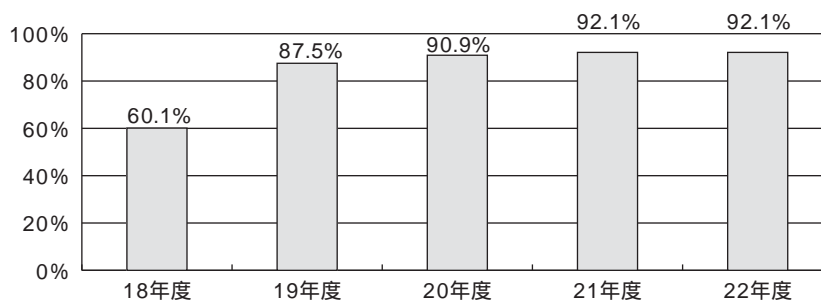
[実績及び成果]

区 分	平成21年度	平 成 2 2 年 度	
		規模等	学 校 名
校舎等改修事業費	20校	11校	
アスベスト除去工事		1	北部
防犯カメラ設置	2	1	羽田
用地測量	1	1	南稜
駐輪場整備工事等	20	10	豊城始め10校
防火シャッター改修工事		4	南稜、羽田、章南、南部
冷暖房機取替		2	羽田、二川
体育館照明改修工事	1	1	東部
一般補修事業費	22	22	
トイレ洋式化工事		13	豊岡始め13校
転落防止手すり設置工事		10	中部始め10校
開閉器取替工事等	22	22	全校
運動場等整備事業費	3	2	豊城、北部

[指標]

指標名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)/4



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 高等学校費	107,174,003	7,445,419	0	496,656	99,231,928
1目 学校管理費	107,174,003	7,445,419	0	496,656	99,231,928

1 市立高等学校教育推進事業費 65,823,659 円（教育政策課）＜高等学校・専修学校の学習環境の充実＞

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校として、多様化する生徒一人ひとりの要望に対応できる教育環境づくりを進めてきた。特に、単位制導入により平成22年度では卒業生のおよそ62%が3年の修業期間で卒業した。また、22年度から新たに英語の授業に外国語指導助手を配置し、外国語教育の充実を図った。今後とも、生徒一人ひとりの特性を伸ばし、自ら学ぶ主体性の確立や、他者への思いやりの心を醸成するなど、落ち着いた学習環境の中、特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく必要がある。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 12,546,602 円 (5月1日現在)

区 分	平成21年度	平成22年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	669人	703人

〔施設整備〕 471,450 円

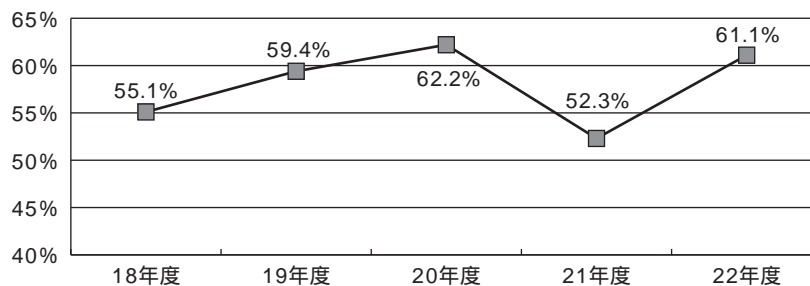
内 容	平成21年度	平成22年度
	高圧ケーブル取替工事 校舎天井等改修工事 一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 53,277,057 円

区 分	平成21年度		平成22年度	
学校図書館蔵書数	8,921冊		9,083冊	
定時制教育教科書給与費	50人	186,390円	32人	125,740円
学習用コンピュータ費	42台	3,758,580	42台	3,758,580

〔指標〕

指標名：市立高等学校卒業資格取得率
指標説明：卒業生数 / 入学者数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 家 政 高 等 専 修 学 校 費	74,812,884	6,524,000	0	171,807	68,117,077
1目 学 校 管 理 費	74,812,884	6,524,000	0	171,807	68,117,077

1 家政高等専修学校教育推進事業費 29,244,486円(教育政策課) <高等学校・専修学校の学習環境の充実>

[総括]

社会生活に必要な教養はもとより、服飾・調理に関する専門的な知識や技能の習得をめざした教育環境づくりを進めてきた。また、卒業後の就職・進学に向け、生徒一人ひとりの個性や将来の夢を尊重した進路指導に努め、長引く経済不況による求人数の減少にも係わらず、平成21年度と比較して、22年度の就職・進学率は上昇した。今後とも、21世紀を担う人材育成のための教育環境づくりとともに、より高度で特色ある教育内容としていく必要がある。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 3,664,270円 (5月1日現在)

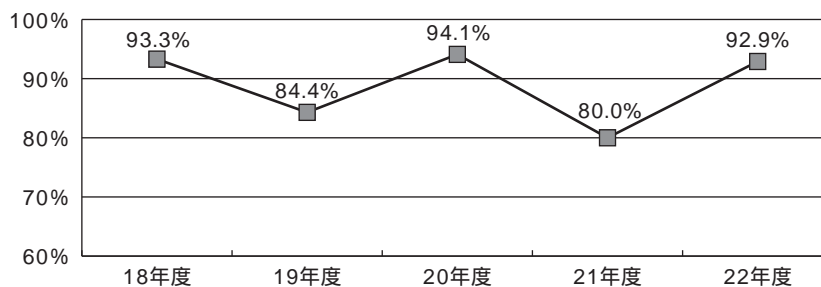
区 分	平成21年度	平成22年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	109人	114人

(2) 教育活動事業費 25,580,216円

区 分	平成21年度	平成22年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,921冊	2,961冊
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	41台 2,656,836円	41台 2,656,836円

[指標]

指標名：家政高等専修学校就職、進学率
 指標説明：(就職者数+進学者数)/卒業生徒数



科目	決算額等 決算額（円）	財 源 内 訳（円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 社会教育費	1,952,255,320	270,486,811	0	202,760,750	1,479,007,759
2目 社会教育振興費	25,644,001	1,380,000	0	1,687,500	22,576,501

1 生涯学習推進事業費 8,073,061円（生涯学習課）＜生涯学習・社会教育環境の充実＞

[総 括]

社会環境の変化に伴い、多様化・高度化する市民の学習ニーズに対応するため、生涯学習推進計画（平成23年度から32年度）を策定したほか、大学や市民活動団体、民間企業などと連携した講座や高齢者の健康講座など多彩な学習機会を提供するとともに、生涯学習サポートボランティアや生涯学習活動推進大会などの事業を展開した。今後も受講者アンケートの分析やトラム運営委員会の意見を反映させ、学習体系の見直しを図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 6,775,164円

区 分	平成21年度			平成22年度			開催場所
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	
一 般 コ ー ス	70	2,292人	539回	67	2,057人	468回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	2,011	154	23	1,945	151	地 区 市 民 館

(2) 生涯学習啓発事業費 927,975円

(ア) 生涯学習情報紙発行事業費 294,300円

発 行 部 数	平成21年度	平成22年度
		年2回 (全世帯配布)延250,000部

(イ) 生涯学習情報システム運営事業費 633,675円

(3) 生涯学習活動事業費 333,900円

(ア) 生涯学習活動推進大会開催費補助金 326,900円

補 助 金	平成21年度	平成22年度
		695,675円

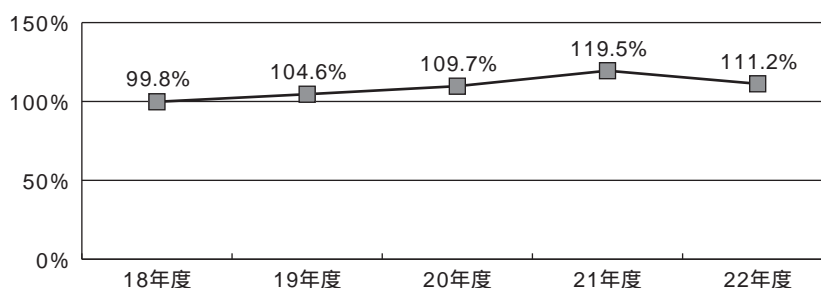
(イ) 生涯学習サポートボランティア事業費 7,000円

地区市民館生涯学習 サポートボランティア活動回数	平成21年度	平成22年度
		3回

(4) 生涯学習推進計画策定事業費 36,022円

[指 標]

指 標 名：定員に対する参加人員の比率
指 標 説 明：参加者数 / 定員



2 家庭教育事業費

8,071,659 円（生涯学習課）＜地域・家庭教育の充実＞

[総 括]

家庭や地域における教育力の向上を図るため、企業や学校、地域と連携した家庭教育講座等を実施した。今後も現代的な課題や時代のニーズに合った講座を開催するなど積極的な家庭教育の推進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 3,518,659 円

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
家 庭 教 育 講 座	7	123人	19回	5	127人	17回	生活家庭館ほか
幼 児 ふ れ あ い 教 室	33	1,283	166	35	1,466	183	生活家庭館ほか

(2) 子育て学習講座事業費 4,553,000 円

(ア) 講座開催事業費 413,000 円

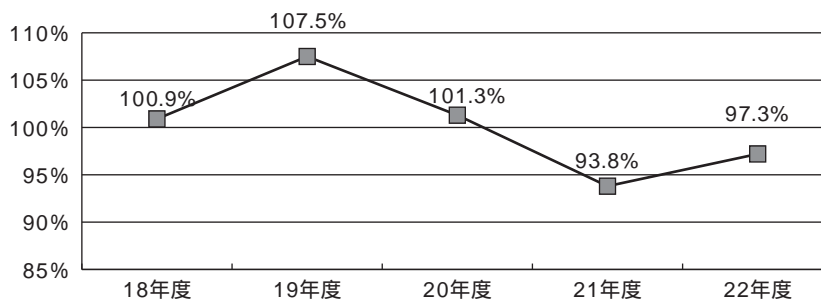
区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
子 育 て 学 習 講 座	43	3,185人	43回	42	3,225人	42回	各 小 学 校
思 春 期 家 庭 教 育 講 座	1	60	1	1	38	1	各 中 学 校

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 4,140,000 円

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
地 域 い き い き 子 育 て 促 進 事 業	52	28,622人	897回	52	28,698人	876回	校区市民館ほか

[指 標]

指 標 名：参加率
 指標説明：参加者数 / 参加予定者数



3 地域教育推進事業費

5,236,506 円（生涯学習課）＜地域・家庭教育の充実＞

[総 括]

子供から大人まであらゆる世代が参加できる講座等を地域ごとに開催し、地域コミュニティの連帯感を育て、社会教育の推進を図った。今後も地域の意向に沿った事業を展開していく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習推進セミナー事業費 208,806 円

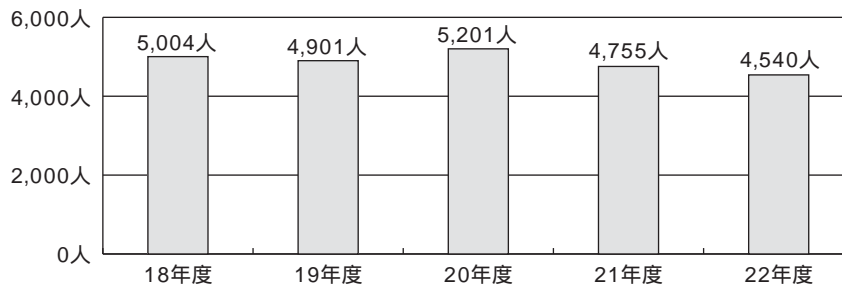
区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		開催場所
	参加者	回 数	参加者	回 数	
生涯学習推進セミナー	987人	16回	908人	16回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 5,027,700 円

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			開催場所
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	
成 人 式	51	3,768人	46か所	51	3,632人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]

指 標 名：参加者数
 指標説明：生涯学習推進セミナー参加者数+成人式参加者数

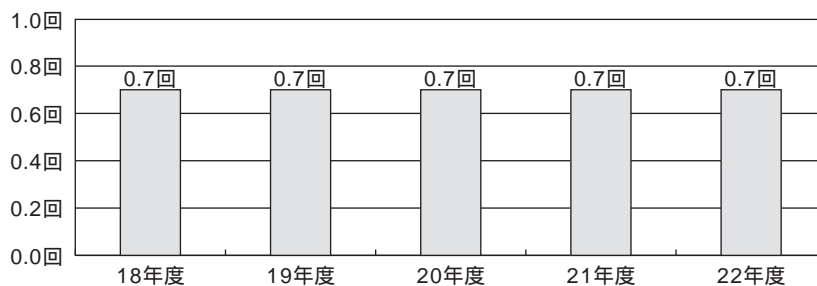


科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)																		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源															
3目 青少年育成費	482,327,211	140,944,808	0	72,709,614	268,672,789															
1 青少年対策事業費 64,983,285円(生涯学習課) <健全な社会環境づくりの推進>																				
[総括]																				
青少年の健全育成を推進するため、青少年問題協議会にて本市の青少年の健全育成における課題を整理し、今後の方向性について討議・検討を行った。また、青少年育成団体活動の支援、市民への多面的な意識啓発、青少年健全育成のつどいや明るい家庭づくり推進大会等を実施するとともに、ふるさと雇用再生事業を活用した青少年自立支援事業を展開した。今後も青少年に関する市民団体等と協働するなど、多様化する青少年問題に取り組む。																				
[実績及び成果]																				
(1) 青少年育成事業費 60,214,108円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年問題協議会</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>青少年問題協議会専門委員会</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調 査 事 項</td> <td>豊橋市の青少年の生活と意識調査</td> <td></td> </tr> <tr> <td>青少年自立支援事業委託(ふるさと雇用再生事業)</td> <td>自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業</td> <td>自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	平成21年度	平成22年度	青少年問題協議会	2回	2回	青少年問題協議会専門委員会	2		調 査 事 項	豊橋市の青少年の生活と意識調査		青少年自立支援事業委託(ふるさと雇用再生事業)	自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業	自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業
区 分	平成21年度	平成22年度																		
青少年問題協議会	2回	2回																		
青少年問題協議会専門委員会	2																			
調 査 事 項	豊橋市の青少年の生活と意識調査																			
青少年自立支援事業委託(ふるさと雇用再生事業)	自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業	自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業																		
(2) 青少年健全育成啓発指導事業費 1,332,177円																				
(ア) 家庭の日推進事業費 718,405円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>明るい家庭づくり推進大会</td> <td>22.2.6 ライフポートとよはし 700人</td> <td>23.2.5 公会堂 600人</td> </tr> </tbody> </table>							平成21年度	平成22年度	明るい家庭づくり推進大会	22.2.6 ライフポートとよはし 700人	23.2.5 公会堂 600人									
	平成21年度	平成22年度																		
明るい家庭づくり推進大会	22.2.6 ライフポートとよはし 700人	23.2.5 公会堂 600人																		
(イ) 家庭教育啓発指導事業費 487,772円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>青少年育成校区指導員啓発指導実施回数</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>52人 374回</td> <td>52人 389回</td> </tr> </tbody> </table>						青少年育成校区指導員啓発指導実施回数	平成21年度	平成22年度		52人 374回	52人 389回									
青少年育成校区指導員啓発指導実施回数	平成21年度	平成22年度																		
	52人 374回	52人 389回																		
(ウ) 青少年健全育成地域活動事業費 126,000円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成のつどい</td> <td>21.11.21 公会堂 600人</td> <td>22.11.27 公会堂 600人</td> </tr> </tbody> </table>							平成21年度	平成22年度	青少年健全育成のつどい	21.11.21 公会堂 600人	22.11.27 公会堂 600人									
	平成21年度	平成22年度																		
青少年健全育成のつどい	21.11.21 公会堂 600人	22.11.27 公会堂 600人																		
(3) 青少年健全育成事業補助金 2,660,000円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年健全育成会</td> <td>22中学校区 52小学校区</td> <td>22中学校区 52小学校区</td> </tr> <tr> <td>補 助 金</td> <td>4,240,000円</td> <td>2,660,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	平成21年度	平成22年度	青少年健全育成会	22中学校区 52小学校区	22中学校区 52小学校区	補 助 金	4,240,000円	2,660,000円						
区 分	平成21年度	平成22年度																		
青少年健全育成会	22中学校区 52小学校区	22中学校区 52小学校区																		
補 助 金	4,240,000円	2,660,000円																		
(4) 市民協働型青少年支援事業費 777,000円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>市民協働型提案事業</th> <th>平成21年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2団体 840,000円</td> <td>2団体 777,000円</td> </tr> </tbody> </table>						市民協働型提案事業	平成21年度	平成22年度		2団体 840,000円	2団体 777,000円									
市民協働型提案事業	平成21年度	平成22年度																		
	2団体 840,000円	2団体 777,000円																		

[指 標]

指 標 名：成人1,000人当たりの青少年健全育成会活動への参加回数

指標説明：成人人口1,000人についての青少年健全育成活動を展開している青少年健全育成会活動への参加回数



2 放課後児童対策事業費 328,644,241 円（生涯学習課）＜健全な社会環境づくりの推進＞

[総 括]

放課後留守家庭児童の健全育成のため、高師・飯村・栄校区について公営による児童クラブを新設した。また、民間児童クラブの運営に対して助成を行った。今後も増加する留守家庭児童等の居場所づくりへの対応として、学校や地域との連携を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公立児童クラブ運営事業費 197,566,139 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
事 業 費	31クラブ 179,674,756円	34クラブ 197,566,139円
年 間 利 用 者 数	延11,815人	延13,157人

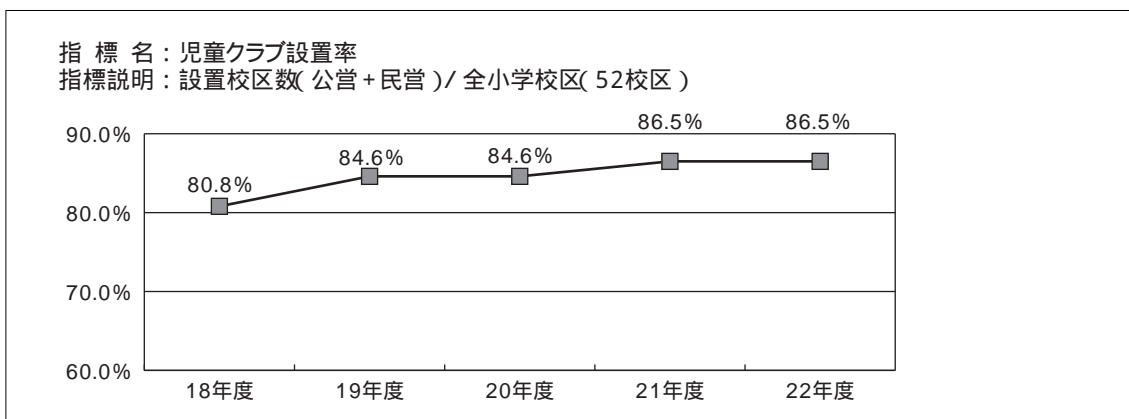
(2) 民間児童クラブ運営事業費 115,769,900 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
放課後児童健全育成事業費補助金	24クラブ 100,271,000円	25クラブ 111,057,000円
民間児童クラブ施設整備費補助金	5 12,948,000	
民間児童クラブ利用料助成費	延200人 5,860,100	延151人 4,712,900

(3) 放課後子ども教室運営事業費 15,308,202 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	5教室の開設	5教室の開設

[指 標]



3 青少年交流活動促進事業費 2,933,436 円 (生涯学習課) < 青少年を育成する機会の充実 >

[総 括]

平成 22 年度は猛暑等の影響で一部イベントの参加者数が伸び悩んだが、平均するとほぼ昨年度並みの参加者数となった。指定管理者の設置や機構改革による経営統合を機に、市民ニーズを捉えた事業を今まで以上に推進し、参加率の向上を図る。

[実績及び成果]

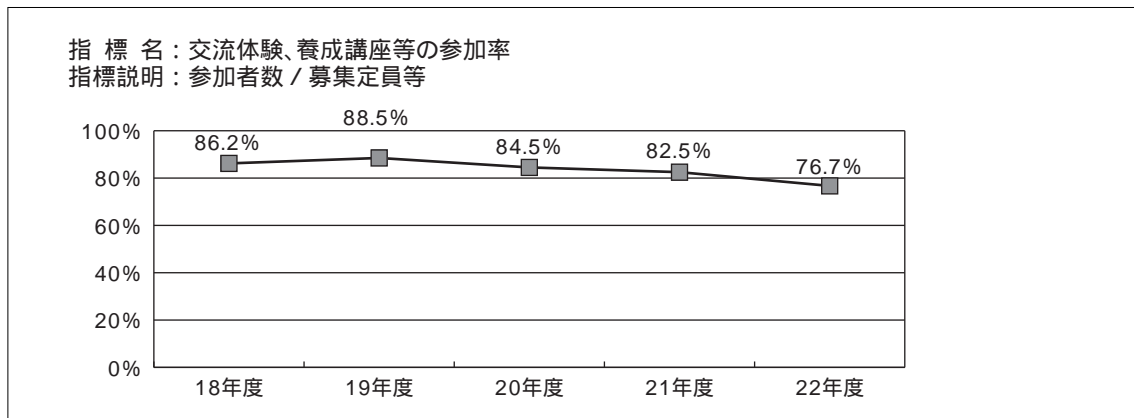
(1) 交流体験学習活動費 1,478,986 円

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
青 年 講 座	8	1,296人	64回	7	1,096人	56回	青少年センターほか
ジュニアチャレンジ講座	2	480	16	2	500	16	"
自然に親しむ親子のつどい	1	165	6	1	131	7	少年自然の家ほか
わくわく体験クラブ	1	123	4	1	123	4	青少年センターほか
四季の行事教室	1	150	4	1	132	4	中央青年の家
三世代ふれあいキャンプ	1	105	1	1	109	1	少年自然の家ほか

(2) 青少年指導者養成派遣事業費 1,454,450 円

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
レクリエーションインストラクター養成講座	1	578人	34回	1	442人	34回	中央青年の家
女性レクリエーション教室	1	54	6	1	90	6	"
ヤングリーダー養成講座	3	458	11	3	479	12	青少年センターほか
キャンプ指導員養成講座	1	54	9	1	36	4	少年自然の家
キャンプ指導員派遣事業	1	37	7	1	22	6	"
レクリエーション指導者派遣事業	1	118	49	1	130	50	校区市民館ほか

[指 標]



4 青少年教育施設管理運営事業費 68,496,523 円（生涯学習課）＜青少年の活動拠点の充実＞

[総 括]

平成 22 年度の施設利用者数は、アスベスト除去工事の影響で児童文化センターと青少年センターに減少があったが、他の施設は増加または前年度並みの利用者数となった。青少年団体の活動拠点として引き続き効果的な施設運営を行うとともに、今後は子ども・若者育成支援の場としても充実を図っていく必要がある。

[実績及び成果]

(1) 児童文化センター管理運営事業費 6,116,663 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
遊 戯 室	2,245人	1,864人	17.0%
展 示 室	2,810	2,184	22.3
そ の 他	317	649	2.0倍
計	5,372	4,697	12.6%

(2) 少年自然の家管理運営事業費 19,422,934 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	6,511人	6,237人	4.2%
宿 泊 棟	2,383	3,187	33.7
キ ャ ン プ 場	1,033	1,040	0.7
計	9,927	10,464	5.4

(3) 青少年センター管理運営事業費 13,828,340 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
研 修 棟	5,114人	4,230人	17.3%
宿 泊 棟	2,712	2,699	0.5
運 動 広 場	9,253	7,277	21.4
テ ニ ス コ ー ト	5,413	4,593	15.1
計	22,492	18,799	16.4

(4) 中央青年の家管理運営事業費 13,610,294 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
体 育 室	14,351人	15,135人	5.5%
音 楽 室	4,684	6,889	47.1
大 研 修 室	6,639	8,232	24.0
ト レ ー ニ ング 室	603	516	14.4
そ の 他	4,511	4,212	6.6
計	30,788	34,984	13.6

(5) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,852,292 円

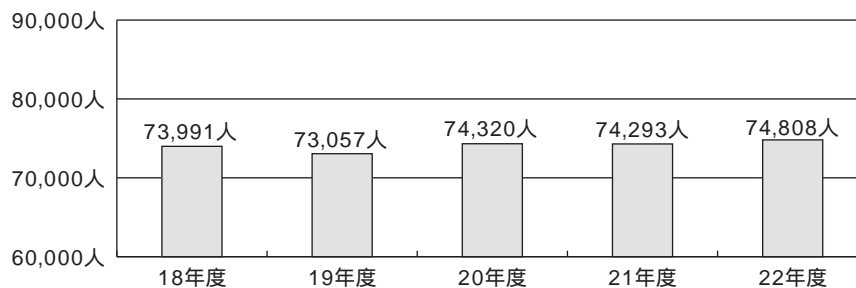
区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
利 用 者 数	3,207人	3,271人	2.0%

(6) 江比間野外活動センター管理負担金 11,666,000 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
宿 泊 利 用	4,726人	5,182人	9.6%
日 帰 研 修	4,332	4,502	3.9
キ ャ ン プ 利 用	1,250	974	22.1
内 豊 橋 市 利 用 人 数	2,507	2,593	3.4

[指 標]

指 標 名：年間施設総利用者数
指 標 説 明：各施設の年間利用者合計



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目	社会教育施設 管 理 費	276,476,305	2,190,016	0	22,436,835	251,849,454

1 生活家庭館、地区市民館管理運営事業費 276,476,305円(生涯学習課) <生涯学習・社会教育環境の充実>
[総括]

市民の生涯学習施設として利用されている生活家庭館、地区市民館の適切な管理運営を指定管理者とともに実施し、利用促進に努めたほか、地区市民館のトイレの洋式化を進めるなど施設の充実を図った。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生活家庭館管理運営事業費 13,513,690円

区 分	平成21年度		平成22年度		比 較 (利用人員)
	件 数	利用人員	件 数	利用人員	
本 館	3,712件	55,561人	3,719件	52,335人	5.8%
和風集会室	419	6,702	346	5,183	22.7
大集会室	541	19,715	506	13,800	30.0
その他来館		9,928		10,383	4.6
計	4,672	91,906	4,571	81,701	11.1

(ア) 高圧受変電設備修繕 966,000円

(2) 地区市民館管理運営事業費(23館) 262,962,615円

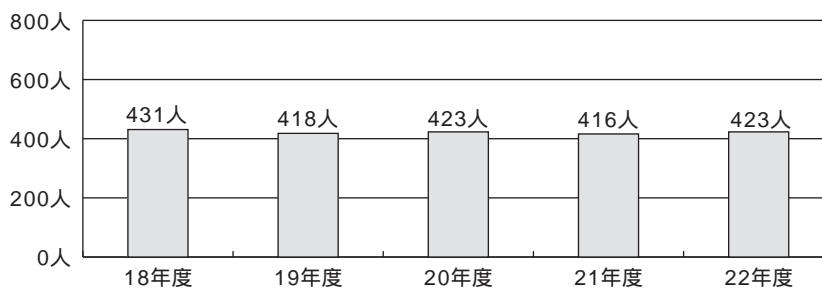
区 分	平成21年度			平成22年度			比 較 (利用人員)
	件 数	利用人員	図書貸出	件 数	利用人員	図書貸出	
二川地区市民館	1,770	61,413	34,685	2,054	69,115	36,363	12.5%
豊岡 "	1,513	37,463	4,218	1,468	37,999	3,547	1.4
東陽 "	1,443	39,713	3,894	1,455	43,869	3,708	10.5
南稜 "	1,325	52,798	14,227	1,305	55,470	14,695	5.1
前芝 "	498	14,337	698	598	15,197	613	6.0
青陵 "	1,970	71,872	34,014	1,937	74,104	39,152	3.1
杉山 "	999	23,859	1,646	990	23,510	1,280	1.5
石巻 "	1,376	50,545	18,376	1,381	50,702	17,791	0.3
羽根井 "	1,939	36,015	894	1,870	32,896	503	8.7
吉田方 "	1,639	31,043	1,190	1,704	30,575	1,062	1.5
五並 "	535	20,876	916	553	28,514	682	36.6
牟呂 "	1,235	47,853	4,065	1,273	52,423	7,072	9.6
高豊 "	709	18,980	539	627	19,331	521	1.8
北部 "	1,658	33,191	5,436	1,567	31,887	5,522	3.9
南部 "	2,216	58,695	17,334	2,139	59,443	21,947	1.3
豊城 "	602	12,761	278	1,562	40,369	1,721	3.2倍
中部 "	1,519	33,756	1,634	1,457	32,857	1,389	2.7%
高師台 "	1,859	43,294	2,574	1,877	44,493	2,211	2.8
東部 "	1,269	28,847	1,746	1,297	28,968	1,825	0.4
東部地区市民館飯村分館	3,258	74,985	3,018	3,251	78,306	3,027	4.4

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度			比 較 (利用人員)
	件 数	利用人員	図書貸出	件 数	利用人員	図書貸出	
南 陽 地 区 市 民 館	1,451	32,477	731	1,552	32,575	842	% 0.3
本 郷 "	1,224	29,663	937	1,264	29,956	1,075	1.0
東 陵 "	1,807	63,689	5,778	1,828	65,468	5,162	2.8
計	33,814	918,125	158,828	35,009	978,027	171,710	6.5

- (ア) 外壁改修工事（羽根井） 4,827,900 円
- (イ) 床張替等修繕（東陵ほか 9 館） 4,299,561 円
- (ウ) 冷暖房機取替（吉田方ほか 8 館） 5,111,400 円
- (エ) トイレ改修工事等（前芝ほか 6 館） 9,062,550 円

[指 標]

指 標 名：1 日当たりの利用者数
 指標説明：延利用者数 / (開館日数 × 生活家庭館・地区市民館数)



機構改革により、22 年度から指標を見直し。

科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 図 書 館 費	463,670,547	43,948,882	0	35,384,104	384,337,561

1 中央図書館事業費 142,990,929円(図書館)<教育文化施設の充実>

[総括]

図書館利用者の増加を図るため、貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、図書館資料に関する様々な資料展、講座、子ども向けの参加型行事等を開催した。さらに、住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、ビジネスや生活を支援するための実用書等を購入した。また、グリーンニューディール基金を活用したLED・高効率型照明器具の設置や断熱フィルムの貼付等、環境に配慮した施設整備を行った。今後もより多くの市民に本に親しんでもらえるよう図書館サービスの充実に努め、市民の主体的な生涯学習活動を支援する。

[実績及び成果]

〔中央図書館利用状況〕

区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
開 館 日 数	285日	287日	0.7%
館 外 貸 出 人 数	264,202人	259,344人	1.8
館 外 貸 出 冊 数	1,123,131冊	1,095,504冊	2.5

〔中央図書館資料購入状況〕

区 分	内 容	平成21年度	平成22年度	比 較
図 書	一 般	12,468冊	11,143冊	10.6%
	児 童	3,991	4,168	4.4
	参 考	405	339	16.3
	郷 土	98	122	24.5
	計	16,962	15,772	7.0
蔵 書 冊 数		634,578	634,440	0.0
逐次刊行物	雑 誌 等	237種	237種	0.0
	新 聞	22	22	0.0
	追 録	10	9	10.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	155枚	113枚	27.1
視聴覚資料所蔵数		6,912	7,025	1.6

- (1) 児童図書業務費 10,347,269円
(2) 一般図書業務費 35,236,369円
(3) レファレンス業務費 2,922,101円
(4) 郷土・司文庫等図書業務費 23,009,043円
(ア) 司文庫図書等購入 1,257,424円

区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
図 書 購 入	193冊	331冊	71.5%
蔵 書 冊 数	33,286	33,617	1.0

(イ) 和装本整備事業 327,384 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
内 容	所蔵している和装本の目録用書誌 データ作成業務	所蔵している和装本の目録用書誌 データ作成業務
書誌データ作成件数	650件	120件

(ウ) 和装本整理事業（緊急雇用創出事業） 20,300,700 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		羽田八幡宮文庫の電子データ化及 び副本作成業務

(5) AV・CD電子図書業務費 1,552,021 円

(ア) 電子情報コーナー運営費 1,252,070 円

(6) 行事開催業務費 9,594,325 円

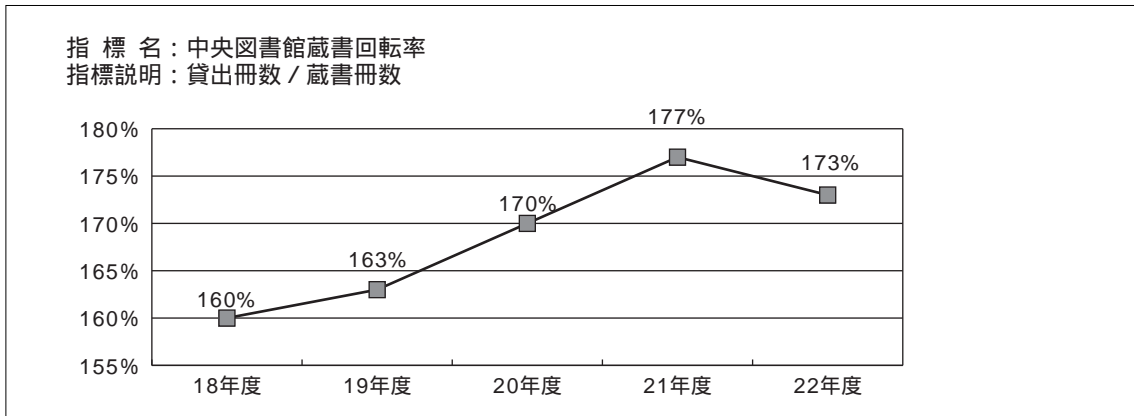
区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	5回 延 9,303人	4回 延 9,176人
市 民 向 け 講 座	4講座 " 355	4講座 " 352
ボランティア等育成講座、研修	8講座 " 478	8講座 " 518
語る会、コンサート	4回 " 630	3回 " 455
子ども読書の日記念行事	4~5月 " 508	4~5月 " 765
夏休み子どもフェスティバル	7月 " 210	7月 " 228
図書館まつり	12月 " 4,524	12月 " 4,624
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	配付数 3,596セット (絵本、絵本袋)	配付数 3,486セット (絵本、絵本袋)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	4~3月 延 1,899人	4~3月 延 2,394人
市民館おはなしのへや	4~3月 " 850	4~3月 " 899

(7) カウンター窓口業務費 12,266,891 円

(8) 共通費 48,062,910 円

施設整備内容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	空調設備改修工事、 授乳室整備工事等、外壁補修工事	階段床等改修工事、断熱フィルム貼 付業務委託、LED・高効率型照明 器具設置工事、太陽光発電システム 設置工事等

[指 標]



2 配本センター事業費 55,528,971 円 (図書館) < 教育文化施設の充実 >

[総 括]

住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、図書館分室用として各地域の実情に応じて子育て支援に資する絵本や、ポルトガル語図書を含む生活を支援するための実用書等を購入した。今後も、図書館システムがネットワーク化されている 8 か所の地区市民館等を中心に、広範な市域の利用者への図書館サービスの提供に努める。

[実績及び成果]

〔配本センター・分室利用状況〕

区 分		平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数		285日	287日	0.7%
館外貸出人数	配 本 セ ン タ ー	87,394人	89,552人	2.5
	分 室	72,258	76,951	6.5
	計	159,652	166,503	4.3
館外貸出冊数	配 本 セ ン タ ー	342,484冊	351,254冊	2.6
	分 室	211,379	222,166	5.1
	計	553,863	573,420	3.5

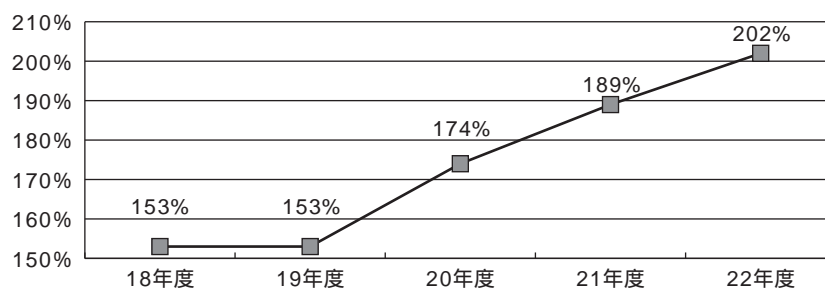
〔配本センター・分室資料購入状況〕

区 分	内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
図 書	一 般	6,428冊	7,050冊	9.7%
	児 童	6,354	7,289	14.7
	参 考	17	11	35.3
	郷 土	16	6	62.5
	計	12,815	14,356	12.0
蔵 書 冊 数		292,319	283,534	3.0
逐次刊行物	雑 誌	47種	48種	2.1
	新 聞	10	10	0.0

- (1) 配本業務費 47,981,192 円
 (ア) 図書館分室コンピュータネットワーク運営費 2,486,704 円
 (イ) 図書補修・整理事業費(緊急雇用創出事業) 3,705,332 円
 (2) カウンター窓口業務費 7,547,779 円

[指 標]

指 標 名 : 配本センター・分室蔵書回転率
指標説明 : 貸出冊数 / 蔵書冊数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 美術博物館費	421,360,328	78,912,241	0	61,830,310	280,617,777

1 美術博物館事業費 119,235,034 円(美術博物館) <教育文化施設の充実>

[総括]

郷土豊橋を中心とした美術、歴史について幅広く紹介するため、「松井守男回顧展」、「すりもの展」、「豊橋市民展」、「『葦毛湿原』展」など地元に着した展示会を開催したほか、全国巡回展として「モーリス・ユトリロ展」を開催した。また、「『新』収蔵品展」、「収蔵品展 2000 - 2010」では美術博物館が収集した美術作品を紹介した。昭和 54 年に開館した施設であるため、狭隘な収蔵庫や老朽化等の検討が課題となっている。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 48,399,291 円

[美術博物館利用状況]

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較
開 館 日 数	309日		306日		1.0%
企 画 展	9件	100,115人	9件	75,677人	24.4
共 催 展	4	5,424	4	5,513	1.6
一 般 展	67	111,511	77	112,441	0.8
公 開 講 座 等	32	5,014	29	2,696	46.2
計	222,064		196,327		11.6
1 日 平 均 利 用 者 数	719		642		10.7

(2) 展示会事業費 57,090,393 円

(ア) 展示会開催事業費 52,589,413 円

平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		入場者数 比 較
展 覧 会 名	入場者数	展 覧 会 名	入場者数	
豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	6,409人	豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	8,790人	37.2%
第 31 回 豊 橋 美 術 展	4,093	第 32 回 豊 橋 美 術 展	4,254	3.9
第 59 回 豊 橋 市 民 展	4,226	第 60 回 豊 橋 市 民 展	5,826	37.9
豊橋の伝典	2,541	すりもの展 - 印刷物にみる豊橋の近代 -	2,770 (1回 30人)	
開館30周年記念三遠南信交流展 「ミュージアム・サミット美の競演」	7,984 (2回 565人)	愛知県指定天然記念物 「葦毛湿原」展	5,289 (3回 154人)	
「トック・アートの世界」展	19,661	～コルシカに生き、光を描く～ 松井守男回顧展	7,955	
開館30周年記念展 「ターナーから印象派へ」	16,887 (2回 200人)	- パリを愛した孤独の画家 - モーリス・ユトリロ展	19,896 (2回 183人)	
愛知県美術館平成21年度移動美術館 「ひかり・いろ・かたち」	10,422 (1回 52人)	豊橋市美術博物館 「収蔵品展2000 - 2010」	3,914 (5回 116人)	
常 設 展	27,892	常 設 展	16,983	39.1
延467日	100,115 (5回 817人)	延437日	75,677 (11回483人)	24.4

() は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

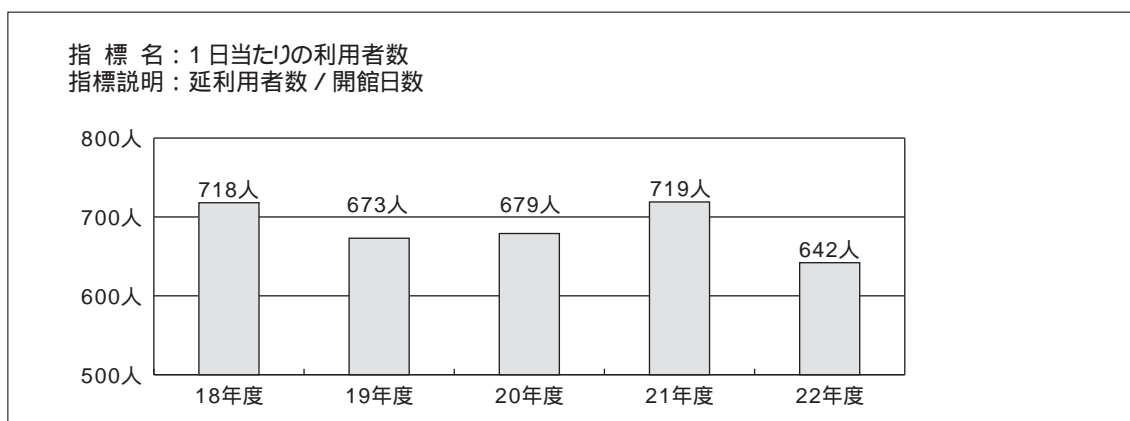
(1) 美術博物館歴史資料整理事業（緊急雇用創出事業） 1,783,287 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度

(3) 資料収集事業費 13,745,350 円

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
美 術 資 料	中村岳陵作 日本画 「貴妃賜浴」等 2点		三岸好太郎作 洋画 「狐塚風景」等 3点	
歴 史 資 料	「三河みやげ」等 26件		「東海道西海道図巻」等 7件	

[指 標]



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,168,453 円（美術博物館）＜教育文化施設の充実＞

[総 括]

民俗資料収蔵室として活用している旧多米小学校は、昭和 19 年に建てられた市内に残る唯一の木造校舎で、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用された。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして当時の教室の様子を再現しており、平成 22 年度も展示資料の充実を図った。今後は将来に向けての保存及び活用方法を検討していく必要がある。

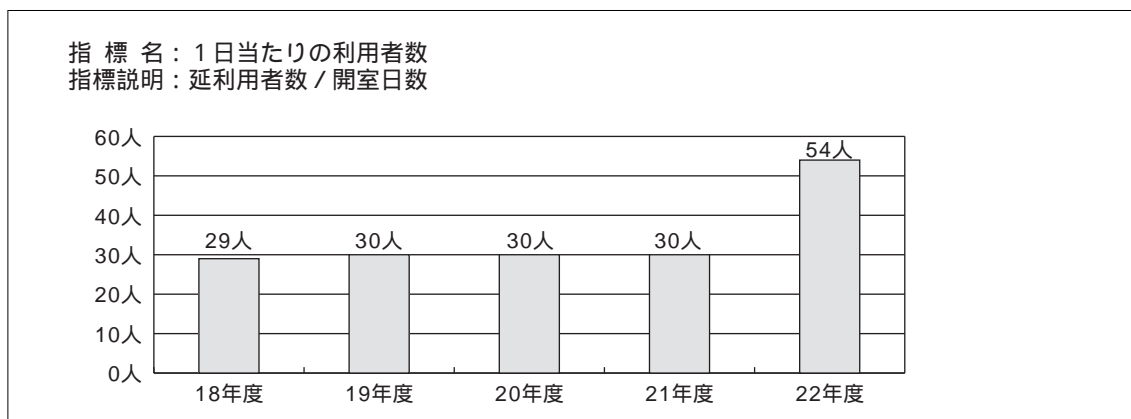
[実績及び成果]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,168,453 円

[民俗資料収蔵室利用状況]

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 室 日 数	154日	141日	8.4%
入 室 者 数	4,648人	7,569人	62.8
1 日 平 均 入 室 者 数	30	54	80.0

[指 標]



3 文化財保護事業費 178,132,605 円（美術博物館）＜文化財保護活動の推進＞

[総 括]

郷土豊橋の文化財についてこれを保護し活用するため、普門寺旧境内等の埋蔵文化財調査や指定・登録文化財の保護及び調査等を実施した。年ごとの発掘調査面積の増加に対処するための調査体制の整備が課題となっている。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 170,323,482 円

(ア) 市内遺跡発掘調査等 17,401,015 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	普門寺旧境内の範囲確認調査、 乗小路 B 2 号墳の発掘調査等	普門寺旧境内の範囲確認調査、 橋良遺跡の発掘調査等

(イ) 牛川西部地区発掘調査 47,201,975 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	西側遺跡・中郷遺跡ほかの発掘調査	西側北遺跡・眼鏡下池北遺跡ほかの発掘調査

(ウ) 牟呂坂津地区発掘調査 49,530,539 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	境松遺跡の発掘調査	境松遺跡・若宮遺跡の発掘調査

(エ) 報告書作成業務 6,005,614 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	埋蔵文化財調査報告書第109・110・ 111・112・113集の作成	埋蔵文化財調査報告書第114・115・ 116・117集の作成

(オ) 埋蔵文化財緊急発掘調査等 1,136,309 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	吉田城址ほかの発掘調査	本郷遺跡の緊急試掘調査ほか

カ 葦毛湿原植生調査委託等 1,200,000 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	葦毛湿原植生調査、ナガバノイシモチソ ウ植生調査、葦毛湿原調査報告書作成	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ植 生調査

キ 船形山城址周辺文化財調査等事業（緊急雇用創出事業） 15,750,000 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	船形山城址周辺の文化財調査	

ク 市内重要古墳調査業務（緊急雇用創出事業） 12,600,000 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度

ケ 有形民俗資料整理事業（緊急雇用創出事業） 19,215,000 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度

(2) 文化財保存事業補助金 2,182,000 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	春日神社のマキほか1件	

(3) 文化財保存活用事業費 5,627,123 円

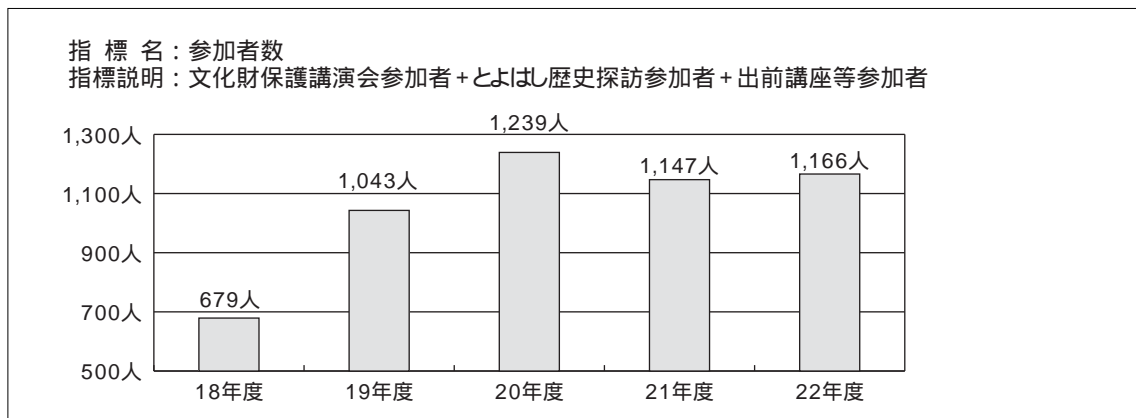
(ア) 文化財保護講演会開催事業 245,340 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	「豊橋の中世再発見」をテーマに講演会を開催	

(イ) 文化財説明標示板設置委託等 274,837 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	浄慈院地藏堂ほか1か所	

[指 標]



科目	決算額等	決算額（円）	財 源 内 訳（円）			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目	二川宿本陣資料館費	75,654,111	3,110,864	0	8,712,387	63,830,860

1 二川宿本陣資料館事業費 43,494,124 円（美術博物館）＜教育文化施設の充実＞

[総 括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「三人の広重展」、「三河・遠江の城郭展」、「海の街道展」などの企画展、「体験講座」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。今後、より多くの市民に来館してもらえるような魅力的な企画展の開催、イベント等開催にあたっての地域住民との連携が課題となる。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 24,376,007 円

区 分	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度	比 較
開 館 日 数	307日	308日	0.3%
入 館 者 数	39,331人	35,120人	10.7
1 日 平 均 入 館 者 数	128	114	10.9

(2) 展覧会事業費 12,280,367 円

(ア) 展覧会開催事業費 7,149,932 円

平成 2 1 年 度		平成 2 2 年 度	
区 分	入館者数	区 分	入館者数
六十余州名所図会展 - 広重の描いた諸国の名所 -	4,773人	三人の広重展 - 初代・二代・三代広重の描いた東海道 -	4,188人
鉄道開通 - 列車に乗って東へ西へ -	4,773	三 河 ・ 遠 江 の 城 郭 展	2,795
装身具の美 - 印籠・煙草入れ・髪飾りにみる江戸の装い -	8,405	海の街道展 - 伊 勢 湾 を 渡 る -	9,671
信仰の街道「秋葉道」展	9,671		
常設企画展 3回	6,355	常設企画展 3回	4,924
記念講演会 2	67	記念講演会 1	53
計	34,044	計	21,631

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 685,510 円

平成21年度		平成22年度	
区 分	入館者数等	区 分	入館者数等
五月人形展 - 端午の節句 -	会期中入館者 2,618人	五月人形展 - 端午の節句 -	会期中入館者 2,476人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 378	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 320
ほんじん講座	受講者 24	ほんじん講座	受講者 45
七夕の節句	会期中入館者 786	七夕の節句	会期中入館者 603
本陣古文書講座	受講者 105	本陣古文書講座	受講者 104
本陣体験講座「わらそうろを作ろう」	参加者 20	本陣体験講座「わらそうろを作ろう」	参加者 20
本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 17	本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 21
		本陣体験講座「団扇を作ろう」	参加者 46
菊の節句 - 重陽 -	会期中入館者 758	菊の節句 - 重陽 -	会期中入館者 617
二胡の演奏会	参観者 200	箏琴の演奏会	参観者 80
春の七草展 - 人日の節句 -	会期中入館者 930	春の七草展 - 人日の節句 -	会期中入館者 803
ひなまつり	会期中入館者 11,319	ひなまつり	会期中入館者 10,010
本陣句会	応募者 79	本陣句会	応募者 73

(ウ) 二川宿本陣資料館歴史資料整理事業費（緊急雇用創出事業） 1,903,908 円

内 容	平成21年度	平成22年度
	歴史資料整理	歴史資料整理

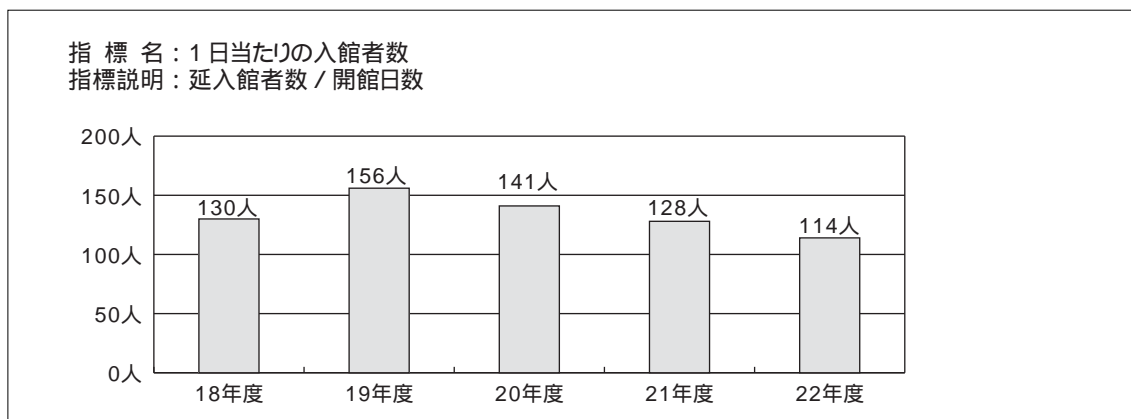
(3) 資料収集事業費 2,337,750 円

内 容	平成21年度	平成22年度
	広重肖像画等	22点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,500,000 円

補 助 金	平成21年度	平成22年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指 標]



2 二川宿本陣資料館周辺整備事業費 175,790 円（美術博物館）＜歴史的建造物の保存と活用＞

[総括]

豊橋市指定有形文化財である商家「駒屋」の改修復原後の管理運営方針等を検討するため、二川地区の自治会、まちづくり諸団体等地域住民による「商家駒屋の整備・活用を考える会」を立ち上げ、先進地視察・検討会を重ね、整備完了後の管理・運営・活用方法等について提言をいただいた。腐朽が進行しているため、早期の改修復原工事実施と、整備完了後の地元住民との連携が課題となっている。

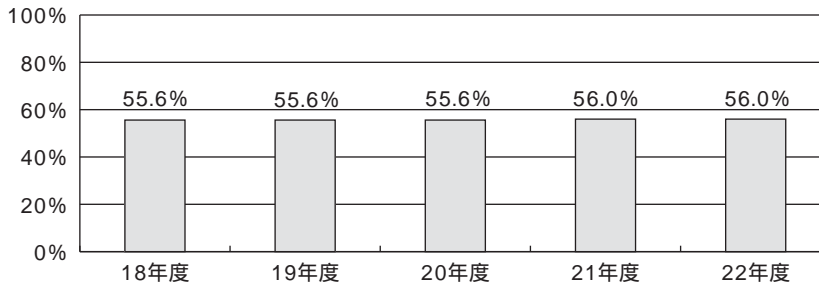
[実績及び成果]

- (1) 商家「駒屋」整備事業費 175,790 円

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
	復原基本計画図作成委託	

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館周辺整備事業進捗率
 指標説明：実施事業費 / 総事業費



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7項 保健給食費	3,627,147,073	0	0	1,561,091,669	2,066,055,404
1目 学校保健費	193,323,192	0	0	13,840,020	179,483,172

1 学校保健事業費 178,838,567円(保健給食課) < 健やかな児童生徒の育成 >

[総 括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境調査後、基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 143,399,765円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 103,819,200円

区 分		人 員	
		平成21年度	平成22年度
学 校 医	内 科	84人	84人
	耳 鼻 科	15	15
	眼 科	14	13
学 校 歯 科 医		82	82
学 校 薬 剤 師		38	38
計		233	232

(イ) 健康診断費 39,580,565円

区 分	対 象	平成21年度	平成22年度	比 較
検 便	児 童	35,022人	34,190人	2.4%
検 尿	児 童 生 徒	36,070	35,836	0.6
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	11,883	11,601	2.4
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,665	3,576	2.4
教 職 員 健 診	全 員	8,348	8,066	3.4

(2) 学校保健会補助金 739,602円

補 助 金	平成21年度	平成22年度
	740,000円	739,602円

(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 32,903,035円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 32,903,035円

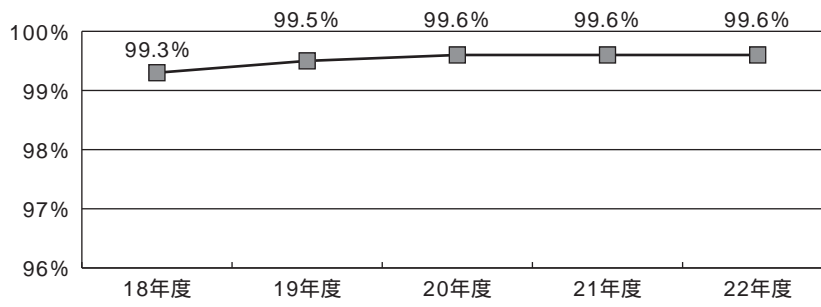
(4) 学校結核予防事業費 1,796,165円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成21年度	平成22年度	比 較	平成21年度	平成22年度	比 較
ツベルクリン反応検査	0人	0人	0.0%			
間 接 撮 影	279	282	1.1	1,815人	1,814人	0.1%
直 接 撮 影	177	145	18.1	14	12	14.3
事 後 措 置	0	0	0.0	0	0	0.0

[指 標]

指 標 名：健康診断受診率

指標説明：健康診断受診者数 / 児童生徒数(5 / 1現在)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 学 校 給 食 共 同 調 理 場 費	3,105,527,736	0	0	1,547,192,469	1,558,335,267

1 共同調理場運営事業費 935,911,636円(保健給食課) < 健やかな児童生徒の育成 >

[総 括]

小学校52校、中学校22校の児童生徒に安全な給食を提供することを目的に衛生管理に十分配慮した調理のほか、施設設備の充実改善に努めた。また、平成22年度から北部学校給食共同調理場において、PFI手法による維持管理・運営業務を開始した。今後も給食物資に安全・新鮮な地場産物の活用を推進し、献立の工夫や学校との連携を図りながら、残食の減少に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費(南部) 158,133,430円

平成21年度			平成22年度			食数比較
小学校	13校	6,193人	小学校	13校	6,158人	
中学校	5	2,997	中学校	5	3,009	
延1,644,265食			延1,671,887食			

(2) 共同調理場運営事業費(北部) 470,188,237円

平成21年度			平成22年度			食数比較
小学校	13校	5,138人	小学校	13校	5,079人	
中学校	6	3,071	中学校	6	3,086	
延1,449,970食			延1,478,768食			

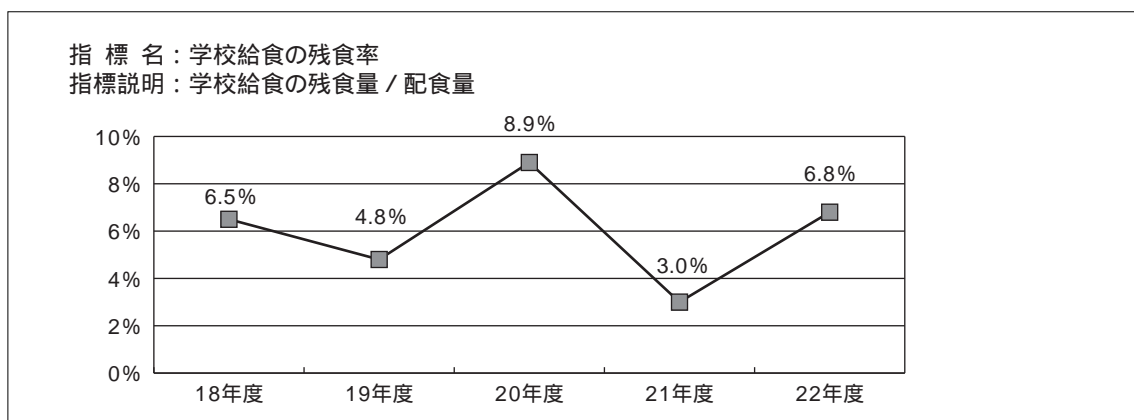
(3) 共同調理場運営事業費(西部) 136,715,944円

平成21年度			平成22年度			食数比較
小学校	11校	6,147人	小学校	11校	6,087人	
中学校	5	2,513	中学校	5	2,497	
延1,543,139食			延1,567,991食			

(4) 共同調理場運営事業費(東部) 170,874,025円

平成21年度			平成22年度			食数比較
小学校	15校	7,263人	小学校	15校	7,002人	
中学校	6	3,630	中学校	6	3,665	
延1,920,950食			延1,927,854食			

[指 標]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8項 市民体育費	908,361,160	165,305,740	111,600,000	26,112,481	605,342,939
2目 市民体育振興費	113,618,185	0	0	20,546,478	93,071,707

1 地域スポーツ推進事業費 8,343,046円(スポーツ課) <スポーツ活動への参加促進>

[総 括]

市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図るとともに、既存の総合型地域スポーツクラブの支援を行った。今後も体育指導委員活動、スポーツ少年団活動及び総合型地域スポーツクラブの連携を進め、地域スポーツ活動の推進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 体育指導委員活動事業費 7,436,710円

体 育 指 導 委 員	平成21年度		平成22年度	
		112名	6,720,000円	112名

(2) スポーツ少年団活動事業補助金 900,000円

補 助 金	平成21年度		平成22年度	
		119団体	1,030,000円	122団体

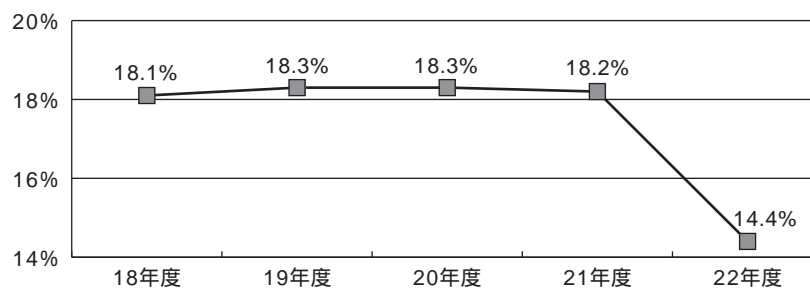
(3) 総合型地域スポーツクラブ支援事業費 6,336円

内 容	平成21年度		平成22年度	
		地元説明会の開催		地元説明会の開催

[指 標]

指 標 名：地域スポーツ行事参加率

指標説明：(総合型地域スポーツクラブ行事参加者数+校区体育振興事業行事参加者数)/10月1日現在豊橋市民数



2 一般体育振興事業費 99,439,657 円（スポーツ課）＜スポーツ活動への参加促進＞

[総括]

スポーツの普及発展を図るための各種大会の開催や学校体育施設のスポーツ開放事業のほか、豊橋市体育協会への活動支援を行った。今後も各種スポーツ行事の内容を検討し、より一層のスポーツ振興を図る。

[実績及び成果]

(1) スポーツ活動推進事業費 7,389,481 円

(ア) 行事開催 7,204,491 円

区 分	平成 2 1 年度			平成 2 2 年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	7月～11月	陸上競技場ほか	8,652人	7月～11月	陸上競技場ほか	8,282人
三遠南信スポーツ交流事業	22.1.17	軟式庭球場	104	22.8.27	総合体育館	243
体育の日記念行事 (ウエルネス)	21.10.12	総合体育館	3,700	22.10.11	総合体育館	2,000
競技力向上対策事業	21.6.13	アクアリーナ	342	22.10.23	市民球場	275
	22.1.23,24	豊城中学校	50			
豊橋みなと シティマラソン	21.11.8	総合スポーツ公園 -神野西町一丁目	2,147	22.11.14	総合スポーツ公園 -神野西町一丁目	2,862
渥美半島駅伝競走大会	21.12.20	伊良湖～技科大前	495	22.12.19	伊良湖～技科大前	495
穂の国・豊橋ハーフマラソン	22.3.28	陸上競技場発着 (市内周回)	3,132	23.3.27	陸上競技場発着 (市内周回)	3,993

(イ) 生涯スポーツ推進市民会議の開催 119,990 円

開 催 回 数	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		2 回

(ウ) 生涯スポーツ推進計画の策定 65,000 円

(2) 市民スポーツ祭事業補助金 500,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		31種目	530,000円	31種目

(3) 学校スポーツ開放運営事業費 38,743,150 円

開放施設 市立小・中学校、県立高校 計 81 校

〔利用状況〕

区 分	平 成 2 1 年 度			平 成 2 2 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	270,703人	人	270,703人	229,987人	人	229,987人
剣 道	85,867		85,867	67,800		67,800
空 手	40,255		40,255	41,429		41,429
野 球		203,129	203,129		216,531	216,531
ソフトボール		40,182	40,182		44,280	44,280
卓 球	24,730		24,730	22,014		22,014
バドミントン	49,883		49,883	44,289		44,289
サ ッ カ ー		78,800	78,800		207,430	207,430
バスケットボール	140,946		140,946	116,796		116,796
ソフトバレー	149,156		149,156	135,429		135,429
インディアカ	44,856		44,856	39,509		39,509
そ の 他	125,001	29,409	154,410	126,122	33,714	159,836
計	931,397	351,520	1,282,917	823,375	501,955	1,325,330

(4) 豊橋市体育協会補助金 45,407,026 円

補 助 金	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
		46,340,869円

(5) 日本港湾福利厚生協会補助金 7,200,000 円

補 助 金	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
		プール利用者数 38,288人 8,000,000円

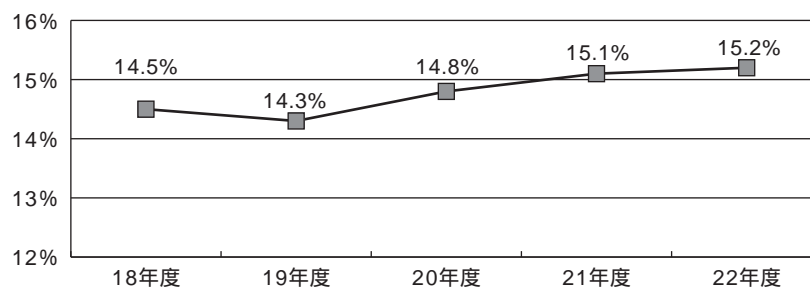
(6) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 200,000 円

補 助 金	平 成 2 1 年 度	平 成 2 2 年 度
		230,000円

〔指 標〕

指 標 名：市・体育協会主催スポーツ活動参加率

指標説明：市民の市・体育協会主催スポーツ活動参加者数 / 10月1日現在豊橋市民数



3 スポーツ大会誘致事業費 1,949,156 円（スポーツ課）＜競技スポーツの振興＞

[総 括]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、競技力の向上を図るため全国規模のハイレベルなスポーツ競技会を誘致した。今後も市民がスポーツとふれあう機会の充実を図るため、積極的に誘致活動に取り組む。

[実績及び成果]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 1,949,156 円

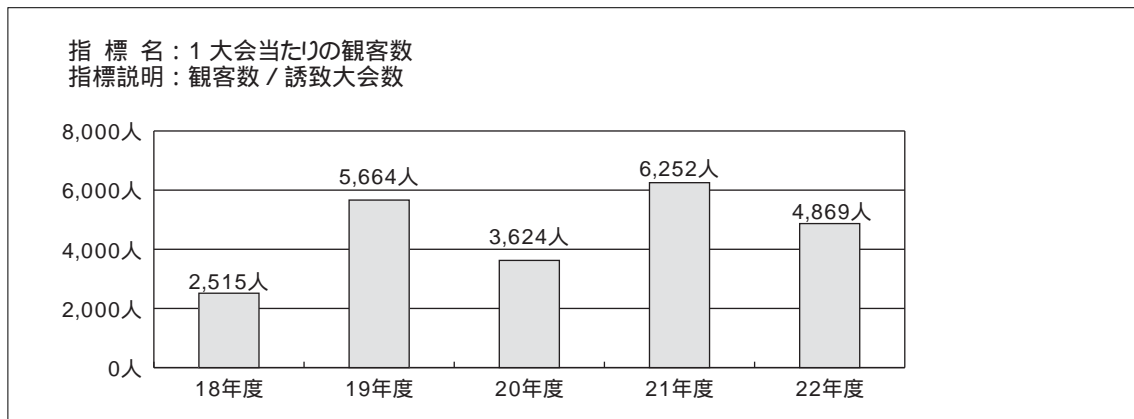
(ア) 日本女子ソフトボールリーグ1部豊橋大会開催補助金 450,000 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		500,000円		450,000円

(イ) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 1,499,156 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
		1開催	243,218円	1開催

[指 標]



4 国民体育大会冬季大会事業費 2,777,951 円（スポーツ課）＜競技スポーツの振興＞

[総 括]

平成 23 年度に開催される第 67 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会のため、豊橋市実行委員会を設立し準備に取り組んだ。

[実績及び成果]

(1) 国民体育大会冬季大会事業費 2,777,951 円

(ア) 事務費 323,070 円

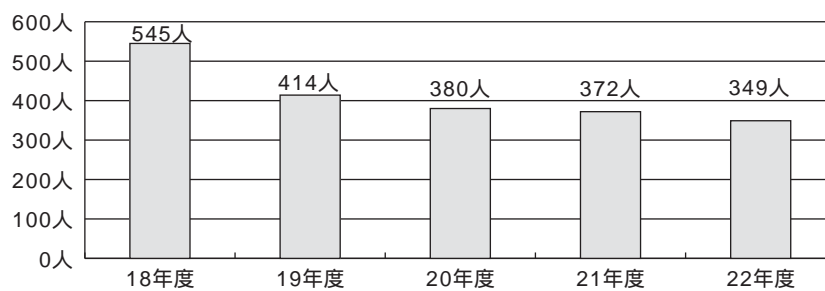
(イ) 第 67 回国民体育大会冬季大会豊橋市実行委員会補助金 2,454,881 円

補 助 金	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度	
				2,454,881円

[指 標]

指 標 名：一日平均アイスアリーナ利用者数

指標説明：アイスアリーナ年間利用者数 / 開場日数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 体育施設管理費	734,218,208	165,305,740	111,600,000	5,566,003	451,746,465

1 スポーツ施設管理運営事業費 734,218,208円(スポーツ課) <スポーツ環境の整備・充実>

[総括]

各スポーツ施設は指定管理者により効率的、効果的な管理運営が行われた。また、陸上競技場改修工事等を行い、施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が手軽にスポーツに親しめるよう施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 343,284,904円

[利用状況]

<総合運動場>

区 分	平成21年度		平成22年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
豊 橋 球 場	223日	58,202人	254日	69,877人	20.1%
東 田 球 場	212	35,512	237	35,245	0.8
陸 上 競 技 場	254	49,747	160	30,949	37.8
硬 式 庭 球 場	298	7,576	304	6,869	9.3
軟 式 庭 球 場	283	30,081	312	32,309	7.4
計		181,118		175,249	3.2

<市民プール>

区 分	平成21年度		平成22年度		比 較 (利用人員)
	利用人員	1日平均	利用人員	1日平均	
大 人	6,472人	95人	7,350人	108人	13.6%
小・中学生	6,962	102	6,476	95	7.0
幼 児	3,558	52	4,246	62	19.3
団 体	448		284		36.6
計	17,440	249	18,356	265	5.3

区 分	平成21年度	平成22年度	比 較
開 場 日 数	68日	68日	0.0%
1日の最高入場者数	748人	873人	16.7

<武道館>

区 分	平成21年度		平成22年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
柔 道 場	301日	17,959人	304日	19,181人	6.8%
剣 道 場	302	16,196	304	13,784	14.9
弓 道 場	302	10,392	308	10,466	0.7
相 撲 場	145	940	132	1,188	26.4
ト レ ー ニ ン グ 室	302	20,681	308	18,791	9.1
計		66,168		63,410	4.2

〔施設整備〕

内 容	平成21年度	平成22年度
	武道館避難器具改修工事 豊橋球場スタンド法面改修工事 豊橋球場ナイター照明塔塗装工事	陸上競技場改修工事

(2) 地区体育館管理運営事業費 99,974,946 円

〔利用状況〕

区 分	平成21年度		平成22年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
前 田 南	307日	37,328人	308日	37,091人	0.6%
新 栄	307	31,127	182	17,848	42.7
牛 川	307	29,958	308	30,149	0.6
草 間	307	40,474	308	37,949	6.2
飯 村	307	49,247	308	46,961	4.6
下 五 井	307	41,707	308	41,306	1.0
浜 道	307	38,606	308	37,045	4.0
二 川	307	33,238	308	28,822	13.3
石 巻	307	28,101	308	29,250	4.1
大 清 水	307	42,262	308	45,267	7.1
計		372,048		351,688	5.5

〔施設整備〕

内 容	平成21年度	平成22年度
	二川地区体育館非常用放送設備及び 消火栓設備等改修工事	石巻地区体育館駐輪場改修工事 新栄地区体育館床等改修工事

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 7,922,129 円

〔利用状況〕

区 分	平成21年度		平成22年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
競 技 場	307日	16,295人	308日	15,661人	3.9%
ト レ ー ニ ン グ 室	236	930	241	765	17.7
和 室	121	1,086	105	948	12.7
調 理 室	2	30	4	110	3.7倍
研 修 室	237	4,425	273	4,346	1.8%
テ ニ ス コ ー ト 等	184	3,944	225	3,443	12.7
計		26,710		25,273	5.4

(4) グリーンスポーツセンター管理運営事業費 8,203,449 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
テニスコート	265日	4,098人	277日	3,683人	10.1%
多目的広場	307	38,270	307	37,047	3.2
キャンプ場	40	866	29	474	45.3
パターゴルフ	187	2,804	190	2,531	9.7
グリーンスポーツハウス	13	468	13	217	53.6
計		46,506		43,952	5.5

(5) 岩田総合球技場管理運営事業費 39,234,149 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
市民球場	192日	50,667人	201日	51,096人	0.8%
市民球技場	71	14,340	74	14,530	1.3
市民庭球場	299	34,148	300	33,301	2.5
市民クラブハウス	154	4,365	160	4,325	0.9
計		103,520		103,252	0.3

〔施設整備〕

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		市民球技場非常用放送設備更新

(6) 運動広場管理運営事業費 23,488,932 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
高師緑地青少年広場	271日	36,756人	301日	40,586人	10.4%
明海広場	124	20,683	132	20,165	2.5
明海少年広場	118	7,130	139	7,935	11.3
高山広場	146	8,742	130	8,724	0.2
向山運動広場	262	17,063	262	16,939	0.7
石巻運動広場	286	79,839	275	78,984	1.1
臨海運動広場	126	18,977	122	20,714	9.2
レクリエーション広場	42	2,248	55	2,147	4.5
中島広場	168	33,888	172	28,091	17.1
計		225,326		224,285	0.5

〔施設整備〕

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度
		高師緑地ナイター照明塔改修工事 幸スポーツ広場グラウンド排水改修工事

(7) 総合体育館管理運営事業費 81,828,490 円

〔利用状況〕

区 分		平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較 (利用人員)
		利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
競 技 場	ス ポ ー ツ	274日	125,995人	285日	129,859人	3.1%
	そ の 他	19	14,750	23	11,865	19.6
卓 球 室		308	9,087	304	8,187	9.9
会 議 室		104	7,905	138	6,793	14.1
研 修 室		114	4,839	146	6,009	24.2
計			162,576		162,713	0.1

〔施設整備〕

内 容	平成 2 1 年度	平成 2 2 年度

(8) 万場調整池庭球場管理運営事業費 1,469,402 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	290日	9,109人	293日	8,339人	8.5%

(9) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 128,811,807 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		比 較 (利用人員)
	利用日数	利用人員	利用日数	利用人員	
屋 内 プ ー ル	107日	27,469人	112日	30,252人	10.1%
ア イ ス ア リ ー ナ	168	62,435	160	55,841	10.6
ト レ ー ニ ン グ 室	305	35,330	308	35,325	0.0
計		125,234		121,418	3.0

〔指 標〕

